

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	がっくわおびん もりみやうがけん 学校法人 森ノ宮医療学園							
フリガナ大学の名称	もりみやうがけん 森ノ宮医療大学（Morinomiya University of Medical Sciences）							
大学本部の位置	大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号							
大学の目的	豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす。							
新設学部等の目的	本学は、「豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。」を目的としている。このチーム医療の実践の強化を目指し、平成32年4月から、診療放射線学科（入学定員80名）を設置し、収容定員を1,520名から1,840名に増やす。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	保健医療学部	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号 同上 同上 同上 同上
	鍼灸学科	4	60	—	240	学士(鍼灸学) (B. S. in Acupuncture)	平成19年4月 第1年次	
	理学療法学科	4	70	—	280	学士(理学療法) (B. S. in Physical Therapy)	平成19年4月 第1年次	
	看護学科	4	90	—	360	学士(看護学) (B. S. in Nursing)	平成23年4月 第1年次	
	臨床検査学科	4	60	—	240	学士(臨床検査学) (B. S. in Medical Technology)	平成28年4月 第1年次	
	作業療法学科	4	40	—	160	学士(作業療法) (B. S. in Occupational Therapy)	平成28年4月 第1年次	
	臨床工学科	4	60	—	240	学士(臨床工学) (B. S. in Medical Engineering)	平成30年4月 第1年次	
	診療放射線学科	4	80 (0)	—	320 (0)	学士(診療放射線学) (B. S. in Radiological Sciences)	平成32年4月 第1年次	
計		460 (380)	—	1,840 (1,520)			平成31年4月届出予定	

同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の 変更等)		大学院保健医療学研究科看護学専攻修士課程 (6) (平成31年4月届出予定) 保健医療学部診療放射線学科 (80) (平成31年4月届出予定)								
教育 課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計					
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新 設	保健医療学部 鍼灸学科		12 (12)	2 (2)	5 (5)	4 (4)	23 (23)	1 (1)	64 (64)
		保健医療学部 理学療法学科		8 (8)	5 (5)	2 (2)	4 (4)	19 (19)	1 (1)	45 (45)
		保健医療学部 看護学科		14 (14)	2 (2)	13 (13)	7 (7)	36 (36)	0 (0)	40 (40)
		保健医療学部 臨床検査学科		8 (8)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	11 (11)	0 (0)	41 (41)
		保健医療学部 作業療法学科		5 (5)	0 (0)	3 (3)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	37 (40)
		保健医療学部 臨床工学科		4 (4)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	31 (31)
		保健医療学部 診療放射線学科		6 (6)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	10 (10)	0 (0)	36 (36)
	計		57 (57)	14 (14)	27 (27)	20 (20)	118 (118)	2 (2)	— (—)	
分 設	該当なし		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
	計		— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
合計		57 (57)	14 (14)	27 (27)	20 (20)	118 (118)	2 (2)	— (—)		
教員以外の 職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員		42 (42)		10 (10)		52 (52)			
	技 術 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)		10 (10)		11 (11)			
	そ の 他 の 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)			
計		43 (43)		20 (20)		63 (63)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	32,171.51 m ²	0 m ²		0 m ²		32,171.51 m ²			
	運 動 場 用 地	0 m ²	0 m ²		0 m ²		0 m ²			
	小 計	32,171.51 m ²	0 m ²		0 m ²		32,171.51 m ²			
	そ の 他	765.14 m ²	0 m ²		0 m ²		765.14 m ²			
合 計	32,936.65 m ²	0 m ²		0 m ²		32936.65 m ²				
校 舎		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
		27,108.06 m ² (27,108.06 m ²)	0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		27,108.06 m ² (27,108.06 m ²)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設			
	50 室	18 室	46 室		1室 (補助職員 0 人)		0 室 (補助職員 0 人)			
専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			うち26室は 共同研究室		
		大学全体			82 室					

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体		
	大学全体	29,500 [1,710] (29,200 [1,700])	440 [62] (435 [60])	19 [10] 19 [10]	885 (877)	1,695 (1,695)	275 (275)			
	計	29,500 [1,710] (29,200 [1,700])	440 [62] (435 [60])	19 [10] 19 [10]	885 (877)	1,695 (1,695)	275 (275)			
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
		1027.17 m ²		274 席		80,000 冊				
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		1284.1 m ²		多目的スポーツ施設 1 該当なし						
経費の 見及び 維持の 方法の 概要	経費の 見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子 ジャーナル・ データベースの 整備費（運用コ ストを含む）を 含む。 大学全体
		教員1人当り研究費等		280千円	280千円	280千円	280千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		9,000千円	9,000千円	9,000千円	9,000千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	14,000千円	14,000千円	14,000千円	14,000千円	14,000千円	— 千円	— 千円	
		設備購入費	106,000千円	36,000千円	36,000千円	36,000千円	36,000千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,800千円	1,650 千円	1,650 千円	1,650 千円	— 千円	— 千円	鍼灸学科		
		1,800千円	1,710 千円	1,710 千円	1,710 千円	— 千円	— 千円	理学療法学科		
		1,800千円	1,720 千円	1,720 千円	1,720 千円	— 千円	— 千円	看護学科		
		1,800千円	1,640 千円	1,640 千円	1,640 千円	— 千円	— 千円	臨床検査学科		
1,800千円		1,710 千円	1,710 千円	1,710 千円	— 千円	— 千円	作業療法学科			
1,800千円		1,640 千円	1,640 千円	1,640 千円	— 千円	— 千円	臨床工学科			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						大学全体		
大学の名称		森ノ宮医療大学								
学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
保健医療学部		年	人	年次 人	人		倍		大阪府大阪市住之江 区南港北1丁目26番16 号	
鍼灸学科		4	60	—	240	学士(鍼灸学)	1.12	平成19年度		
理学療法学科		4	70	—	250	学士(理学療法 学)	1.08	平成19年度		
看護学科		4	90	—	330	学士(看護学)	1.06	平成23年度		
臨床検査学科		4	60	—	180	学士(臨床検査 学)	1.20	平成28年度		
作業療法学科		4	40	—	120	学士(作業療法 学)	1.26	平成28年度		
臨床工学科		4	60	—	60	学士(臨床工 学)	1.17	平成30年度		
保健医療学研究科										
保健医療学専攻		2	6	—	12	修士(保健医療 学)	1.33	平成23年度		
医療科学専攻		3	2	—	2	博士(医療科 学)	1.25	平成30年度		
附属施設の概要		名称：森ノ宮医療大学附属施術所 目的：鍼灸学科の学内臨床実習のため 所在地：大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号(森ノ宮医療大学内) 設置年月日：平成19年4月 規模等：床面積180m ²								

教育課程等の概要																
(保健医療学部 診療放射線学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2				○		1	1				兼1	オムニバス
		物理学	1前	2			○								兼1	
		生物学	1前		2		○								兼1	
		化学	1前		2		○								兼1	
		情報処理	1前		2			○							兼1	
		統計学	1前		2			○							兼1	
	人間理解と社会	心理学	1前		2		○								兼1	
		生命倫理学	1前	2			○								兼1	
		哲学	2前		2		○								兼1	
		社会福祉学	1後	2			○								兼1	
		日本国憲法	1後		2		○								兼1	
		東洋史概説	2後		2		○								兼1	
	語学	英語Ⅰ(初級)	1前	2				○							兼2	
		英語Ⅱ(中級)	1後	2				○							兼2	
		英会話	2前		2			○							兼1	
		医学英語	2後		2			○							兼1	
		基礎英語演習	2前		2			○							兼1	
		応用英語演習	2後		2			○							兼1	
	小計(19科目)		—	12	26	0		—		1	1	0	0	0	兼11	—
学部共通科目群	保健医療	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			○			1						
		チーム医療見学実習	1前	1				○		1		1				
		医療コミュニケーション	2前	1			○			1			1			
		チーム医療論	2後	1				○		1				1		
		IPW論	3前	1				○		1						
		基礎体育	1後		1			○								兼1
		健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2		○									兼1
		健康管理学Ⅰ	2前		2		○									兼1
		健康管理学Ⅱ	2後		2		○									兼1
		栄養学	2後		2		○									兼1
		身体運動科学	2前		2		○									兼1
		東洋医療概論	3前		2		○									兼1
		統合医療概論	3前		2		○									兼3
		小計(13科目)		—	5	15	0		—		5	0	1	2		0

教 育 課 程 等 の 概 要

(保健医療学部 診療放射線学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
学科専門科目群	基礎科目演習	数学	1後	2		○										兼1	
		数学演習	1後	1			○									兼1	
		物理学演習	1前	1			○									兼1	
		生物学演習	1前	1			○									兼1	
		化学演習	1前	1			○									兼1	
	小計 (5科目)		—	0	6	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	兼3	—
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち	医学概論	1前	1		○									兼1	
			公衆衛生学	1後	1		○									兼1	
			人体の構造 I	1前	1		○									兼1	
			人体の構造 II	1後	1		○									兼1	
			人体の機能 I	1前	1		○									兼1	
			人体の機能 II	1後	1		○									兼1	
			生化学	2前	1		○									兼1	
病理学			2後	1		○									兼1		
内科学 I			2前	1		○				1							
内科学 II			2後	1		○				1							
薬理学			3前	1		○										兼1	
看護学概論	2後		1		○									兼1			
基礎医学演習	4前		1			○		1									
外科学	3前	1			○			1									
救急災害医学	2後		1		○									兼1			
小計 (15科目)		—	12	3	0	—	—	1	0	0	0	0	0	兼8	—		
保健医療福祉における理工学的基礎 並びに放射線の科学及び技術	電気・電子工学	電気・電子工学	1後	2		○									兼1		
		医用工学	1後	2		○									兼1		
		工学演習	1後		1			○							兼1		
		情報処理工学	1後	2		○									兼1		
		医療統計学	1後		1		○								兼1		
		放射化学	1後	2		○					1						
		放射線生物学	1後	2		○									兼1		
		放射線化学・生物学演習	1後		1			○					2				
		放射線物理学	1後	2		○									兼1		
		放射線計測学	1後	2		○					1						
		放射線物理学・計測学演習	1後		1			○		1							
		放射線科学	1前	1		○				1							
		専門基礎科目実験	2前	2					○	1	1	1	2				
小計 (13科目)		—	17	4	0	—	—	2	1	1	2	0	兼7	—			

教 育 課 程 等 の 概 要

(保健医療学部 診療放射線学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
診療 画像 技術 学	放射線医学概論	1後	1			○										兼1	
	X線撮影技術学Ⅰ	2前	2			○			1								
	X線撮影技術学Ⅱ	2後	2			○			1								
	X線機器工学	2前	2			○			1								
	放射線撮影技術学	2前	2			○			1								
	CT・MRI撮影技術学	3前	2			○			1								
	CT・MRI機器工学	2後	2			○			1								
	撮影技術学・機器工学実験Ⅰ	2後	1					○	1			1					
	撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	3前	1					○	1	1		1					
	画像解剖学	2前	1				○									兼1	
	画像解剖学演習	4前		1					○		1						
	機器工学演習	4前		1					○								
	小計 (12科目)		—	16	2	0	—			3	1	0	2	0		兼2	—
	核 医 学 検 査	核医学検査技術学Ⅰ	2前	2			○			1							
		核医学検査技術学Ⅱ	2後	2			○			1							
		核医学検査技術学実験	3前	1					○	1		1	1				
		放射性薬品学	3後	1			○					1					
	小計 (4科目)		—	6	0	0	—			1	0	1	1	0	0		—
	放 射 線 治 療	放射線治療技術学Ⅰ	2前	2			○			1							
		放射線治療技術学Ⅱ	2後	2			○			1							
		放射線治療技術学実験	3後	1					○	1			1				
		放射線治療学	3前	1			○									兼1	
	小計 (4科目)		—	6	0	0	—			1	0	0	1	0		兼1	—
医 用 画 像 情 報 学	画像工学	2前	2			○			1								
	医療情報学	2後	1			○									兼1		
	医用画像情報学	3前	2			○			1								
	医用画像情報学実験	3後	1					○	1	1		1					
小計 (4科目)		—	6	0	0	—			2	1	0	1	0		兼1	—	
放 射 線 安 全	放射線安全管理学	2前	2			○			1								
	放射線関係法規	3後	1			○									兼1		
	安全管理学実験	2後	1					○			1	1					
小計 (3科目)		—	4	0	0	—			1	0	1	1	0		兼1	—	
医 療 安 全 管 理 学	医療安全管理学	3前	2			○			1								
小計 (1科目)		—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	0		—	
画 像 診 断 ・ 技 術	臨床画像解剖学	3前	2			○									兼1		
	臨床画像解析学	3後	2			○									兼1		
小計 (2科目)		—	4	0	0	—			0	0	0	0	0		兼2	—	
臨 床 実 習	臨床実習Ⅰ	3後	6					○	5	1	1	2					
	臨床実習Ⅱ	3後	2					○	5	1	1	2					
	臨床実習Ⅲ	4前	2					○	5	1	1	2					
	臨床実習ゼミナール	3通	2					○	5	1	1	2					
小計 (4科目)		—	12	0	0	—			5	1	1	2	0	0		—	

学科専門科目群
専門科目

教 育 課 程 等 の 概 要

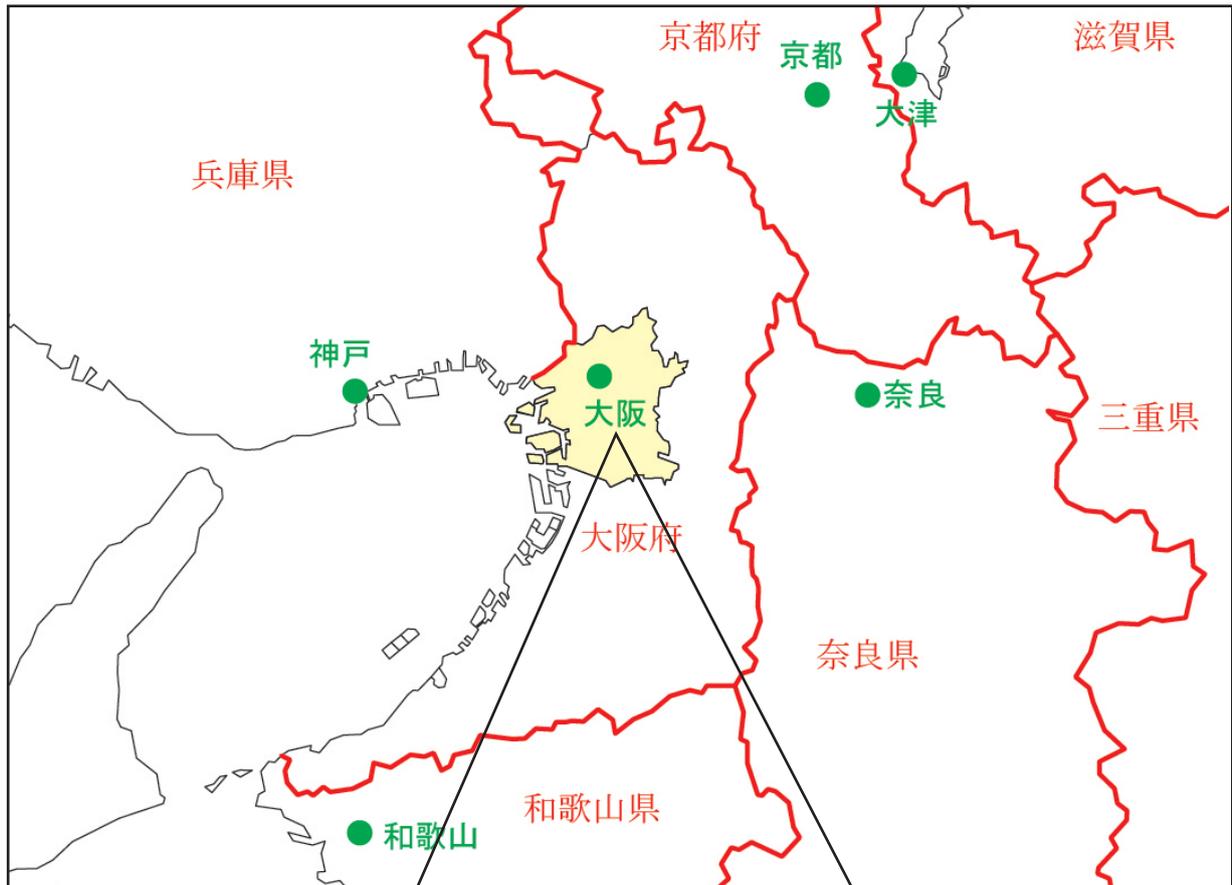
(保健医療学部 診療放射線学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科 専門 科目 群	診療放射線技術 特講	診療画像技術学特講	4後	1			○			2				1		
		核医学・放射線治療学特講	4後	1			○			2						
		放射線技術学特講	4後	1			○			1		1		1		
		基礎医学特講	4後	1			○				1					
	小計 (4科目)	—	4	0	0	—	—	—	5	1	1	2	0	0	—	
研究 分野	先進 科学 技	先進核医学	4前		1		○			1						
		先進放射線治療学	4前		1		○			1						
		先進画像解析学	4前		1		○			1						
		先進医学	4前		1		○			1						
	小計 (4科目)	—	0	4	0	—	—	—	4	0	0	0	0	0	—	
研 究 業	卒業 研究	卒業研究Ⅰ	3通	2				○		6	1	1	2			
		卒業研究Ⅱ	4通	2				○		6	1	1	2			
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—	—	—	6	1	1	2	0	0	—	
合計 (109科目)		—	110	60	0	—	—	—	6	1	1	2	0	兼36	—	
学位又は称号		学士 (診療放射線学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係 (看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)									
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
4年以上在籍し、教養科目群「科学的思考」、「人間理解と社会」から必修8単位+選択4単位以上、「語学」から必修4単位+選択2単位以上、学部共通科目群から必修5単位+選択2単位以上、学科専門科目群の専門基礎科目「基礎科目演習」から選択3単位以上、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」から必修12単位+選択1単位以上、「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術」から必修17単位+選択1単位以上、学科専門科目群の「専門科目」から必修56単位+選択1単位以上、「専門特講」から必修4単位、「研究分野」から必修4単位+選択2単位以上の計126単位以上修得すること。なお、履修できる単位数は通年で44単位以内とする。								1学年の学期区分				2学期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業時間				90分				

学校法人森ノ宮医療学園 設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度	入学 編入学 収容			→	令和2年度	入学 編入学 収容			変更の事由
	定員	定員	定員			定員	定員	定員	
森ノ宮医療大学					森ノ宮医療大学				
保健医療学部					保健医療学部				
	鍼灸学科	60	-	240		鍼灸学科	60	-	240
	理学療法学科	70	-	280		理学療法学科	70	-	280
	看護学科	90	-	360		看護学科	90	-	360
	臨床検査学科	60	-	240		臨床検査学科	60	-	240
	作業療法学科	40	-	160		作業療法学科	40	-	160
	臨床工学科	60	-	240		臨床工学科	60	-	240
						診療放射線学科	80	-	320 学科の設置(届出)
	計	380	-	1520		計	460	-	1840
森ノ宮医療大学大学院					森ノ宮医療大学大学院				
保健医療学研究科					保健医療学研究科				
	保健医療学専攻 (M)	6	-	12		保健医療学専攻 (M)	6	-	12
	医療科学専攻 (D)	2	-	6		看護学専攻 (M)	6	-	12 専攻の設置(届出)
						医療科学専攻 (D)	2	-	6
	計	8	-	18		計	14	-	30
森ノ宮医療学園専門学校					森ノ宮医療学園専門学校				
鍼灸学科					鍼灸学科				
	昼間部	90	-	270		昼間部	80	-	240 定員変更△10
	夜間部	30	-	90		夜間部	30	-	90
柔道整復学科					柔道整復学科				
	昼間部	90	-	270		昼間部	60	-	180 定員変更△30
	夜間部	30	-	90		夜間部	30	-	90
	計	240	-	720		計	200	-	600

森ノ宮医療大学 府内における位置関係



森ノ宮医療大学 最寄り駅からの距離、周辺地図



大阪メトロ中央線 コスモスクエア駅より約 80m 徒歩 1 分

森ノ宮医療大学 校舎、運動場等の配置図



森ノ宮医療大学の校地面積…32,171.51 m²

森ノ宮医療大学の校舎面積…27,108.06 m²

-  全学で共用する校舎（一部、診療放射線学科の専用部分を含む）
-  全学で共用する校舎（一部、他学科等の専用部分を含む）
-  全学で共用する校舎

森ノ宮医療大学

学 則（案）

第一章	目的
第二章	自己点検評価及び第三者評価
第三章	学部・学科等及び附属施設
第四章	学年、学期及び休業日
第五章	修業年限及び在学年限
第六章	入学
第七章	教育課程、履修方法等
第八章	休学、復学、転学、退学及び除籍
第九章	卒業及び学位
第十章	科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴 講生及び外国人留学生
第十一章	職員組織
第十二章	教授会、各種委員等
第十三章	入学検定料、入学料、授業料等
第十四章	賞罰
第十五章	大学開放及び生涯学習事業
第十六章	雑則

第一章 目的

(目的)

第1条 豊かな感性と高い倫理観に加え、チーム医療の実践に求められる幅広い知識・高度な専門技術・コミュニケーション能力を有する専門職医療人を育成する。疾病の予防と治療や健康の維持と増進に有用な科学的根拠を示し、現代医学と伝統医学の双方を尊重した特色ある教育研究活動によって医学と医療の発展に寄与し、広く社会に貢献する。これをもって、専門職業人養成と社会貢献の機能を果たす。

第二章 自己点検評価及び第三者評価

(自己点検評価及び第三者評価)

- 第2条 本学は、教育水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育・研究・組織・運営・施設及び設備の状況について、自己点検評価を行う。
- 2 自己点検評価に関する必要な事項は別に定める。
 - 3 本学は前項の措置に加え、その教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。
 - 4 自己点検評価および第三者評価の結果を公表するものとする。

(情報の積極的な公開)

第3条 本学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができする方法によって積極的にその情報を公開するものとする。

第三章 学部・学科等及び附属施設

(学部、学科、入学定員及び収容定員)

第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、臨床検査学科、作業療法学科、臨床工学科及び診療放射線学科を置く。

2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
保健医療学部	鍼灸学科	60	240
	理学療法学科	70	280
	看護学科	90	360
	臨床検査学科	60	240

	作業療法学科	40	160
	臨床工学科	60	240
	診療放射線学科	80	320
合計		460	1840

3 保健医療学部鍼灸学科に鍼灸コース及びスポーツ特修コースを置く。

4 鍼灸コースは、入学定員40名、収容定員160名とし、スポーツ特修コースは、入学定員20名、収容定員80名とする。

(学部及び学科の目的)

第4条の2 保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。

2 鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

3 鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性や知識、技術を身につけることに加え、保健体育に関する専門知識を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。

4 理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

5 看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術ならびに医療人としての態度を身につけた人材の育成を目的とする。

6 臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理観と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することができる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

7 作業療法学科は、チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

8 臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。

9 診療放射線学科は、人間性豊かで高いモラルを有する医療人として、チーム医療における役割と職責を自覚し、放射線診療を実践できる確かな専門知識と技術を身につけた人材の育成を目的とする。

(大学院)

第4条の3 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規則は別に定める。

(専攻科)

第4条の4 本学に次の専攻科を置く。

(1) 助産学専攻科

2 専攻科に関する規則は別に定める。

(附属施設)

第5条 本学に次の附属施設を置く。

- (1) 附属図書館
- (2) 附属臨床実習施設

2 前項の附属施設に関し必要な事項は別に定める。

第四章 学年、学期及び休業日

(学年)

第6条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第7条 学年を次の2学期にわけるとする。

- (1) 前期4月1日から9月30日まで
- (2) 後期10月1日から3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 春期休業日3月21日から3月31日まで
- (4) 夏期休業日8月11日から9月30日まで
- (5) 冬期休業日12月25日から1月7日まで

2 学長は前項の規定に関わらず、特別の必要があると認めるときは、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更し、若しくは休業日に授業を行うことができる。

第五章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第9条 本学の修業年限は4年とする。

(在学年限)

第10条 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第16条、第17条、第18条の規定により入学した学生は、第19条の規定により定められた在学すべき年数の2倍に相当する期間を

超えて在学することができない。

第六章 入学

(入学の時期)

第11条 入学の時期は学年の始めとする。

2 ただし、第16条、第17条、第18条の規定により入学する場合及び特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと認められる場合は、学期の始めとする。

(入学資格)

第12条 本学に入学することができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに該当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) 前各号に定める者の他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると学長が認めた者

(入学の出願)

第13条 本学に入学を志願する者は、本学指定の期日までに、入学願書に入学検定料を添えて学長に提出しなければならない。

(入学者の選考)

第14条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第15条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学料及び学納金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第16条 学長は、編入学を志望するものがあるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に編入学を許可することができる。

2 本学に入学することができる者は、次の各号の一つに該当する者とする。

- (1) 大学及び短期大学の課程を卒業した者か、卒業見込みの者
- (2) 高等専門学校課程を卒業した者か、卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第八十二条第十項に定める専修学校を卒業した者か、卒業見込みの者

(転入学)

第17条 学長は、他の大学に在籍しているもので、本学への転入学を志願する者があるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

(再入学)

第18条 学長は、再入学を志願する者があるときは、定員に欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に入学を許可することができる。

(編入学等の場合の取扱い)

第19条 第16条、第17条、第18条の規定により入学を許可された者が既に修得した授業科目及びその単位数の取扱い、履修すべき授業科目並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴き、学長が決定する。

第七章 教育課程、履修方法等

(教育課程)

第20条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

- 2 鍼灸学科鍼灸コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第1のとおりとする。
- 3 鍼灸学科スポーツ特修コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第2のとおりとする。
- 4 理学療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第3のとおりとする。
- 5 看護学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第4のとおりとする。
- 6 臨床検査学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第5のとおりとする。
- 7 作業療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第6のとおりとする。
- 8 臨床工学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第7のとおりとする。
- 9 診療放射線学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第8のとおりとする。

第21条 授業は、講義、演習、実習のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

第22条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(単位の計算方法)

第23条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実習については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(1年間の授業期間)

第24条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週とすることを原則とする。

(単位の授与)

第25条 授業科目を履修し、その試験に合格した者に、担当の教員は所定の単位を与える。

2 前項の試験は、当該授業科目を履修した者でなければ、受けることができない。

(成績の評価)

第26条 成績の評価は、優、良、可及び不可の4段階をもって表示し、優、良及び可を合格とする。

(試験の種類)

第27条 各授業科目の試験は、定期試験、追試験、再試験及び臨時試験等とする。

(入学前及び在学時における他大学等での既修得単位等の認定)

第28条 学長は教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学等で履修した授業科目について修得した単位(大学等で科目等履修生として修得した単位を含む)を、該当する授業科目を本学において履修及び修得したものと見なし、単位を与えることができる。

2 学長は教育上有益と認めるときは、あらかじめ他の大学等と協議の上、学生が授業科目を履修することを認め、その履修した授業科目について修得した単位は本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 前二項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、第16条の編入学、第17条の転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、60単位を超えないものとする。

(教職に関する免許)

第28条の2 本学の学部学科において取得できる教育職員の免許状の種類及び教科免許は、次のとお

りとする。

学部	学科等	免許状の種類	教科の種類
保健医療学部	鍼灸学科スポーツ特修コース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育 保健体育
保健医療学部	看護学科	養護教諭一種免許状	養護

- 2 前項の免許の資格を得たい者は、第25条に基づく単位修得のほか、別表第2の鍼灸学科スポーツ特修コースの教育課程及び別表第4の看護学科の教育課程及び別表第9の教職に関する科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。
- 3 前項の所定の単位の修得に関し必要な事項は別に定める。

第八章 休学、復学、転学、退学及び除籍

(休学)

- 第29条 疾病その他やむを得ない事情により3ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。
- 2 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合において、学長の許可を得たときは、この限りでない。
 - 3 休学の期間は通算して4年を超えることはできない。
 - 4 休学の期間は第10条に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第30条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第31条 本学への在学期間中、他の大学等への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(退学)

第32条 退学しようとするものは、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第33条 次の各号に該当する者は、学長が除籍することができる。

- (1) 第10条の規定により定められた在学年限を超えた者

- (2) 第29条の規定により定められた休学期間を超えて、なお復学することができない者
 - (3) 授業料を納入しない者
 - (4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者
- 2 前項(3)により除籍となった者が、所定の期日内に学費を納付した場合、復籍を認めることがある。

第九章 卒業及び学位

(卒業)

第34条 本学に4年(第16条、第17条、第18条の規定により入学したものについては、第19条の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、所定の授業科目を履修し、単位を修得した者については、教授会の意見を聴き、学長が卒業を認定する。

2 学長は、前項の卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(学位の授与)

第35条 学長は、第34条1項により卒業を認定した者に次の学位を授与する。

学部	学科	学位
保健医療学部	鍼灸学科	学士(鍼灸学)
	理学療法学科	学士(理学療法学)
	看護学科	学士(看護学)
	臨床検査学科	学士(臨床検査学)
	作業療法学科	学士(作業療法学)
	臨床工学科	学士(臨床工学)
	診療放射線学科	学士(診療放射線学)

第十章 科目等履修生、研究生、聴講生、特別聴講生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第36条 本学において、一又は複数の授業科目の履修を希望する者がいるときは、学長は選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

(研究生)

第37条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、学長は選考の上、入学を許可することができる。

2 研究生となることを志願することができる者は大学を卒業した者又はこれと同等以上の能力があると学長が認めた者とする。

(聴講生)

第38条 本学において、特定の授業科目について聴講を志願するものがあるときは、学長は選考の上、入学を許可することができる。

(特別聴講生)

第38条の2 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下この条において同じ）の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、学長は、特別聴講生として入学を許可することができる。

(外国人留学生)

第39条 外国人で、本学に入学を志願する者があるときは、学長は選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

第十一章 職員組織

(職員)

第40条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員及びその他の必要な職員を置く。

2 学長が必要と認めた場合には副学長を置くことができる。

(各組織の長)

第41条 本学に、学長のほか、事務局長、研究科長、学部長、専攻科長、学科長、附属臨床実習施設長、及び附属図書館長等を置く。

(学長等の職務)

第42条 学長は本学の校務をつかさどり、所属職員を統督する。

2 事務局長は、本学の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

3 研究科長は、本学の教授をもって充て、大学院の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

4 専攻科長は、本学の教授をもって充て、専攻科の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

5 学部長は、本学の教授をもって充て、保健医療学部の教育研究及び学生の福利厚生に関する事項を掌理する。

- 6 学科長は、各学科の教授をもって充て、学部長の命を受け、各学科の運営に関する連絡調整を行う。
- 7 附属臨床実習施設長は、本学の教授をもって充て、附属臨床実習の活動に関する事項を掌理する。
- 8 附属図書館長は、本学の教職員をもって充て、附属図書館に関する事項を掌理する。

第十二章 教授会、各種委員等

(教授会)

- 第43条 本学の学生の入学、卒業及び課程の修了、学位授与その他教育研究に関する重要な事項を審議するため、教授会を置く。
- 2 教授会は、学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
 - 3 教授会は理事長、法人本部長、学長、副学長、教授、准教授、講師及び事務局長をもって組織する。

(専門委員会)

- 第44条 本学に、専門事項を審議する専門委員会を置く。
- 2 専門委員会は学長の付託を受け専門事項を審議する。
 - 3 専門委員会に関し、必要な事項は別に定める。

第十三章 入学検定料、入学料、授業料等

(授業料等の金額)

- 第45条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費の納入額は別表第10のとおりとする。

(授業料等の納付)

- 第46条 本学の学生の授業料等は4月1日から9月30日までを前期、10月1日から翌年3月31日までを後期とし、その年額の2分の1に相当する額を、学長が指定した日までに納付しなければならない。
- 2 経済的事由により授業料等の納付が困難であって、学業優秀と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者については、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその徴収を猶予することができる。
 - 3 第29条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の授業料の5分の1とする。
 - 4 既に納付した入学検定料、授業料は、返還しない。

第十四章 賞罰

(表彰)

第47条 学長は、表彰に値する行為があった学生を表彰することができる。

(懲戒)

第48条 学長は、本学の学則その他学生に関する諸規定に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者に対して、懲戒することができる。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うことができる。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席が常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第十五章 大学開放及び生涯学習事業

(大学開放)

第49条 本学は、教育研究上の支障のない限りにおいて、その教育研究施設及び設備を積極的に開放する。

(生涯学習事業)

第50条 本学は、地域社会の発展に寄与するため、生涯学習事業をととして本学の教育研究資源の地域社会への還元積極的に努めるものとする。

第十六章 雑則

(雑則)

第51条 この学則に定めるもののほか、この学則の施行に関し必要な事項は学長が別に定める。

附 則

- 1 この学則は平成19年4月1日から施行する。ただし、第12条、第13条、第14条、第15条、第45条、第46条の規定は、文部科学大臣が本学の設置を認可した日より施行する。
- 2 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成19年度	120人				120人
平成20年度	120人	120人			240人
平成21年度	120人	120人	120人		360人
平成22年度	120人	120人	120人	120人	480人

- 3 この学則は平成23年4月1日から施行する。
- 4 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成23年度	200人	120人	120人	120人	560人
平成24年度	200人	200人	120人	120人	640人
平成25年度	200人	200人	200人	120人	720人
平成26年度	200人	200人	200人	200人	800人

- 5 平成23年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 6 この学則は平成24年4月1日から施行する。ただし、平成24年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 7 この学則は平成25年4月1日から施行する。
- 8 この学則は平成27年4月1日から施行する。
- 9 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成28年度	300人	200人	200人	200人	900人
平成29年度	300人	300人	200人	200人	1000人
平成30年度	300人	300人	300人	200人	1100人
平成31年度	300人	300人	300人	300人	1200人

- 10 この学則は平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 11 この学則は平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日に在学する者については、従前の規定を適用する。
- 12 この学則は平成30年4月1日から施行する。
- 13 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の数に読み替

えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成30年度	380人	300人	300人	200人	1180人
平成31年度	380人	380人	300人	300人	1360人
平成32年度	380人	380人	380人	300人	1440人
平成33年度	380人	380人	380人	380人	1520人

14 この学則は平成31年4月1日から施行する。

15 この学則は平成32年4月1日から施行する。

16 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。

年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員
平成32年度	460人	380人	380人	300人	1520人
平成33年度	460人	460人	380人	380人	1680人
平成34年度	460人	460人	460人	380人	1760人
平成35年度	460人	460人	460人	460人	1840人

別表第1

鍼灸学科 鍼灸コース 教育課程

区分	授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	
		物理学	2	
		生物学	2	
		化学	2	
		情報処理	2	
		統計学	2	
		心理学	2	
	人間理解と社会	生命倫理学	2	
		哲学	2	
		社会福祉学	2	
		日本国憲法	2	
		東洋史概説	2	
		西洋史概説	2	
	語学	英語Ⅰ（初級）	2	
		英語Ⅱ（中級）	2	
		英会話	2	
		医学英語	2	
		基礎英語演習	2	
応用英語演習		2		
学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習	2	
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	2	
		健康管理学Ⅰ	2	
		健康管理学Ⅱ	2	
		チーム医療とコミュニケーション	2	
		栄養学	2	
		身体運動科学	2	
		東洋医療概論	2	
		統合医療概論	2	
		IPW論	1	
		学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造と機能
解剖学Ⅱ（神経）	2			
解剖学Ⅲ（内臓・脈管）	2			
生理学Ⅰ（動物生理学）	2			
生理学Ⅱ（植物生理学）	2			
生理学Ⅲ（応用生理学）	2			
運動学	2			
生化学	2			
疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進	病理学			2
	臨床医学総論			2
	整形外科学			2
	内科学			2
	臨床医学各論Ⅰ			2
	臨床医学各論Ⅱ			2
保健医療福祉と社会の理念	臨床医学各論Ⅲ		2	
	スポーツ医学		2	
	リハビリテーション医学		2	
画像診断学	2			
専門科目	基礎はりきゅう学		衛生学公衆衛生学	2
			保健医療倫理	1
			経絡経穴学Ⅰ	1
			経絡経穴学Ⅱ	1
			経穴局所解剖演習Ⅰ	1
			経穴局所解剖演習Ⅱ	1
			鍼灸科学概論Ⅰ	1
			鍼灸科学概論Ⅱ	1
			東洋医学概論Ⅰ	1
		東洋医学概論Ⅱ	1	
東洋医学概論Ⅲ	1			

区分	授業科目	単位数		
学科専門科目群	臨床はりきゅう学	鍼灸安全学	1	
		臨床生理学	1	
		臨床鍼灸学	1	
		生体観察	1	
		運動機能検査法	1	
		現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）	2	
		現代医学系鍼灸学Ⅱ（整形外科系）	2	
		現代医学系鍼灸学Ⅲ（内科系）	1	
		東洋医学系検査法	1	
		東洋医学各論Ⅰ	1	
		東洋医学各論Ⅱ	1	
		社会はりきゅう学	鍼灸経営論	1
			関係法規	1
		実習	基礎鍼灸実技Ⅰ	1
	基礎鍼灸実技Ⅱ		1	
	基礎灸実技Ⅰ		1	
	基礎灸実技Ⅱ		1	
	応用鍼灸実技Ⅰ		1	
	応用鍼灸実技Ⅱ		1	
	現代医学系鍼灸学実習Ⅰ		1	
	現代医学系鍼灸学実習Ⅱ		1	
	現代医学系鍼灸学実習Ⅲ		1	
	東洋医学系鍼灸実習Ⅰ		1	
	東洋医学系鍼灸実習Ⅱ		1	
	東洋医学系鍼灸学実習Ⅲ		1	
	応用鍼灸治療学		1	
	臨床灸実習		1	
	特殊鍼灸治療学	1		
	実習臨床	附属施術所基礎実習	2	
		附属施術所応用実習	2	
	総合領域	キャリアデザイン	1	
		鍼灸総合演習Ⅰ	2	
		鍼灸総合演習Ⅱ	2	
		鍼灸総合演習Ⅲ	2	
		卒業研究Ⅰ	1	
		卒業研究Ⅱ	1	
	専門領域	学外見学実習Ⅰ	1	
		学外見学実習Ⅱ	1	
		美容鍼灸学総論	1	
		テーピング技術論	1	
		コンディショニング技術論	1	
		スポーツ鍼灸学総論	1	
		スポーツ鍼灸学各論	1	
		介護学概論	1	
		老年ケア演習	1	
		美容鍼灸学各論Ⅰ	1	
		美容鍼灸学各論Ⅱ	1	
応用鍼灸学Ⅰ		1		
応用鍼灸学Ⅱ		1		
スポーツ経営学		1		
卒業要件（最低必要単位数）		124		

別表第2

鍼灸学科 スポーツ特修コース 教育課程

区分	授業科目	単位数			
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2		
		物理学	2		
		生物学	2		
		化学	2		
		情報処理	2		
	人間理解と社会	統計学	2		
		心理学	2		
		生命倫理学	2		
		哲学	2		
		社会福祉学	2		
		日本国憲法	2		
		東洋史概説	2		
	語学	西洋史概説	2		
		英語Ⅰ(初級)	2		
		英語Ⅱ(中級)	2		
		英会話	2		
		医学英語	2		
		基礎英語演習	2		
		応用英語演習	2		
		スポーツ健康科学演習	2		
学部共通科目群	保健医療	健康科学(スポーツ社会学を含む)	2		
		健康管理学Ⅰ	2		
		健康管理学Ⅱ	2		
		チーム医療とコミュニケーション	2		
		栄養学	2		
		身体運動科学	2		
		東洋医療概論	2		
		統合医療概論	2		
		IPW論	1		
		学科専門科目群	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ(骨・筋)	4
				解剖学Ⅱ(神経)	2
				解剖学Ⅲ(内臓・尿管)	2
				生理学Ⅰ(動物生理学)	2
生理学Ⅱ(植物生理学)	2				
生理学Ⅲ(応用生理学)	2				
運動学	2				
生化学	2				
疾病の成り立ち、その回復の促進	病理学			2	
	臨床医学総論			2	
	整形外科学		2		
	内科学		2		
	臨床医学各論Ⅰ		2		
	臨床医学各論Ⅱ		2		
	臨床医学各論Ⅲ		2		
	スポーツ医学		2		
	リハビリテーション医学		2		
	画像診断学		2		
きょうふの理念	衛生学公衆衛生学		2		
	保健医療福祉		1		
	保健医療倫理		1		
基礎はりきょうふ学	経絡経穴学Ⅰ		1		
	経絡経穴学Ⅱ		1		
	経穴局所解剖演習Ⅰ		1		
	経穴局所解剖演習Ⅱ		1		
	鍼灸科学概論Ⅰ		1		
	鍼灸科学概論Ⅱ		1		
	東洋医学概論Ⅰ	1			
	東洋医学概論Ⅱ	1			
	東洋医学概論Ⅲ	1			
	臨床はりきょうふ学	鍼灸安全学	1		
臨床生理学		1			
臨床鍼灸学		1			
生体観察		1			
運動機能検査法		1			
現代医学系鍼灸学Ⅰ(整形外科系)		2			
現代医学系鍼灸学Ⅱ(整形外科系)		2			
現代医学系鍼灸学Ⅲ(内科系)		1			
東洋医学系検査法		1			
東洋医学各論Ⅰ		1			
東洋医学各論Ⅱ	1				
り社会は	鍼灸経営論	1			
	関係法規	1			

区分	授業科目	単位数		
学科専門科目群	実習	基礎鍼灸実技Ⅰ	1	
		基礎鍼灸実技Ⅱ	1	
		基礎灸実技Ⅰ	1	
		基礎灸実技Ⅱ	1	
		応用鍼灸実技Ⅰ	1	
		応用鍼灸実技Ⅱ	1	
		現代医学系鍼灸学実習Ⅰ	1	
		現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	1	
		現代医学系鍼灸学実習Ⅲ	1	
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅰ	1	
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅱ	1	
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅲ	1	
		応用鍼灸治療学	1	
		臨床灸実習	1	
		特殊鍼灸治療学	1	
	実臨床	附属施設所基礎実習	2	
		附属施設所応用実習	2	
	総合領域	キャリアデザイン	1	
		鍼灸総合演習Ⅰ	2	
		鍼灸総合演習Ⅱ	2	
		鍼灸総合演習Ⅲ	2	
		運動生理学	2	
		運動生理機能学演習	2	
		卒業研究Ⅰ	1	
		卒業研究Ⅱ	1	
		学外見学実習Ⅰ	1	
		学外見学実習Ⅱ	1	
		保健体育	スポーツ実習Ⅰ体づくり運動	1
			スポーツ実習Ⅱ球技A	1
			スポーツ実習Ⅱ球技B	1
			スポーツ実習Ⅱ球技C	1
			スポーツ実習Ⅲ陸上競技	1
	スポーツ実習Ⅳ柔道		1	
	スポーツ実習Ⅴダンス		1	
	スポーツ実習Ⅵ器械運動		1	
	スポーツ実習Ⅶ水泳		1	
	スポーツ実習Ⅷ生涯スポーツ		1	
	学校保健(小児保健・精神保健)		2	
	学校保健(学校安全・救急処置)		2	
	トレーニング科学演習Ⅰ(レジスタンスエクササイズ1)		1	
	トレーニング科学演習Ⅱ(エアロビックダンス・ウォーキング・ジョギング)		1	
	トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンスエクササイズ2・水中運動)		1	
トレーニング科学演習Ⅳ(指導実習)	1			
体力トレーニング論	2			
テーピング技術論	1			
スポーツバイオメカニクス	2			
介護学概論	1			
老年ケア演習	1			
体育原理	2			
スポーツ心理学	2			
スポーツ鍼灸学総論	1			
スポーツ鍼灸学各論	1			
スポーツ傷害学・栄養学	2			
スポーツ経営学	1			
卒業要件(最低必要単位数)		142		

別表第3

理学療法学科 教育課程

区分	授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	
		物理学	2	
		生物学	2	
		化学	2	
		情報処理	2	
		統計学	2	
	人間理解と社会	心理学	2	
		生命倫理学	2	
		哲学	2	
		社会福祉学	2	
		日本国憲法	2	
		東洋史概説	2	
	語学	英語Ⅰ（初級）	2	
		英語Ⅱ（中級）	2	
		英会話	2	
		医学英語	2	
		基礎英語演習	2	
		応用英語演習	2	
	学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習	2
			健康科学（スポーツ社会学を含む）	2
			健康管理学Ⅰ	2
健康管理学Ⅱ			2	
チーム医療とコミュニケーション			2	
栄養学			2	
身体運動科学			2	
東洋医療概論			2	
統合医療概論			2	
IPW論			1	
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造演習Ⅰ（運動器）	1	
		人体の構造演習Ⅱ（運動器）	1	
		人体の構造Ⅰ（神経系）	2	
		人体の構造Ⅱ（循環・内臓）	2	
		人体の構造実習	1	
		人体の機能Ⅰ（動物性機能）	2	
		人体の機能Ⅱ（植物性機能）	2	
		基礎運動学	1	
		臨床運動学	1	
		運動学実習	1	
		臨床心理学	1	
		専門基礎科目	リハビリテーション概論	1
			公衆衛生学	2
			生化学	2
	病理学		2	
	臨床病態学Ⅰ		2	
	臨床病態学Ⅱ		2	
	臨床病態学Ⅲ		2	
	整形外科		2	
	小児科学（人間発達学）		2	
	精神医学		2	
	リハビリテーション医学		2	
	作業療法・芸術療法論		2	
	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学		2	
	介護学概論・ボランティア活動論		1	
	スポーツ医学	2		
	テーピング技術論	1		

区分	授業科目	単位数	
学科専門科目群	基礎理学療法	医療関係法規論	2
		理学療法触診法	1
		基礎理学療法Ⅰ	1
		基礎理学療法Ⅱ	1
		基礎理学療法演習	1
		理学療法評価学総論	1
	理学療法評価学	理学療法評価学各論	2
		臨床理学療法評価学（動作分析）	1
		臨床理学療法評価学演習	1
	理学療法治療学	基礎日常生活活動学	1
		基礎運動療法学総論	1
		基礎運動療法学各論	1
		物理療法学	1
		運動器系理学療法Ⅰ	1
		運動器系理学療法Ⅱ	2
		運動器系理学療法Ⅲ	1
		神経系理学療法Ⅰ	1
		神経系理学療法Ⅱ	2
		神経系理学療法Ⅲ	1
		内部障害系理学療法Ⅰ	1
		内部障害系理学療法Ⅱ	2
		内部障害系理学療法Ⅲ	1
		発達障害理学療法学	1
	義肢装具学	2	
	臨床理学療法治療学演習	1	
	地域理学療法学	地域理学療法学	2
		生活環境論	1
		老年期理学療法学	1
	総合領域	理学療法特論Ⅰ	1
		理学療法特論Ⅱ	1
		理学療法特論Ⅲ	2
		運動器系理学療法セミナー	1
		神経系理学療法セミナー	1
		内部障害系理学療法セミナー	1
		地域理学療法セミナー	1
	研究	卒業研究Ⅰ	2
		卒業研究Ⅱ	2
	臨床実習	臨床見学実習	1
		検査測定実習	1
		臨床評価実習	4
	臨床実習	臨床総合実習Ⅰ	7
		臨床総合実習Ⅱ	7
卒業要件（最低必要単位数）		125	

別表第4
看護学科教育課程

区分		授業科目	単位数	
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	
		物理学	2	
		生物学	2	
		化学	2	
		情報処理	2	
		統計学	2	
	人間理解と社会	心理学	2	
		生命倫理学	2	
		哲学	2	
		社会福祉学	2	
		日本国憲法	2	
	語学	東洋史概説	2	
		西洋史概説	2	
		英語 I (初級)	2	
		英語 II (中級)	2	
		英会話	2	
		医学英語	2	
	学部共通科目群	保健医療	基礎英語演習	2
			応用英語演習	2
スポーツ健康科学演習			2	
健康科学 (スポーツ社会学を含む)			2	
健康管理学 I			2	
健康管理学 II			2	
チーム医療とコミュニケーション			2	
栄養学			2	
身体運動科学			2	
東洋医療概論			2	
統合医療概論		2		
IPW論		1		
学科専門科目群		専門基礎分野	形態機能学 I	1
			形態機能学 II	1
	形態機能学 III		1	
	形態機能学 IV		1	
	フィジカルアセスメント		2	
	生化学		2	
	発達心理学		2	
	微生物学		1	
	病理学		1	
	臨床薬理学		1	
	健康支援と社会保障制度	臨床病態学 I	1	
		臨床病態学 II	1	
		臨床病態学 III	1	
		臨床病態学 IV	1	
		臨床病態学 V	1	
		臨床心理学	2	
		医療概論	1	
	公衆衛生学	2		
	看護関係法規	2		
	保健統計学	2		
疫学	2			

区分		授業科目	単位数		
学科専門科目群	専門分野 I	基礎看護学	看護学概論	1	
			看護理論	2	
			生活援助論 I	2	
			生活援助論 II	2	
			診療援助論 I	2	
			診療援助論 II	2	
			看護過程演習	1	
		実習地	基礎看護学実習 I	1	
			基礎看護学実習 II	2	
		専門分野 II	成人看護学	成人看護学概論	2
				成人看護援助論 I	1
				成人看護援助論 II	1
				成人看護援助論 III	1
			老年看護学	成人看護援助論 IV	1
	老年看護学概論			2	
	老年看護援助論 I			1	
	母性看護学		老年看護援助論 II	1	
			母性看護学概論	2	
	小児看護学		母性看護援助論 I	1	
			母性看護援助論 II	1	
			小児看護学概論	2	
	精神看護学		小児看護援助論 I	1	
			小児看護援助論 II	1	
			精神看護学概論	2	
	臨地実習		精神看護援助論 I	1	
			精神看護援助論 II	1	
			成人看護学実習 I (急性)	3	
		成人看護学実習 II (慢性)	3		
		老年看護学実習 I	3		
		老年看護学実習 II	1		
		母性看護学実習	2		
	在宅看護論	小児看護学実習	2		
		精神看護学実習	2		
		在宅看護概論	2		
		在宅看護援助論 I	1		
		在宅看護援助論 II	1		
		外来看護論	1		
		健康教育論	2		
		家族看護学	1		
		看護の統合と実践 I	1		
		災害・国際看護論	1		
	統合分野	養護概説	2		
学校保健		2			
健康相談活動論		2			
公衆衛生看護学概論		2			
公衆衛生看護学演習		2			
公衆衛生看護活動論 I		2			
公衆衛生看護活動論 II		2			
公衆衛生看護活動論 III		2			
公衆衛生看護活動論 IV		2			
公衆衛生看護管理論		2			
臨地実習	保健医療福祉行政論	2			
	在宅看護論実習	2			
	公衆衛生看護学実習	4			
	主題実習 I	2			
研究卒業	主題実習 II	1			
	看護研究	1			
	卒業研究	2			
	臨床看護学セミナー I	2			
看護の実践 II	臨床看護学セミナー II	2			
	公衆衛生看護セミナー	1			
	臨床看護技術セミナー	1			
卒業要件 (最低必要単位数)			124		

別表第5

臨床検査学科 教育課程

区分		授業科目	単位数	
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	
		物理学	2	
		生物学	2	
		情報処理	2	
	人間理解と社会	心理学	2	
		生命倫理学	2	
		哲学・宗教学	2	
		社会福祉学	2	
		日本国憲法	2	
		統計学	2	
	語学	英語Ⅰ（初級）	2	
		英語Ⅱ（中級）	2	
		医学英語Ⅰ	2	
		医学英語Ⅱ	2	
		英会話Ⅰ	2	
		英会話Ⅱ	2	
	学部共通科目群	保健医療	スポーツ健康科学演習	2
健康科学（スポーツ社会学を含む）			2	
東洋思想史			2	
生化学			2	
健康管理学Ⅰ			2	
健康管理学Ⅱ			2	
チーム医療とコミュニケーション			2	
栄養学			2	
身体運動科学			2	
漢方医学概論			2	
統合医療概論			2	
学科専門科目群			専門基礎科目	人体の構造Ⅰ
	人体の構造Ⅱ	2		
	人体の構造実習	1		
	人体の機能Ⅰ	2		
	人体の機能Ⅱ	2		
	生化学各論	2		
	生化学実習	1		
	分析化学	2		
	小児医学	2		
	老年医学	2		
	救急災害医学	2		
	薬理学	2		
	リハビリテーション概論	2		
	基礎医学と 疾病との関係	臨床検査学総論		2
		検査技術科学序論		2
		病理学	2	
	保健医療 福祉と 医学検査	医学概論	2	
		公衆衛生学	2	
		IPW論	1	
	工医療	医用工学概論	2	
		医用工学実習	1	

区分		授業科目	単位数
学科専門科目群	態学 臨床病	臨床病態学Ⅰ	2
		臨床病態学Ⅱ	2
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2
		血液検査学Ⅱ	2
		血液検査学実習	1
		病理検査学	2
		病理検査学実習	1
		一般検査学	1
	生物化学 分析検査学	臨床化学検査学Ⅰ	2
		臨床化学検査学Ⅱ	2
		臨床化学検査学実習	1
		放射性同位元素検査学	1
		遺伝子検査学	2
		遺伝子検査学実習	1
	病因・ 生体防御検査学	バイオテクノロジー演習	1
		微生物検査学Ⅰ	2
		微生物検査学Ⅱ	2
		微生物検査学実習	1
		寄生虫検査学	1
		免疫検査学Ⅰ	2
		免疫検査学Ⅱ	2
		免疫検査学実習	1
		輸血・移植検査学	2
		輸血・移植検査学実習	1
	生理機能 検査学	生理機能検査学Ⅰ	2
		生理機能検査学Ⅱ	2
		生理機能検査学Ⅲ	2
		生理機能検査学実習	1
		画像検査学	2
		超音波検査学Ⅰ	1
	検査 総合 管理 学	超音波検査学Ⅱ	1
		検査総合管理 学	2
		医療情報科学	2
	全医 学 管理 安	関係法規	1
		医療安全管理学	1
		総合 領域	臨床薬理学
	食品衛生学		1
	食品関係法規		1
	総合演習Ⅰ		2
	総合演習Ⅱ		2
	総合演習Ⅲ		2
	研究 卒業	卒業研究Ⅰ	2
卒業研究Ⅱ		2	
実 習 地	臨地実習	7	
卒業要件（最低必要単位数）			125

別表第6

作業療法学科教育課程

区分	授業科目	単位数	
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2
		物理学	2
		生物学	2
		情報処理	2
	人間理解と社会	心理学	2
		生命倫理学	2
		哲学・宗教学	2
		社会福祉学	2
		日本国憲法	2
	語学	統計学	2
		英語Ⅰ（初級）	2
		英語Ⅱ（中級）	2
		医学英語Ⅰ	2
		医学英語Ⅱ	2
	学部共通科目群	保健医療	英会話Ⅰ
英会話Ⅱ			2
スポーツ健康科学演習			2
健康科学（スポーツ社会学を含む）			2
東洋思想史			2
生化学			2
健康管理学Ⅰ			2
健康管理学Ⅱ			2
チーム医療とコミュニケーション			2
栄養学			2
身の発達		身体運動科学	2
		漢方医学概論	2
		統合医療概論	2
		人体の構造演習（運動器）	2
		人体の構造Ⅰ（循環・内臓）	2
学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造Ⅱ（神経系）	2
		人体の構造実習	1
		人体の機能Ⅰ（動物性機能）	2
		人体の機能Ⅱ（植物性機能）	2
		基礎運動学	2
		臨床運動学	1
		リハビリテーション概論	1
		公衆衛生学	2
		病理学	2
		内科学Ⅰ	2
	内科学Ⅱ	2	
	救急処置法	2	
	脳神経外科学	2	
	整形外科学	2	
	小児科学（人間発達学）	2	
	精神医学	2	
	精神医学各論	2	
	臨床心理学	2	
	老年医学	1	
	リハビリテーション医学	1	
	医療関係法規論	2	
	理学療法概論	1	
	芸術療法論	1	
	言語聴覚療法、摂食・嚥下障害学	2	
	介護学概論・ボランティア活動論	2	
スポーツ医学	2		
漢方医学各論	2		
東洋医学概論Ⅰ	1		
東洋医学概論Ⅱ	1		
IPW論	1		

区分	授業科目	単位数	
学科専門科目群	基礎作業療法学	基礎作業学	2
		作業科学入門	2
		作業療法概論	2
	作業療法評価学	作業療法評価学総論	2
		身体障害作業療法評価学	2
		精神障害作業療法評価学	1
		発達障害作業療法評価学	1
		高次脳機能障害作業療法評価学	1
	作業療法治療学	日常生活活動学	2
		身体障害作業療法治療学総論	2
		精神障害作業療法治療学総論	2
		老年期障害作業療法治療学総論	2
		発達障害作業療法治療学総論	2
		身体障害作業療法治療学各論	2
		精神障害作業療法治療学各論	2
		発達障害作業療法治療学各論	1
		老年期障害療法作業療法治療学各論	1
		義肢装具学	1
		作業療法特論Ⅰ	1
		作業療法特論Ⅱ	1
		身体障害作業療法治療学演習	1
	精神障害作業療法治療学演習	1	
	老年期障害作業療法治療学演習	1	
	発達障害作業療法治療学演習	1	
	地域作業療法学	地域作業療法学	2
		生活環境論	1
		障害者地域生活支援論	1
	研究卒業	卒業研究Ⅰ	2
		卒業研究Ⅱ（身体障害）	2
		卒業研究Ⅱ（精神障害）	2
卒業研究Ⅱ（老年期障害・地域）		2	
卒業研究Ⅱ（発達障害）		2	
臨床実習	臨地見学実習	1	
	臨床検査実習	2	
	臨床評価実習	4	
	臨床総合実習	16	
卒業要件（最低必要単位数）		126	

別表第7

臨床工学科 教育課程

区分	授業科目	単位数		
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	
		物理学	2	
		生物学	2	
		化学	2	
		情報処理	2	
		統計学	2	
	人間理解と社会	心理学	2	
		生命倫理学	2	
		哲学	2	
		社会福祉学	2	
		日本国憲法	2	
		東洋史概説	2	
	語学	西洋史概説	2	
		英語Ⅰ（初級）	2	
		英語Ⅱ（中級）	2	
		英会話	2	
		医学英語	2	
		基礎英語演習	2	
学部共通科目群	保健医療	応用英語演習	2	
		スポーツ健康科学演習	2	
		健康科学（スポーツ社会学を含む）	2	
		健康管理学Ⅰ	2	
		健康管理学Ⅱ	2	
		チーム医療とコミュニケーション	2	
		栄養学	2	
		身体運動科学	2	
		東洋医療概論	2	
		統合医療概論	2	
		IPW論	1	
		学科専門科目群	専門基礎科目	人体の構造及び機能
公衆衛生学	2			
人体の構造Ⅰ	2			
人体の構造Ⅱ	1			
人体の機能Ⅰ	2			
人体の機能Ⅱ	1			
臨床工学的基礎	生化学			2
	病理学			2
	免疫学			2
	薬理学			2
	看護学概論			1
	基礎医学実習			1
臨床工学に必要な理工学的基礎	医用工学		2	
	数学演習		1	
	応用数学		2	
	応用物理学		1	
	応用化学		1	
	電気工学Ⅰ		2	
	電気工学Ⅱ		2	
	電気工学実習		1	
	電子工学Ⅰ		2	
	電子工学Ⅱ		2	
	電子工学実習		1	
	放射線工学概論		1	
臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	情報処理工学		2	
	医療統計学		2	
	システム制御工学		2	
	情報処理・システム制御工学実習		1	

区分	授業科目	単位数		
学科専門科目群	医用生体工学	生体物性工学	2	
		生体材料工学	2	
		バイオメカニクス	2	
		バイオレオロジー	1	
		計測工学	1	
		生体情報処理工学	2	
		医用機器学	医用機器学概論	2
	生体計測装置学		2	
	生体計測装置学実習		1	
	医用治療機器学		2	
	医用治療機器学実習		1	
	画像診断装置学		2	
	医用監視システム装置学		2	
	生体機能代行装置学	体外循環装置学	1	
		体外循環療法学	2	
		体外循環実習	1	
		血液浄化装置学	1	
		血液浄化療法学	2	
		血液浄化実習	1	
		人工呼吸装置学	1	
		人工呼吸療法学	2	
		人工呼吸実習	1	
		人体機能補助装置学	1	
		人体機能補助療法学	2	
		人体機能補助実習	1	
	医用安全管理学	医用機器安全管理学	2	
		医用機器安全管理学実習	1	
		関係法規	2	
	関連臨床医学	臨床医学総論（内科学・外科学）	2	
		内科学各論（循環器・呼吸器・腎・感染症）	2	
		外科学各論（循環器・呼吸器・泌尿器・麻酔・集中治療学）	2	
		臨床医学演習	1	
	実習床	臨床実習	4	
	専門特講	医用生体工学特講	1	
		医用機器学特講	1	
		生体機能代行技術特講	1	
		関連臨床医学特講	1	
	研究分野	先進科学技術	基礎工学特講	1
			先進科学技術論	1
			先進計測技術学	1
			先進治療技術学	1
			機能評価分析学	1
機能評価学演習			1	
医療情報システム学			1	
医療情報システム学演習		1		
医用ロボット工学		1		
遺伝子検査学		1		
先進科学技術演習		1		
研卒業	卒業研究Ⅰ	2		
	卒業研究Ⅱ	2		
卒業要件（最低必要単位数）		124		

別表第8

診療放射線学科 教育課程

区分		授業科目	単位数	区分	授業科目	単位数	
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	学科専門科目群	診療画像技術学	放射線医学概論	1
		物理学	2			X線撮影技術学Ⅰ	2
		生物学	2			X線撮影技術学Ⅱ	2
		化学	2			X線機器工学	2
		情報処理	2			放射線撮影技術学	2
		統計学	2			CT・MRI撮影技術学	2
	人間理解と社会	心理学	2			CT・MRI機器工学	2
		生命倫理学	2			撮影技術学・機器工学実験Ⅰ	1
		哲学	2			撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	1
		社会福祉学	2			画像解剖学	1
		日本国憲法	2			画像解剖学演習	1
		東洋史概説	2			機器工学演習	1
	語学	西洋史概説	2		核医学検査	核医学検査技術学Ⅰ	2
		英語Ⅰ(初級)	2			核医学検査技術学Ⅱ	2
		英語Ⅱ(中級)	2			核医学検査技術学実験	1
		英会話	2		放射線治療	放射性薬品学	1
		医学英語	2			放射線治療技術学Ⅰ	2
		基礎英語演習	2			放射線治療技術学Ⅱ	2
	学部共通科目群	保健医療	応用英語演習		2	放射線治療技術学実験	1
			MBS(Morinomiya Basic Seminar)		1	放射線治療学	1
			チーム医療見学実習		1	医用画像情報学	画像工学
医療コミュニケーション			1	医療情報学	1		
チーム医療論			1	医用画像情報学	2		
IPW論			1	放射線安全管理学	医用画像情報学実験	1	
基礎体育			1		放射線安全管理学	2	
健康科学(スポーツ社会学を含む)			2		放射線関係法規	1	
健康管理学Ⅰ			2	医療安全管理学	安全管理学実験	1	
健康管理学Ⅱ			2		医療安全管理学	2	
栄養学			2	断・画像診断・技術	臨床画像解剖学	2	
身体運動科学			2		臨床画像解析学	2	
東洋医療概論		2	臨床実習	臨床実習Ⅰ	6		
統合医療概論		2		臨床実習Ⅱ	2		
数学		2		臨床実習Ⅲ	2		
学科専門科目群		基礎科目演習	数学演習	1	臨床実習ゼミナール	2	
			物理学演習	1	診療放射線技術特講	診療画像技術学特講	1
			生物学演習	1		核医学・放射線治療学特講	1
			化学演習	1		放射線技術学特講	1
			医学概論	1	基礎医学特講	1	
			公衆衛生学	1	研究分野	先進核医学	1
	人体の構造Ⅰ	1	先進放射線治療学	1			
	人体の構造Ⅱ	1	先進画像解析学	1			
	人体の機能Ⅰ	1	研究分野	先進医学	1		
	人体の機能Ⅱ	1		卒業研究Ⅰ	2		
	生化学	1		卒業研究Ⅱ	2		
	病理学	1	卒業要件(最低必要単位数)		126		
	内科学Ⅰ	1					
	内科学Ⅱ	1					
	薬理学	1					
	看護学概論	1					
	基礎医学演習	1					
	外科学	1					
	救急災害医学	1					
	専門基礎科目	基礎科目演習	電気・電子工学	2			
			医用工学	2			
工学演習			1				
情報処理工学			2				
医療統計学			1				
保健医療福祉における放射線の科学及び技術		放射線化学	2				
		放射線生物学	2				
		放射線化学・生物学演習	1				
		放射線物理学	2				
		放射線計測学	2				
放射線物理学・計測学演習	1						
放射線科学	1						
専門基礎科目実験	2						

別表第9

教職に関する科目 教育課程

区分	授業科目	単位数
教職に関する科目	保健体育科教育法Ⅰ	2
	保健体育科教育法Ⅱ	2
	保健体育科教育法Ⅲ	2
	保健体育科教育法Ⅳ	2
	教職論	2
	教育原理	2
	教育行政学	2
	教育心理学	2
	特別支援教育概論	1
	教育課程論	2
	道徳教育論	2
	総合的な学習の時間の指導法	2
	特別活動論	2
	教育方法論	2
	生徒指導・進路指導論	2
	生徒指導論	2
	教育相談の基礎と方法	2
	教育実習事前事後指導	1
	教育実習Ⅰ	2
	教育実習Ⅱ	2
	養護実習(事前事後指導を含む)	5
	教職実践演習(中・高)	2
	教職実践演習(養護教諭)	2

別表第10

(単位：円)

学部名	学 年	入学料	授業料	教育充実費	合計	入学検定料
学科名						
保健医療学部 鍼灸学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
	3年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
	4年次		1,000,000	650,000	1,650,000	
保健医療学部 理学療法学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	3年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	4年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
保健医療学部 看護学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
	3年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
	4年次		1,000,000	720,000	1,720,000	
保健医療学部 臨床検査学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
保健医療学部 作業療法学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	3年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
	4年次		1,000,000	710,000	1,710,000	
保健医療学部 臨床工学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
保健医療学部 診療放射線学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	

変更事項を記載した書類

○変更時期

平成32年4月1日

○変更事由

- ・平成32年度から診療放射線学科を新設することに伴い、学則の条文と別表を修正しました。
- ・平成32年度から学費を変更することに伴い、学則の別表を修正しました。
- ・授業料の納付等についての条文を、現行の運用に合わせて修正しました。

○変更点

- ・第4条第1項に定める保健医療学部の学科に、診療放射線学科を追加、第2項の入学定員及び収容定員に診療放射線学科の記述を追加
- ・第4条の2に定める学部及び学科の目的に、診療放射線学科の目的を追加
- ・第20条、第35条に診療放射線学科に関する記述を追加
- ・第28条の2、第45条、別表第8、別表第9、の別表番号のずれを修正
- ・第46条に第4項として、授業料等の返還に係る条文を追加
- ・附則を追加
- ・別表第7の後に別表第8として、診療放射線学科の教育課程を追加
- ・別表第10の学費を変更し、診療放射線学科の記述を追加

森ノ宮医療大学学則 改定 新旧対照表

(下線が変更箇所)

旧	新																																																									
<p>(学部、学科、入学定員及び収容定員)</p> <p>第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、臨床検査学科、作業療法学科及び臨床工学科を置く。</p> <p>2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">保健医療 学部</td> <td>鍼灸学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">280</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">360</td> </tr> <tr> <td>臨床検査学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>作業療法学科</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">160</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">380</td> <td style="text-align: center;">1520</td> </tr> </tbody> </table> <p>(学部及び学科の目的)</p> <p>第4条の2 保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。</p> <p>2 鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>3 鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性や知識、技術を身につけることに加え、保健体育に関する専門知識を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。</p> <p>4 理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>5 看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術ならびに医療人としての態度を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>6 臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理観と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することがで</p>	学部	学科	入学定員	収容定員	保健医療 学部	鍼灸学科	60	240	理学療法学科	70	280	看護学科	90	360	臨床検査学科	60	240	作業療法学科	40	160	臨床工学科	60	240	合計		380	1520	<p>(学部、学科、入学定員及び収容定員)</p> <p>第4条 本学に保健医療学部鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、臨床検査学科、作業療法学科、臨床工学科及び<u>診療放射線学科</u>を置く。</p> <p>2 前項の学科の学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">保健医療 学部</td> <td>鍼灸学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">280</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">360</td> </tr> <tr> <td>臨床検査学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td>作業療法学科</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">160</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> <tr> <td><u>診療放射線学科</u></td> <td style="text-align: center;"><u>80</u></td> <td style="text-align: center;"><u>320</u></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;"><u>460</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1840</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(学部及び学科の目的)</p> <p>第4条の2 保健医療学部は、大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的とする。</p> <p>2 鍼灸学科鍼灸コースは、専門職医療人として、豊かな人間性、専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>3 鍼灸学科スポーツ特修コースは、鍼灸コースと同様の人間性や知識、技術を身につけることに加え、保健体育に関する専門知識を修得し、実践的指導力を持つ人材の育成を目的とする。</p> <p>4 理学療法学科は、科学性を持ちつつ人に優しい理学療法と、チーム医療を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>5 看護学科は、チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術ならびに医療人としての態度を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>6 臨床検査学科は、生命の尊さを深く認識し、医療人として高い倫理観と強い責任感を有し、誠実に臨床検査を実践することがで</p>	学部	学科	入学定員	収容定員	保健医療 学部	鍼灸学科	60	240	理学療法学科	70	280	看護学科	90	360	臨床検査学科	60	240	作業療法学科	40	160	臨床工学科	60	240	<u>診療放射線学科</u>	<u>80</u>	<u>320</u>	合計		<u>460</u>	<u>1840</u>
学部	学科	入学定員	収容定員																																																							
保健医療 学部	鍼灸学科	60	240																																																							
	理学療法学科	70	280																																																							
	看護学科	90	360																																																							
	臨床検査学科	60	240																																																							
	作業療法学科	40	160																																																							
	臨床工学科	60	240																																																							
合計		380	1520																																																							
学部	学科	入学定員	収容定員																																																							
保健医療 学部	鍼灸学科	60	240																																																							
	理学療法学科	70	280																																																							
	看護学科	90	360																																																							
	臨床検査学科	60	240																																																							
	作業療法学科	40	160																																																							
	臨床工学科	60	240																																																							
	<u>診療放射線学科</u>	<u>80</u>	<u>320</u>																																																							
合計		<u>460</u>	<u>1840</u>																																																							

旧	新
<p>きる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>7 作業療法学科は、チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>8 臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>(教育課程)</p> <p>第20条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。</p> <p>2 鍼灸学科鍼灸コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第1のとおりとする。</p> <p>3 鍼灸学科スポーツ特修コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第2のとおりとする。</p> <p>4 理学療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第3のとおりとする。</p> <p>5 看護学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第4のとおりとする。</p> <p>6 臨床検査学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第5のとおりとする。</p> <p>7 作業療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第6のとおりとする。</p> <p>8 臨床工学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第7のとおりとする。</p>	<p>きる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>7 作業療法学科は、チーム医療とクライアント中心の作業療法を創造的に実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p>8 臨床工学科は、チーム医療における使命を理解し、臨床工学技士としての職責を自覚し、実践できる確かな専門知識と専門技術を身につけた人材の育成を目的とする。</p> <p><u>9 診療放射線学科は、人間性豊かで高いモラルを有する医療人として、チーム医療における役割と職責を自覚し、放射線診療を実践できる確かな専門知識と技術を身につけた人材の育成を目的とする。</u></p> <p>(教育課程)</p> <p>第20条 本学の教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。</p> <p>2 鍼灸学科鍼灸コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第1のとおりとする。</p> <p>3 鍼灸学科スポーツ特修コースの授業科目の種類及び単位数等は別表第2のとおりとする。</p> <p>4 理学療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第3のとおりとする。</p> <p>5 看護学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第4のとおりとする。</p> <p>6 臨床検査学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第5のとおりとする。</p> <p>7 作業療法学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第6のとおりとする。</p> <p>8 臨床工学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第7のとおりとする。</p> <p><u>9 診療放射線学科の授業科目の種類及び単位数等は別表第8のとおりとする。</u></p>

旧	新																																		
<p>(教職に関する免許)</p> <p>第28条の2</p> <p>2 前項の免許の資格を得たい者は、第25条に基づく単位修得のほか、別表第2の鍼灸学科スポーツ特修コースの教育課程及び別表第4の看護学科の教育課程及び別表第8の教職に関する科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。</p> <p>(学位の授与)</p> <p>第35条 学長は、第34条1項により卒業を認定した者に次の学位を授与する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学部</th> <th style="text-align: center;">学科</th> <th style="text-align: center;">学位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">保健医療 学部</td> <td>鍼灸学科</td> <td>学士（鍼灸学）</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td>学士（理学療法学）</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td>学士（看護学）</td> </tr> <tr> <td>臨床検査学科</td> <td>学士（臨床検査学）</td> </tr> <tr> <td>作業療法学科</td> <td>学士（作業療法学）</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td>学士（臨床工学）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(授業料等の金額)</p> <p>第45条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費の納入額は別表第9のとおりとする。</p> <p>(授業料等の納付)</p> <p>第46条 本学の学生の授業料等は4月1日から9月30日までを前期、10月1日から翌年3月31日までを後期とし、その年額の2分の1に相当する額を、学長が指定した日までに納付しなければならない。</p> <p>2 経済的事由により授業料等の納付が困難であって、学業優秀と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者については、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその徴収を猶予することができる。</p> <p>3 第29条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の</p>	学部	学科	学位	保健医療 学部	鍼灸学科	学士（鍼灸学）	理学療法学科	学士（理学療法学）	看護学科	学士（看護学）	臨床検査学科	学士（臨床検査学）	作業療法学科	学士（作業療法学）	臨床工学科	学士（臨床工学）	<p>(教職に関する免許)</p> <p>第28条の2</p> <p>2 前項の免許の資格を得たい者は、第25条に基づく単位修得のほか、別表第2の鍼灸学科スポーツ特修コースの教育課程及び別表第4の看護学科の教育課程及び別表第9の教職に関する科目のうちから、所定の単位を修得しなければならない。</p> <p>(学位の授与)</p> <p>第35条 学長は、第34条1項により卒業を認定した者に次の学位を授与する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学部</th> <th style="text-align: center;">学科</th> <th style="text-align: center;">学位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center; vertical-align: middle;">保健医療 学部</td> <td>鍼灸学科</td> <td>学士（鍼灸学）</td> </tr> <tr> <td>理学療法学科</td> <td>学士（理学療法学）</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td>学士（看護学）</td> </tr> <tr> <td>臨床検査学科</td> <td>学士（臨床検査学）</td> </tr> <tr> <td>作業療法学科</td> <td>学士（作業療法学）</td> </tr> <tr> <td>臨床工学科</td> <td>学士（臨床工学）</td> </tr> <tr> <td>診療放射線学科</td> <td>学士（診療放射線学）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(授業料等の金額)</p> <p>第45条 本学の入学検定料、入学料、授業料、教育充実費の納入額は別表第10のとおりとする。</p> <p>(授業料等の納付)</p> <p>第46条 本学の学生の授業料等は4月1日から9月30日までを前期、10月1日から翌年3月31日までを後期とし、その年額の2分の1に相当する額を、学長が指定した日までに納付しなければならない。</p> <p>2 経済的事由により授業料等の納付が困難であって、学業優秀と認められた者その他やむを得ない事情があると認められた者については、授業料等の全部若しくは一部の納付を免除し、又はその徴収を猶予することができる。</p> <p>3 第29条により休学を認められた学生の学納金は、各学期の</p>	学部	学科	学位	保健医療 学部	鍼灸学科	学士（鍼灸学）	理学療法学科	学士（理学療法学）	看護学科	学士（看護学）	臨床検査学科	学士（臨床検査学）	作業療法学科	学士（作業療法学）	臨床工学科	学士（臨床工学）	診療放射線学科	学士（診療放射線学）
学部	学科	学位																																	
保健医療 学部	鍼灸学科	学士（鍼灸学）																																	
	理学療法学科	学士（理学療法学）																																	
	看護学科	学士（看護学）																																	
	臨床検査学科	学士（臨床検査学）																																	
	作業療法学科	学士（作業療法学）																																	
	臨床工学科	学士（臨床工学）																																	
学部	学科	学位																																	
保健医療 学部	鍼灸学科	学士（鍼灸学）																																	
	理学療法学科	学士（理学療法学）																																	
	看護学科	学士（看護学）																																	
	臨床検査学科	学士（臨床検査学）																																	
	作業療法学科	学士（作業療法学）																																	
	臨床工学科	学士（臨床工学）																																	
	診療放射線学科	学士（診療放射線学）																																	

旧	新																														
<p>授業料の5分の1とする。</p> <p>附 則 追加</p>	<p>授業料の5分の1とする。</p> <p><u>4 既に納付した入学検定料、授業料等は、返還しない。</u></p> <p>附 則</p> <p><u>15 この学則は平成32年4月1日から施行する。</u></p> <p><u>16 第4条第2項適用にあたって、同条中の収容定員については、次表に掲げる年度の人数に読み替えるものとする。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>3年次</th> <th>4年次</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成32年度</td> <td>460人</td> <td>380人</td> <td>380人</td> <td>300人</td> <td>1520人</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>460人</td> <td>460人</td> <td>380人</td> <td>380人</td> <td>1680人</td> </tr> <tr> <td>平成34年度</td> <td>460人</td> <td>460人</td> <td>460人</td> <td>380人</td> <td>1760人</td> </tr> <tr> <td>平成35年度</td> <td>460人</td> <td>460人</td> <td>460人</td> <td>460人</td> <td>1840人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員	平成32年度	460人	380人	380人	300人	1520人	平成33年度	460人	460人	380人	380人	1680人	平成34年度	460人	460人	460人	380人	1760人	平成35年度	460人	460人	460人	460人	1840人
年度	1年次	2年次	3年次	4年次	収容定員																										
平成32年度	460人	380人	380人	300人	1520人																										
平成33年度	460人	460人	380人	380人	1680人																										
平成34年度	460人	460人	460人	380人	1760人																										
平成35年度	460人	460人	460人	460人	1840人																										

旧	新																																																																									
別表第8 診療放射線学科を追加	別表第8 診療放射線学科 教育課程 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%; text-align: center;">区分</th> <th style="width: 70%; text-align: center;">授業科目</th> <th style="width: 20%; text-align: center;">単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教養科目群</td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">科学的思考</td> <td>基礎ゼミナール</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>物理学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>生物学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>化学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>情報処理</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>統計学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">人間理解と社会</td> <td>心理学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>生命倫理学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>哲学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>日本国憲法</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>東洋史概説</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">語学</td> <td>西洋史概説</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>英語Ⅰ(初級)</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>英語Ⅱ(中級)</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>英会話</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>医学英語</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>基礎英語演習</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">学部共通科目群</td> <td rowspan="13" style="text-align: center; vertical-align: middle;">保健医療</td> <td>応用英語演習</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>MBS(Morinomiya Basic Seminar)</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>チーム医療見学実習</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>医療コミュニケーション</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>チーム医療論</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>IPW論</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>基礎体育</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>健康科学(スポーツ社会学を含む)</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>健康管理学Ⅰ</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>健康管理学Ⅱ</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>栄養学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>身体運動科学</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>東洋医療概論</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>統合医療概論</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	授業科目	単位数	教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2	物理学	2	生物学	2	化学	2	情報処理	2	統計学	2	人間理解と社会	心理学	2	生命倫理学	2	哲学	2	社会福祉学	2	日本国憲法	2	東洋史概説	2	語学	西洋史概説	2	英語Ⅰ(初級)	2	英語Ⅱ(中級)	2	英会話	2	医学英語	2	基礎英語演習	2	学部共通科目群	保健医療	応用英語演習	2	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1	チーム医療見学実習	1	医療コミュニケーション	1	チーム医療論	1	IPW論	1	基礎体育	1	健康科学(スポーツ社会学を含む)	2	健康管理学Ⅰ	2	健康管理学Ⅱ	2	栄養学	2	身体運動科学	2	東洋医療概論	2	統合医療概論	2
区分	授業科目	単位数																																																																								
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	2																																																																							
		物理学	2																																																																							
		生物学	2																																																																							
		化学	2																																																																							
		情報処理	2																																																																							
		統計学	2																																																																							
	人間理解と社会	心理学	2																																																																							
		生命倫理学	2																																																																							
		哲学	2																																																																							
		社会福祉学	2																																																																							
		日本国憲法	2																																																																							
		東洋史概説	2																																																																							
	語学	西洋史概説	2																																																																							
		英語Ⅰ(初級)	2																																																																							
		英語Ⅱ(中級)	2																																																																							
		英会話	2																																																																							
		医学英語	2																																																																							
		基礎英語演習	2																																																																							
学部共通科目群	保健医療	応用英語演習	2																																																																							
		MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1																																																																							
		チーム医療見学実習	1																																																																							
		医療コミュニケーション	1																																																																							
		チーム医療論	1																																																																							
		IPW論	1																																																																							
		基礎体育	1																																																																							
		健康科学(スポーツ社会学を含む)	2																																																																							
		健康管理学Ⅰ	2																																																																							
		健康管理学Ⅱ	2																																																																							
		栄養学	2																																																																							
		身体運動科学	2																																																																							
		東洋医療概論	2																																																																							
統合医療概論	2																																																																									

旧	新		
	学科専門科目群 専門基礎科目	基礎科目演習 人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち 並びに放射線の科学及び技術 保健医療福祉における理工学的基礎	数学 2
数学演習 1			
物理学演習 1			
生物学演習 1			
化学演習 1			
医学概論 1			
公衆衛生学 1			
人体の構造Ⅰ 1			
人体の構造Ⅱ 1			
人体の機能Ⅰ 1			
人体の機能Ⅱ 1			
生化学 1			
病理学 1			
内科学Ⅰ 1			
内科学Ⅱ 1			
薬理学 1			
看護学概論 1			
基礎医学演習 1			
外科学 1			
救急災害医学 1			
電気・電子工学 2			
医用工学 2			
工学演習 1			
情報処理工学 2			
医療統計学 1			
放射化学 2			
放射線生物学 2			
放射線化学・生物学演習 1			
放射線物理学 2			
放射線計測学 2			
放射線物理学・計測学演習 1			
放射線科学 1			
専門基礎科目実験 2			

旧		新			
		区分	授業科目	単位数	
		診療画像技術学	放射線医学概論	1	
			X線撮影技術学Ⅰ	2	
			X線撮影技術学Ⅱ	2	
			X線機器工学	2	
			放射線撮影技術学	2	
			CT・MRI撮影技術学	2	
			CT・MRI機器工学	2	
			撮影技術学・機器工学実験Ⅰ	1	
			撮影技術学・機器工学実験Ⅱ	1	
			画像解剖学	1	
			画像解剖学演習	1	
			機器工学演習	1	
			核医学検査	核医学検査技術学Ⅰ	2
		核医学検査技術学Ⅱ		2	
		核医学検査技術学実験		1	
		放射性薬品学		1	
		放射線治療	放射線治療技術学Ⅰ	2	
			放射線治療技術学Ⅱ	2	
			放射線治療技術学実験	1	
			放射線治療学	1	
		医用画像情報学	画像工学	2	
			医療情報学	1	
			医用画像情報学	2	
			医用画像情報学実験	1	
		放射線安全管理学	放射線安全管理学	2	
			放射線関係法規	1	
			安全管理学実験	1	
		医療安全管理学	医療安全管理学	2	
		断画像診断・技術	臨床画像解剖学	2	
			臨床画像解析学	2	
		臨床実習	臨床実習Ⅰ	6	
			臨床実習Ⅱ	2	
			臨床実習Ⅲ	2	
			臨床実習ゼミナール	2	
		診療放射線技術特講	診療画像技術学特講	1	
			核医学・放射線治療学特講	1	
			放射線技術学特講	1	
			基礎医学特講	1	
		技術科学	先進核医学	1	
			先進放射線治療学	1	
			先進画像解析学	1	
			先進医学	1	
		卒業研究	卒業研究Ⅰ	2	
			卒業研究Ⅱ	2	
		卒業要件（最低必要単位数）			126

旧							新						
別表第8							別表第9						
別表第9							別表第10						
学費							学費						
(単位：円)							(単位：円)						
学部名	学 年	入学料	授業料	教育充実費	合計	入学検定料	学部名	学 年	入学料	授業料	教育充実費	合計	入学検定料
保健医療学部 鍼灸学科	1年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000	保健医療学部 鍼灸学科	1年次	250,000	<u>1,000,000</u>	<u>550,000</u>	<u>1,800,000</u>	30,000
	2年次		900,000	680,000	1,580,000			2年次		<u>1,000,000</u>	<u>650,000</u>	<u>1,650,000</u>	
	3年次		900,000	680,000	1,580,000			3年次		<u>1,000,000</u>	<u>650,000</u>	<u>1,650,000</u>	
	4年次		900,000	680,000	1,580,000			4年次		<u>1,000,000</u>	<u>650,000</u>	<u>1,650,000</u>	
保健医療学部 理学療法学科	1年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000	保健医療学部 理学療法学科	1年次	250,000	<u>1,000,000</u>	<u>550,000</u>	<u>1,800,000</u>	30,000
	2年次		900,000	680,000	1,580,000			2年次		<u>1,000,000</u>	<u>710,000</u>	<u>1,710,000</u>	
	3年次		900,000	680,000	1,580,000			3年次		<u>1,000,000</u>	<u>710,000</u>	<u>1,710,000</u>	
	4年次		900,000	680,000	1,580,000			4年次		<u>1,000,000</u>	<u>710,000</u>	<u>1,710,000</u>	
保健医療学部 看護学科	1年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000	保健医療学部 看護学科	1年次	250,000	<u>1,000,000</u>	<u>550,000</u>	<u>1,800,000</u>	30,000
	2年次		900,000	680,000	1,580,000			2年次		<u>1,000,000</u>	<u>720,000</u>	<u>1,720,000</u>	
	3年次		900,000	680,000	1,580,000			3年次		<u>1,000,000</u>	<u>720,000</u>	<u>1,720,000</u>	
	4年次		900,000	680,000	1,580,000			4年次		<u>1,000,000</u>	<u>720,000</u>	<u>1,720,000</u>	
保健医療学部 臨床検査学科	1年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000	保健医療学部 臨床検査学科	1年次	250,000	<u>1,000,000</u>	<u>550,000</u>	<u>1,800,000</u>	30,000
	2年次		900,000	680,000	1,580,000			2年次		<u>1,000,000</u>	<u>640,000</u>	<u>1,640,000</u>	
	3年次		900,000	680,000	1,580,000			3年次		<u>1,000,000</u>	<u>640,000</u>	<u>1,640,000</u>	
	4年次		900,000	680,000	1,580,000			4年次		<u>1,000,000</u>	<u>640,000</u>	<u>1,640,000</u>	
保健医療学部 作業療法学科	1年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000	保健医療学部 作業療法学科	1年次	250,000	<u>1,000,000</u>	<u>550,000</u>	<u>1,800,000</u>	30,000
	2年次		900,000	680,000	1,580,000			2年次		<u>1,000,000</u>	<u>710,000</u>	<u>1,710,000</u>	
	3年次		900,000	680,000	1,580,000			3年次		<u>1,000,000</u>	<u>710,000</u>	<u>1,710,000</u>	
	4年次		900,000	680,000	1,580,000			4年次		<u>1,000,000</u>	<u>710,000</u>	<u>1,710,000</u>	
保健医療学部 臨床工学科	1年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000	保健医療学部 臨床工学科	1年次	250,000	<u>1,000,000</u>	<u>550,000</u>	<u>1,800,000</u>	30,000
	2年次		900,000	680,000	1,580,000			2年次		<u>1,000,000</u>	<u>640,000</u>	<u>1,640,000</u>	
	3年次		900,000	680,000	1,580,000			3年次		<u>1,000,000</u>	<u>640,000</u>	<u>1,640,000</u>	
	4年次		900,000	680,000	1,580,000			4年次		<u>1,000,000</u>	<u>640,000</u>	<u>1,640,000</u>	
	1年次	250,000	900,000	680,000	1,830,000	30,000	保健医療学部 診療放射線学科	1年次	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000	30,000
	2年次		900,000	680,000	1,580,000			2年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	3年次		900,000	680,000	1,580,000			3年次		1,000,000	640,000	1,640,000	
	4年次		900,000	680,000	1,580,000			4年次		1,000,000	640,000	1,640,000	

学則変更の趣旨等を記載した書類

目 次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容 … 1
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性 … 1
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 … 4

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

森ノ宮医療大学は、平成 32 年度から保健医療学部¹に診療放射線学科（入学定員 80 名）を開設することに伴い、大学の入学定員及び収容定員を以下の表のとおり変更する。

◆変更前と変更後の入学定員および収容定員（単位：人）

変更前			変更後		
保健医療学部 学科名	入学 定員	収容 定員	保健医療学部 学科名	入学 定員	収容 定員
鍼灸学科	60	240	鍼灸学科	60	240
理学療法学科	70	280	理学療法学科	70	280
看護学科	90	360	看護学科	90	360
臨床検査学科	60	240	臨床検査学科	60	240
作業療法学科	40	160	作業療法学科	40	160
臨床工学科	60	240	臨床工学科	60	240
			診療放射線学科	80	320
合計	380	1520	合計	460	1840

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

（1）収容定員変更の背景

学校法人森ノ宮医療学園は、「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」という建学の精神のもと、昭和 48（1973）年、大阪市東成区に鍼灸師養成のための専門学校「大阪鍼灸専門学校（現：森ノ宮医療学園専門学校）」を開設した。その後は、「生命（いのち）への愛と畏敬」を学園の精神とし、基本理念である「人によりそい幸福（しあわせ）を希う学園」を目指して発展を続けてきた。平成 12 年には同専門学校に柔道整復学科を新設し、これまでに 3000 人以上の鍼灸師、1500 人以上の柔道整復師を輩出している。

平成 19 年 4 月には、大阪市住之江区に保健医療学部鍼灸学科と理学療法学科を備えた森ノ宮医療大学を開設し、以来、本学は保健医療分野における社会貢献を目指し、社

会的ニーズに即した教育と人材養成に努めてきた。大学創立から4年後の平成23年4月には、保健医療学部看護学科と大学院保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）を設置し、大学創立10年目となる平成28年4月には、保健医療学部臨床検査学科と同学部作業療法学科を開設し、同時に、大学の目的としてチーム医療を担う人材の育成に本格的に取り組んでいくことを明示した。これは近年、疾患の治療だけでなくQOL向上も視野に入れた「患者中心の医療」が重視されるようになり、それを実現するためのチーム医療や他職種連携に携わる人材の養成が社会的な課題となりつつあることを踏まえたものである。

さらに平成30年4月には保健医療学部に臨床工学科を、大学院保健医療学研究科に医療科学専攻（博士後期課程）を開設した。そしてこのたび、平成32年4月から診療放射線学科を加えることで、本学が目指すチーム医療の実践を学ぶ場として、多彩な職種の視点を取り入れた環境と教育内容をさらに充実させることができると考えている。

（2）収容定員変更の必要性

日本における診療放射線技師の需要は、少子高齢化とともに増加している。厚生労働省の「医療施設（静態・動態）調査・病院報告」によると、病院で働く診療放射線技師の数はここ11年間右肩上がりが増え続けており、平成19年と平成29年を比較すると約7,870人増加している【資料1】。また、診療放射線技師は、病院のみならず、クリニック、医療機器メーカー等、多岐にわたる施設で必要とされている。

国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」によると、がん患者は平成26（2014）年時点で約87万6千人に達し、直近10年では約23万人増加している【資料2】。診療放射線技師ががん患者の放射線治療に果たす役割は大きく、がん患者の増加とともに、診療放射線技師に対する社会的な必要性は、今後もますます高まっていくと推察される。

一方、近年の法令改正により診療放射線技師の業務内容が拡張され、業務としてさまざまな装置を扱うようになっただけでなく、画像診断における読影の補助や、放射線検査等に際しての説明や、相談が業務の一部として追加されるなど、診療放射線技師の業務は多様化している。それに伴い、診療放射線技師に求められる能力や資質も変化しており、医学・医療を基盤とした高い倫理性と豊かな人間性をもち、人間を統合的に理解する能力、科学的な学問体系から得られた専門的知識・技術に裏付けされた実践力、チ

ームの一員として役割を果たす責任と協働する能力、問題解決に向けた科学的思考能力、主体的学修能力等、さまざまな能力が求められるようになっている。こうしたニーズに対応できる診療放射線技師の育成には、4年制大学における学士課程での教育が望ましいと考えられる。

一方、現在の近畿エリアの大学の診療放射線技師養成施設は、平成30年度末時点で国立大学1校（大阪大学医学部保健学科放射線技術学専攻：入学定員40名）、私立大学3校（京都医療科学大学：同80名、大阪物療大学：同80名、鈴鹿医療科学大学：同100名）であり、専修学校は大阪府に2校、兵庫県に1校の計3校（入学定員は計190名）ある。

私立大学3校は大阪府堺市（大阪物療大学）と京都府南丹市（京都医療科学大学）、三重県鈴鹿市（鈴鹿医療科学大学）に設置されており、国立大学である大阪大学は大阪府吹田市にあるため、本学が位置する大阪市には、専門学校の診療放射線技師養成校が1校あるものの、大学の養成校は1校もない。本学に診療放射線学科が開設されれば、大学の養成校としては大阪府で初めてとなる【資料3】。

また、2017年度および2018年度入試で、近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学3校が、いずれも入学定員の1.8倍～7.3倍の志願者を確保していることから、近畿エリアにおける診療放射線技師養成校に対する学生のニーズは十分高いことがわかる【資料4】。

一方、診療放射線技師に対する求人も堅調で、近畿の養成校の中には診療放射線技師の求人数が入学定員を大きく上回り、12倍近い求人倍率となっているところもある【資料5】。

また、診療放射線技師の業界団体「公益社団法人日本診療放射線技師会」と「公益社団法人大阪府診療放射線技師会」からは、大阪府をはじめとする近畿エリアでは診療放射線技師を養成する大学がまだまだ少ないことや、チーム医療に欠かせない知識や技術、寛容性等を身につけた診療放射線技師が社会的に求められていることなどから、本学の診療放射線技師学科開設を求める要望書が寄せられている【資料6】。

以上のように、近畿および大阪エリアで輩出される診療放射線技師の数は、需要に対してまだ十分とはいえず、本学の診療放射線学科開設は、そうした社会的な必要性を踏まえたものといえる。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（1）教育課程の変更内容

新設する診療放射線学科の教育課程については、基本的に保健医療学部の既設 6 学科の教育課程を基盤として策定する。本学の教育課程は、「教養科目群」、「学部共通科目群」、「学科専門科目群」と順次体系的に構成されている。この構成は、医療に携わる専門職の養成に有効なプログラムを提供するのみならず、中央教育審議会の答申を踏まえ、学士力（知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、統合的な学習経験と創造的思考力¹）を育むように編成されている。新学科も、これに準じて科目編成を行う。

授業運営は、学科専門科目群だけでなく教養科目群、学部共通科目群でも多くの授業は学科ごとに実施しており、新学科の開設によって受講者数が増えたとしても、既設学科の教育の質が低下することはないと考える。ただし、複数学科の学生を共同で学ばせることが他職種連携の観点からむしろ効果的であると判断される場合は、複数学科合同で授業を行うことも検討する。

1) 診療放射線学科の教養科目群

「教養科目群」は、新設する診療放射線学科を含む全 7 学科に共通する科目群である。教養・知識・知性は、問題や課題の性質・構造を見極め、合理的かつ適切な理解方法を考えて実行していくための基盤になるものであると同時に、異なる立場にある者との相互信頼・協力を促進するための基盤にもなるものである。この考え方に基づき、教育科目群は「科学的思考」、「人間理解と社会」、「語学」の 3 つの科目区分によって構成される。この群では、保健・医療・福祉領域に従事する専門職として必要な高い倫理観と豊かな人間性、そして柔軟かつ創造的な知性および実践できる能力の形成を育む。

なお、診療放射線学科の新設により、教養科目群の科目を担当する兼任講師を補充して充実をはかることから、これらの科目を担当する既存の教員の負担が増すわけではない。

2) 診療放射線学科の学部共通科目群

「学部共通科目群」では、専門職種間で相互理解を深めるため、新設する診療放射線学科に既設 6 学科を加えた計 7 学科が、互いに密な連携をとる。密な連携を強固なもの

1 学士課程教育の構築に向けて・中央教育審議会答申

にすると同時に、専門職間連携に関する科目の更なる充実を図ることを目的に、平成 32 年度に既設 6 学科のカリキュラムを改編し、診療放射線学科を含む保健医療学部の全 7 学科で「学部共通科目群」の科目編成を下の表のように統一する。

なお、既設学科 6 学科で平成 32 年度からカリキュラム変更を行うにあたっては、平成 31 年度中に学則変更の手続きをする予定である。

◆保健医療学部の「学部共通科目」の新旧対照表 (※印は必修科目を表す)

学部 共通 科目 群	既設6学科の現行カリキュラム<旧>			2020 年度カリキュラム(全7学科共通)<新>		
	科目名	講義 形態	配当 年次	科目名	講義 形態	配当 年次
	—	—	—	MBS(Morinomiya Basic Seminar)※	講義	1 前
	—	—	—	チーム医療見学実習※	演習	1 前
	チーム医療とコミュニケーション※	演習	2 後	医療コミュニケーション※	講義	2 前
	—	—	—	チーム医療論※	演習	2 後
	IPW 論※	演習	3 前	IPW 論※	演習	3 前
	スポーツ健康科学演習	演習	1 前	基礎体育	演習	1 後
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	講義	1 前	健康科学(スポーツ社会学を含む)	講義	1 前
	健康管理学 I	講義	1 後	健康管理学 I	講義	2 前
	健康管理学 II	講義	2 後	健康管理学 II	講義	2 後
	栄養学	講義	2 後	栄養学	講義	2 後
	身体運動科学	演習	2 前	身体運動科学	講義	2 前
	東洋医療概論	講義	3 前	東洋医療概論	講義	3 前
	統合医療概論	講義	3 前	統合医療概論	講義	3 前

これにより、「学部共通科目群」では、診療放射線学科と既設 6 学科が密に連携をもち、専門職種間での相互の理解を深めた教育を目指す。学科を越えて同じ目標に向かい、ともに学ぶ機会を設けることで異なる医療職種の理解につなげる。

特に「MBS (Morinomiya Basic Seminar)」、「チーム医療見学実習」は入学当初から座学と見学実習を通して医療への興味と理解と深め、専門職医療人の基礎を確立する。また、「医療コミュニケーション」と「チーム医療論」は、医療の現場でチームとして協働するために必要とされる資質や素養を身につけるために必修とした。ここでは医療者と患者間、および医療者同士のコミュニケーションを学ぶとともに、医療におけるコミュニケーションの重要性とチーム医療の意義を学び、多様な環境に対応できる能力を育む。また、同じく必修とした「IPW 論」では、異なる医療職を目指す他学科の学生との症例検討等を通し、専門職間連携の方法について学びを深める。

なお、診療放射線学科の新設により、学部共通科目群の科目を担当する兼任講師を補充して充実をはかることから、これらの科目を担当する既存の教員の負担が増すわけではない。

3) 診療放射線学科の学科専門科目群

診療放射線学科の「学科専門科目群」は、「専門基礎科目」、「専門科目」、「専門特講」「研究分野」に区分される。

「専門基礎科目」では、診療放射線学の理論と実践の基盤となる医学・理工学・放射線の科学の専門分野として人体・理工学・放射線の科学を焦点に、「生命現象や各種疾患の病態の理解、チーム医療における医療内容の把握、理工学的技術の放射線診療への応用」を習得するために、専門基礎科目群として「基礎科目演習」、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術」の3領域から構成されている。

「専門科目」では、診療放射線技師として必要な知識と技術を学び、問題解決のための基本的な能力、臨床現場で必要とされる基礎的な業務実践能力、チーム医療の一員として医療に携わることの重要性を理解できる能力を育み、社会人としての基本的な遵守事項を理解させる。科目区分は「診療画像技術学」、「核医学検査技術学」、「放射線治療技術学」、「医用画像情報学」、「放射線安全管理学」、「医療安全管理学」、「画像診断・技術」、「臨床実習」の8領域から構成する。

「専門特講」では、4年間積み上げた知識と技術を臨床現場で実践できるよう、診療放射線技師としての専門的知識と実践的能力を最終確認するための科目群「診療放射線技術特講」として、「診療画像技術学特講」、「核医学・放射線治療学特講」、「放射線技術学特講」、「基礎医学特講」の4科目を配置している。授業においては、チュートリアル、ブレインストーミングなどによりコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高めるとともに、講義内容の事前事後学習のために e-learning システムを構築し、学生の習熟度に合わせて、いつでもどこでも自己学習ができるような携帯型端末を活用した ICT 活用教育を推進し、多様な情報を分析・統合し、理解を深めることで問題解決能力を養成する。

「研究分野」では、医療現場においてチーム医療での役割に寄与すると共に、高度化・複雑化した医用機器のニーズに対応し、これに伴う治療技術の促進と医療イノベーション

ンに資する診療放射線技師を輩出するための科目群として「先進科学技術」と「卒業研究」を配置する。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

既設 6 学科の教育方法及び履修指導方法については、従来の方法で行う。新設する診療放射線学科についても、既設学科で採用している教育方法、履修指導方法を基本とするため、学部全体の教育方法及び履修指導方法の質は今回の収容定員変更前と比較して、同等以上に担保され则认为。

本学では以下に示す教育方法及び履修指導方法を行う。

1) 教育方法

① 他学科との連携教育

チーム医療の実践に求められる豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人を育成するためには他学科（他職種）との連携教育が必要不可欠となる。学部共通科目においてチーム医療や IPW (Interprofessional Work) (専門職連携) を他学科の学生と共に学び、自分の専門領域のみならず他領域の広範な視点を加えてチームで目標を共有し実践できる能力を育成する。

② 少人数教育

実習・演習は少人数のグループを編成することで、学生の積極的な参加を促し学修効果を高める。講義に関しても、科目に応じてグループワークや討論の場を積極的に設けて学生の主体的・能動的な学修態度を育成すると共に、個別的な学修支援の徹底を図る。3 年次からは学生を各研究室に振り分け、卒業研究に必要な専門知識を深めるために学生一人ひとりの志向や能力を見極め、きめ細かな指導を行う。

なお、診療放射線学科の臨床実習は 3 年次後期、4 年次前期の必修 3 科目 10 単位で、期間も最長 10 週間であり、教員にかかる負担は限定的である。このため、教育全般においてきめ細かな少人数制の指導を行うことが可能である。

③ 課題探究・問題解決能力を養う教育

将来、臨床で遭遇する可能性のある多種多様な問題を解決するには論理的・総合的な判断能力が必要である。実習・演習では「なぜ」という問いを大切に、教員が安易に

答えを提示するのではなく学生自ら答えを導き出すことを手助けする。たとえその答えが間違っているとしてもそのプロセスを重視し掘り下げて考える力を育む。

また卒業研究では、テーマの設定、文献検索、現状分析などを行い、問題点を抽出し解決するための科学的思考力や、日常検査の中に新しいものを見つけようとする課題探究能力を養う。

④ 担任制・チューター制の導入

本学では学科毎に担任制あるいはチューター制度を導入し、担当教員が定期的に履修方法や学生生活に関して面接指導を行う。診療放射線学科では、1、2年次は担任制をとり、3年次以降は卒業研究担当教員がチューターとなって対応や指導にあたる。

また、学生と教員とのコミュニケーションを充実させるため、専任教員はオフィスアワーを設定し、講義に関する質問だけでなく、学修方法や学生生活に関する相談にも応じる。

⑤ キャップ制の導入

診療放射線学科においてはキャップ制を導入し、履修科目の年間登録上限単位数を44単位に設定している。

年間登録上限単位数を設定することは、単位の実質化を目的に、学生負担の軽減と履修科目の学修時間の確保を行うことで、十分な学修効果を上げることを目指している。特に、病院等医療施設における臨床実習を履修するまでに指定規則に定める単位数をおおよそ修得し、必要な知識を備えたうえで臨床実習に出ることが望ましいことに加え、一般教養科目群等に関する科目の履修に関し十分な学修時間を確保できるような上限とした。

2) 履修方法とその指導

大学における履修は高等学校までの履修と比べて相違点が多いことから、学生が履修方法を理解できるよう定例的に履修指導を行い、最終的には自律できるようにする。

まず、各年次の前期開始日のオリエンテーションで履修指導を実施し、学生自身の興味・関心を尊重し、卒業後の進路も視野に入れた科目履修を促す。さらに、履修に関わる質問への対応や成績不良者の指導などは、随時個別に実施する。担任あるいはチューターが中心となって学生指導に当たり、適切な対応・指導を実施する。

(3) 教員組織の変更内容

この度の収容定員に係る学則変更による、既設学科における教員組織の変更点については、大学院保健医療学研究科の専任教員 1 名（教授）が、平成 32 年度から診療放射線学科の兼務となる。

新たに開設する診療放射線学科の教員の新規採用については、本学の教育理念・教育方針を十分に理解していること、教育者としての資質・熱意を有すること、研究活動に積極的に取り組んでいることなどを条件として進めている。診療放射線学科の専任教員が既設学科の「専門基礎科目群」等の教育課程でも授業科目を担当することで、保健医療学部全体の教育の質を高める体制を構築する。同様に、既設学科の教員も診療放射線学科の教育課程の一部で教鞭を執ることにより、チーム医療の実践に求められる他職種理解を促進させることを目指す。従って、診療放射線学科開設前と比べ、同等以上の教育の質が担保されると考えられる。

診療放射線学科の専任教員は 10 名（教授 6 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 2 名）で、博士（保健学）の学位を取得している者が 2 名、博士（医療技術学）が 1 名、博士（医学）が 4 名で、専任教員 10 名のうち 7 名が博士号保有者である。また、残る 3 名のうち 2 名が修士（保健学）、1 名が学士（保健衛生学）の学位を取得している。この博士号を保有していない 3 名中 1 名は博士後期課程に在籍中、1 名は博士後期課程に進学予定、残る 1 名も博士後期課程への進学を計画している。

医療資格では、専任教員 10 名中 9 名が診療放射線技師、1 名が医師の国家資格を有する。また、10 名中 9 名が 5 年以上の臨床経験を持っている。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

この度の収容定員に係る学則変更は、診療放射線学科の開設によるものであり、収容定員の増加に対して適切な施設・設備を確保するため、平成 28 年に追加購入した校地（大阪市住之江区南港北 1 丁目 40 番 3 号）に S 造 5 階建ての校舎を建築し、診療放射線学科はこの新棟を使用する予定である。なお、着工は平成 31 年 2 月で、翌年 1 月に竣工予定である。

新棟には、診療放射線学科が使用する講義室、実習室、研究室以外にも、全学で共用するカフェテリア等の施設・設備も整備する予定であり、新学科設置前と比較して、教育研究を行う施設・設備として同等以上の内容が担保されると考えている。

新棟を含む大学全体の施設・設備の具体的な概要は、以下の通りである。

まず、校舎の基本的な整備方針として、高度な知識と臨床技術を修得した専門職医療人を育成することから、少人数の教室を備えると共に、特に実習室の充実を図る。校舎整備の具体的な方針として、①少人数指導も可能な講義室群、②基礎的な技術指導が可能な実習室群、③個人指導及び問題解決能力を養う演習室群、④教員の積極的な研究を促す実験・研究室群、⑤地域との交流の場、生涯学習の場となり得る施設群などを目指し、各室を整備する。

1) 講義室

講義室は現有校舎に大小合わせて 40 室ある。これに加えて 10 室の講義室を備えた新校舎を建築し、診療放射線学科はこれらを使用する。このほか、現有校舎に、保健医療学部全体で共有する講義室として少人数用の小講義室や 150 人を収容できる大講義室等を備え、人数規模に合わせて使用できるよう配慮している。

2) 基礎的な技術指導が可能な実習室

実習室は現有校舎に 36 室ある。診療放射線学科は、新校舎に設置予定の 10 室の実習室を使用する。マンモグラフィやMR I 等、それぞれの用途に合わせた設備を有する実習室は、約 15 m²~57 m²の広さを持つ。学生数に対応した機器・備品を配備し、多様な診療放射線学の実習に即して整備する。

3) 専任教員の実験・研究施設

専任教員の研究室は、現有校舎に 63 室ある。診療放射線学科が使用する新校舎には、5 階に個人研究室 18 室と、共同研究室 1 室を整備する。共同研究室（約 50 m²）は 10 人程度を収容可能であり、准教授、講師、助教、助手が共同で使用するのに十分な広さを有する。なお、室内はパーテーション等で仕切りを設けるなどして、教員一人ひとりの研究環境が確保されるよう配慮する。

専任教員の実験室は現有校舎に 10 室あり、各教員の研究分野に応じた実験に対応している。東棟には動物を対象とする実験室、生理学系実験室、病理学系実験室が 1 室ずつ、西棟には多目的実験室 4 室がある。南棟には臨床検査、臨床工学等に関連した実験室を 3 室整

備している。新棟にも実験室を 1 室設ける予定で、診療放射線学科の教員は西棟の多目的実験室に加え、新棟の実験室も使用する予定である。

4) 個別指導及び問題解決能力を養う演習室

語学演習や卒業研究に活用できる小スペースの演習室を、現有校舎に合計 14 室設けており、新棟にも新たに 4 室の演習室を整備する。学生と教員が直接対話できる小空間を用いることにより、問題提起の訓練や解決能力向上の育成に役立たせるほか、卒業研究の指導等にも活用する。

5) 図書館、運動施設

大学共有の図書館は、南棟 2 階に設置されており、図書館の面積は 1027.17 m²、閲覧座席数は 274 席、収容可能冊数は 8 万冊となっており、新学科開設による利用者数の増加に十分対応できるものと考えている。

運動施設としては、平成 28 年度にバスケットボールコート 2 面、バレーボールコート 2 面、バドミントンコート 6 面を取ることができる体育館を整備しているほか、平成 29 年度には、体育系の授業や課外活動に使用できる運動施設「グリーンスクエア」を設けた。これは、フットサルやサッカーに対応した人工芝舗装部（約 1,936 m²）、多目的広場としてクレイ舗装部（約 1,468 m²）、ランニングコースとしてウレタン舗装部（周回 300m）を備えた施設となっており、夜間の使用にも対応するべく人工芝舗装部には LED 照明も設置している。

また、本学から専用バスで 7 分の距離にある、運動場 4 面、球技場 2 面、体育館 2 棟、テニスコート 21 面を有する「舞洲スポーツアイランド」を、従来から体育の授業や部活動等に使用しており、診療放射線学科の開設後の人数増加にも十分対応が可能である。

以上から、運動施設としても収容定員の増加に問題なく対応できると考えている。

6) その他

学生が自習等を行うためのフリースペースは、東棟 1 階と 4 階、西棟 1 階と 2 階、南棟の 1 階、3 階、4 階、5 階、7 階に整備されている。新校舎では、5 階にある専任教員の研究室前に、学生の自習等のスペースを設けることにより、学生と教員が気軽にコミュニケーションをとれる空間をつくる。

既存の食堂に加えて新棟 2 階にカフェテリアを新たに設け、福利厚生施設の充実もはかる。

以上のように、大学全体の施設・設備については必要十分な整備を行っており、今回、診療放射線学科（入学定員 80 名）を開設することで収容定員が増加しても不都合が生じることはないと考えている。

学則変更の趣旨等を記載した書類 資料目次

資料1 病院における診療放射線技師の従事者数の推移（常勤換算）

資料2 がん罹患者数と死亡者数の推移

資料3 近畿の診療放射線技師養成校一覧

資料4 近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学の入試動向

資料5 近畿の診療放射線技師養成校における求人状況（平成29年度）

資料6 業界団体からの要望書（日本診療放射線技師会、大阪府診療放射線技師会）

資料1

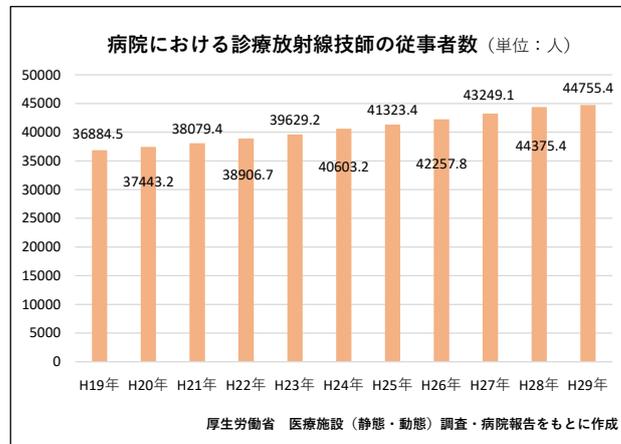
職種別に見た病院の従事者数（常勤換算）

平成31年3月1日現在

（単位：人）

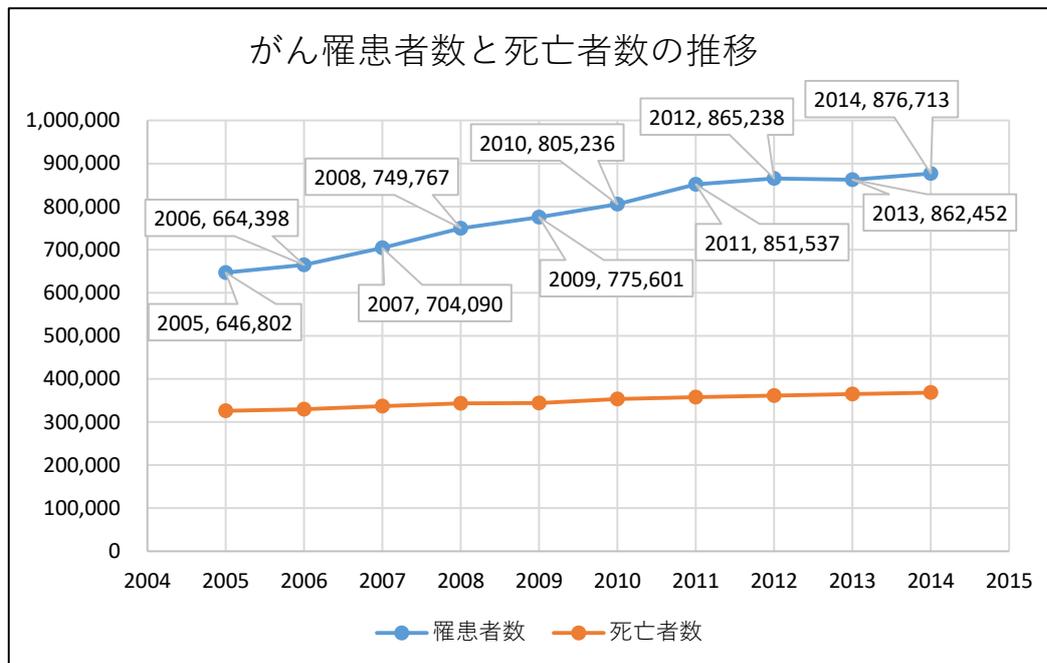
	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
診療放射線技師	36884.5	37443.2	38079.4	38906.7	39629.2	40603.2	41323.4	42257.8	43249.1	44375.4	44755.4

厚生労働省 医療施設（静態・動態）調査・病院報告をもとに作成



がん罹患患者数と死亡者数の推移

	罹患患者数	死亡者数
2005	646,802	325,941
2006	664,398	329,314
2007	704,090	336,468
2008	749,767	342,963
2009	775,601	344,105
2010	805,236	353,499
2011	851,537	357,305
2012	865,238	360,963
2013	862,452	364,872
2014	876,713	368,103



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

近畿の診療放射線技師養成校一覧

(平成30年5月29日現在)

全国診療放射線技師教育施設協議会添付資料を基に作成

番号	都道府県	設置者	種別	名称	郵便番号	住所	定員
1	三重県	私立	大学	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 放射線技術学科	510-0293	三重県鈴鹿市岸岡町1001-1	100名
2	京都府	私立	大学	京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科	622-0041	京都府南丹市園部町小山東町今北1-3	80名
3	大阪府	国立	大学	大阪大学医学部保健学科 診療放射線技術科学専攻	565-0871	大阪府吹田市山田丘1-7	40名
4	大阪府	私立	専門	大阪行岡医療専門学校長柄校 放射線科	531-0061	大阪府大阪市北区長柄西1丁目7番53号	50名
5	大阪府	私立	専門	清恵会第二医療専門学校	590-0026	大阪府堺市堺区向陵西町4丁目5番9号	60名
6	大阪府	私立	大学	大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科	593-8328	大阪府堺市西区鳳北町3-33	80名
7	兵庫県	私立	専門	神戸総合医療専門学校 診療放射線科	654-0142	兵庫県神戸市須磨区友が丘7-1-21	80名

近畿2府4県の養成校 7校 (大学4校、専門学校3校)

うち、大阪府の養成校 4校 (大学2校、専門学校2校)

近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学の入試動向

大学名	学部学科名(入学定員数)	年度	入試方法	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数
大阪物療大学	保健医療学部 診療放射線技術学科 (80名)	2017	推薦入試	35	71	68	36	2.0	36
			一般入試	43	75	72	65	1.7	49
			社会人入試	2	0	0	0	0.0	0
			合計	80	146	140	101	1.8	85
		2018	推薦入試	40	99	93	46	2.5	46
			一般入試	38	68	61	59	1.8	37
			社会人入試	2	2	1	1	1.0	1
			合計	80	169	155	106	2.1	84
京都医療科学大学	医療科学部 放射線技術学科 (80名)	2017	推薦入試	35	97	96	43	2.8	-
			一般入試	42	213	205	70	5.1	-
			社会人入試	3	-	-	-	-	-
			合計	80	310	301	113	3.9	87
		2018	推薦入試	35	94	94	44	2.7	-
			一般入試	42	180	171	81	4.3	-
			社会人入試	3	0	0	0	0.0	0
			合計	80	274	265	125	3.4	96
鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部 放射線技術科学科 (100名)	2017	推薦入試	30	153	150	75	5.1	-
			一般入試	55	370	366	124	6.7	-
			センター利用方式	15	208	208	72	13.9	-
			合計	100	731	724	271	7.3	-
		2018	推薦入試	30	185	185	94	6.2	-
			一般入試	55	318	313	106	5.8	-
			センター利用方式	15	158	158	68	10.5	-
			合計	100	661	656	268	6.6	-

※大学情報は、各大学公式ウェブサイトより抜粋(「-」はデータなし)。志願倍率は募集人数に対する志願者数の割合です。

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科
学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
	(1) 学生の確保の見通し	1
	① 定員充足の見込み	1
	② 定員充足の根拠となる調査結果の概要	2
	(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	4
	① オープンキャンパス	4
	② 受験情報雑誌／進学情報サイト	4
	③ 進学相談会／高校ガイダンス	5
	④ 高校訪問	5
	⑤ 教員対象説明会	5
	⑥ 本学公式 WEB サイト	5
2	人材需要の動向等社会の要請	6
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	6
	① 精度の高い専門的知識と専門技術	6
	② チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力	6
	③ 豊かな人間力	6
	④ 主体的問題解決能力	6
	(2) 上記(1)が社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえていることの根拠	6
	① 社会的な需要	6
	② 業界団体からの要請	6
	③ 近畿および大阪エリアにおける診療放射線技師の需要状況	7
	④ 既設学科の求人状況	7
	⑤ 第三者機関による採用意向調査結果	7
	⑥ 結論	8

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科 学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

① 定員充足の見込み

ア 入学定員設定の考え方

本学は開学以来安定して志願者数を確保しており、医療系大学として周辺地域の方々に支持されてきた。この度、保健医療学部診療放射線学科を開設するに当たり、次の観点を考慮した。

- 1) 教員組織、実習指導体制、学生支援体制、教育施設・設備等の面において現行の水準が確保できること
- 2) 「学則の変更の趣旨等を記載した書類」に記載されている診療放射線技師への社会的ニーズに応えること
- 3) 長期的な学生確保が可能であること

また、上記の要件に加え、「診療放射線技師学校養成所指定規則」にある定員等を考慮し、教育効果や学習効率を十分に達成できる環境を構築する上で支障のない人数として総合的に判断した結果、診療放射線学科の入学定員を 80 名（収容定員 320 名）に設定することとした。

イ 定員を充足する見込み

診療放射線学科を開設するにあたり、全国の志願者動向、近畿エリアにおける志願者動向、大学を取り巻く環境・競合大学の動向、本学保健医療学部診療放射線学科への進路希望状況等の調査や分析を行った。その結果、下記に記す内容により、進学ニーズが拡大していること、拡大傾向が継続的であること、直接具体的な志願者数が示されたことから、継続的に学生を確保し定員を充足する見通しであると判断した。

- 1) 全国的に診療放射線学を含む「保健系分野」への進学ニーズが高いこと
- 2) 近畿エリアにおいて診療放射線技師養成校への進学ニーズが見込めること
- 3) 近畿エリアにおいて診療放射線技師養成校である私立大学は 3 校のみであり、特に 18 歳人口の多い大阪市内には 1 校も開設されていないこと
- 4) 本学は開学以来順調に志願者を確保していること
- 5) 第三者機関による「診療放射線学科（仮称）への高校生の入学意向に関するアンケート」の調査結果より、診療放射線学科への十分な志願者を確保できると見込めること

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

ア 理学療法、看護、診療放射線学を含む「保健系分野」への全国的な進学ニーズ

文部科学省発表の学校基本調査（大学の関係学科別入学者数）より、保健系分野への進学者数は年々増加していることがわかる。過去5年間の増加率を平均すると、大学全体では毎年3.0%、私立大学では毎年3.6%ずつ進学者数が増加している。【資料1】

また、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター集計の「私立大学・短期大学等入学志願動向」より、理学療法、看護、診療放射線学を含む保健系学部に対する「志願者数」「受験者数」「入学者数」はいずれも過去5年にわたり増加している。また同様に、志願倍率は5.5～6倍程度、入学定員充足率は100%を割ることなく安定的に推移していることからニーズの高さがわかる。【資料2】

イ 本学の医療系大学としての実績（入試状況）

本学は過去5年にわたり安定して志願者を確保しており、十分な学生数を継続して確保し続けている。そうした本学の医療系大学としての実績は、診療放射線学科の定員充足の見込みを裏付ける一つの根拠といえる。

平成28年4月に本学が開設した作業療法学科・臨床検査学科、および平成30年4月に本学が開設した臨床工学科では定員を満たすに十分な志願者数を確保し、新設学科でも確実に志願者を集めることができた。これは、本学が医療者を育成する大学として社会的に認められていることを示しているといえる。

保健医療学部全体でみると、平成25年度に実施した入試の志願者数が1,808名（競争率6.11倍）、平成26年度実施入試の志願者数が1,529名（競争率4.72倍）、平成27年度実施入試の志願者数が2,978名（競争率4.88倍）、平成28年度実施入試の志願者数が3,298名（競争率5.67倍）、平成29年度実施入試の志願者数が3,304名（競争率4.84倍）となっており、競争率は常に高い水準を維持している。【資料3】

この度の診療放射線学科の開設により、本学は医療分野7学科を有する医療の総合的な大学としてさらに認知されることが期待できる。よって、診療放射線学科の定員充足だけでなく保健医療学部全体の更なる学生獲得についても、十分に期待できると考えている。

ウ 近畿の診療放射線技師養成校（私立大）の入試動向および本学との競合関係

本学診療放射線学科と同分野の学科を有する近隣大学が志願者を十分に確保できていることも、本学が診療放射線学科の定員を充足できると考える一つの根拠となっている。

近畿エリアには診療放射線技師養成校である私立大学が3校あり、いずれの大学も平成29年度および平成30年度入試において入学定員の1.8倍から7.3倍の志願者数を確保している。【資料4】

なお、近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学 3 校の設置場所をみると、大阪府堺市（1 校：大阪物療大学）、京都府南丹市（1 校：京都医療科学大学）、三重県鈴鹿市（1 校：鈴鹿医療科学大学）となっており、本学の位置する大阪府大阪市には診療放射線技師養成校である私立大学が 1 校も設置されておらず、設置されれば私立大学では本学が大阪市で初めてとなる。【資料 5】

また、本学の半径約 20km 圏内は、本学への出願者が多く居住するエリアであることも考慮すると【資料 6】、本学の診療放射線学科は大阪市内や大阪市と近接する市区町村からの学生確保が期待できる。さらに、私立大学の診療放射線技師養成校がないエリア（兵庫県全域・京都府南部・奈良県全域・和歌山県全域など）からの学生確保もある程度見込めると考えられ、これらのことは、本学が診療放射線学科の入学定員を充足できると考える根拠の一つになっている。

エ 「森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）への高校生の入学意向に関するアンケート」調査結果【資料 7】

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への進学ニーズを調査する目的で、第三者機関である一般財団法人日本開発構想研究所による下記のアンケート調査を行った。

- ・実施者：一般財団法人日本開発構想研究所
- ・アンケート題目：森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）への高校生の入学意向に関するアンケート
- ・調査対象者：平成 30 年度において高等学校 2 学年である者
- ・調査対象校：森ノ宮医療大学近隣に所在する高等学校 199 校
- ・実施期間：平成 30 年 10 月～平成 30 年 12 月

アンケート調査により、以下の点が示された。

1) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について【資料 7-p.9】

診療放射線学科への受験意向について調査した結果、「受験してみたい」193 人（3.0%）、「受験先として検討したい」415 人（6.5%）の合計 608 人（9.5%）が診療放射線学科への受験意向を示した。

2) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への入学意向について【資料 7-p.9】

上記 1) にて診療放射線学科への受験意向を示した 608 人と、「わからない」と回答した 2,642 人、合計 3,250 人に、診療放射線学科を受験し、合格した場合の入学意向について調査した。

その結果は「入学を希望する」が 312 人（9.6%）、「入学を検討する」が 1,054 人（32.4%）で、合計 1,366 人（42.0%）が診療放射線学科への入学意向を示した。

3) 上記 1) と 2) をクロス集計した結果【資料 7-p.10】

診療放射線学科を「受験してみたい」と回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校 2 年生は 122 人となり、診療放射線学科の入学定員 80 人に対して約 1.52 倍の入学意向を実数にて確保したといえる。

また、診療放射線学科を「受験してみたい」または「受験先として検討したい」と回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校 2 年生は合計 188 人となり、診療放射線学科の入学定員 80 人に対し、約 2.35 倍が入学意向を示している。

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外の高校生の進学も考えられることから、診療放射線学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものとする。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では学生確保に向け、アドミッションセンターが中心となり様々な取り組みを行っている。具体的には、広報室で起案している各種企画の内容的な報告・連絡・相談とその確定および学科内への業務依頼、情報の提供をアドミッションセンター会議において行い、それを各学科及び部署にフィードバックする体制が構築されている。この体制により、「オープンキャンパス」「進学相談会」「高校訪問」「教員対象説明会」等の学生募集活動を教職協働で連携し、長期的な学生確保のビジョンを持って取り組むことが可能となっている。

主な取り組み（予定含む）は以下のとおりである。

① オープンキャンパス

毎年、各高等学校のイベントや競合大学のスケジュールを考慮した上で、本学が求める学生が幅広く参加できるよう日程を調整し、内容においても開催時期ごとにテーマを設け、本学の認知向上とともに各学問領域への興味を喚起するものとなっている。また、高校 3 年生を対象とするだけでなく、1・2 年生を対象としたプログラムや保護者を対象とした「保護者のための進学説明会」を実施することで、長期的な学生の確保に力を入れている。

また、リアルオープンキャンパスと題した「授業見学会（普段の大学の授業を見学できるイベント）」を開催し、より本学への理解を促している。

② 受験情報雑誌／進学情報サイト

受験生等からの本学に対する資料請求件数は、開学以来順調に伸び続けている【資料 8】。資料請求件数全体のうち、受験雑誌や進学サイトを経由した請求が概ね 8 割程度を占めていることから、それらを通じた長期的な学生確保の取り組みに力を入れる。

また、これまで受験情報雑誌や進学情報サイトに掲載してきた内容に加え、診療放射線学科の新設に伴う新增設企画（新学科を特集するための専用の企画）への参加や、掲載雑誌およびサイトの拡大、広告枠の拡大などについても順次実施していく。

③ 進学相談会／高校ガイダンス

複数の大学がブースを設け、来場した高校生やその保護者から相談を受け付ける「進学相談会」と、大学の広報担当者などが高校に出向いて各学科の特色などを説明する「高校ガイダンス」を、本学の通学圏内となるエリアを中心に年間を通して実施する。参画する相談会／ガイダンスの学問分野を看護・医療系に限定し、看護・医療関連への興味関心の高い生徒との接点を増やすと同時に、高校1・2年生を対象とした相談会／ガイダンスへの参画を増やし、長期的かつ安定的な学生の確保に向けた取り組みを行っている。

進学相談会平成30年度（平成30年4月～平成30年10月）実績：延べ35会場で実施、606名と接触。

高校ガイダンス平成30年度（平成30年4月～平成31年1月）実績：延べ264校で実施、4,838名と接触。

④ 高校訪問

周辺的高等学校教員へ本学の認知度を向上させる目的で、高等学校を訪問する。訪問目的と必要性を吟味し、訪問対象校や訪問時期・訪問回数・提案内容等を精査する。本学と同じ学科を有する大学が少ない近隣府県的高等学校への訪問を強化し、本学の認知度を高めることで当該分野に興味のある生徒の獲得を狙う。

平成30年度（平成30年4月～平成31年2月）実績：延べ1,059校訪問。近畿2府4県では延べ865校訪問。

⑤ 教員対象説明会

近隣府県的高等学校の教員を対象とした説明会を実施する。認知度や募集力の短期的な向上ではなく、より長期的な学生募集力の強化を目的としており、そのため本学全体の情報提供のほか、各学科の設置の趣旨やアドミッションポリシー、入学者選抜の方法等の情報を提供する。

⑥ 本学公式WEBサイト

本学公式WEBサイトに診療放射線学科特設ページを制作し、診療放射線学科及び診療放射線技師への興味関心を促すとともに、日々更新される最新情報を滞りなく発信するツールとして活用する。受験生だけでなく、高校1・2年生を対象とした専用コンテンツも開設しており、長期的な学生の確保を意識した構成となっている。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

チーム医療における使命を理解し、診療放射線技師としての職責を自覚し、実践できるよう下記にある①～④の能力を身につけた人材を養成する。

① 精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける診療放射線学の役割を理解し、自己の知識・技術を点検・評価し、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で診療放射線技師としての知識力と技術力を発揮することができる。

② チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、医学の進歩と地域・社会福祉の向上に寄与することができる。

③ 豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができる。

④ 主体的問題解決能力

診療放射線技師に相応しい高い専門性と研究能力を備え、医療に関する諸問題をあらゆる角度から科学的視点で捉え、主体的に創造的に問題を解決することができる。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

① 社会的な需要

日本における診療放射線技師の需要は、少子高齢化とともに増加している。厚生労働省の「医療施設（静態・動態）調査・病院報告」によると、病院で働く診療放射線技師の数はここ11年間右肩上がりが増え続けており、平成19年と平成29年を比較すると約7,870人増加している【資料9】。また、診療放射線技師は病院、クリニック、医療機器メーカー等、多岐にわたる施設で必要とされている。国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」によると、がん患者は平成26（2014）年時点で約87万6千人に達し、直近10年では約23万人増加している【資料10】。診療放射線技師はがん患者の放射線治療において重要な役割を果たしていることから、診療放射線技師の必要性がますます高まっていると推察される。

② 業界団体からの要請

本学の位置する大阪府の診療放射線技師でつくる「公益社団法人大阪府診療放射線技師会」からは、近畿エリアに診療放射線技師を養成する大学はまだまだ少ない状況にあ

るとして、本学に対し、診療放射線学科設立の要望書が寄せられている。

さらに全国の診療放射線技師でつくる「公益社団法人日本診療放射線技師会」も、最先端医療に対応できる診療放射線技師を養成するために、専門的な医療技術を実践できる知識と技術を習得させる教育が求められていることなどから、4年制大学での教育が適切であるとし、本学の診療放射線学科開設を要望している。【資料 11】

よって、本学の診療放射線技師養成は、業界団体からの要請にも沿ったものである。

③ 近畿および大阪エリアにおける診療放射線技師の需要状況

平成 30 年度、近畿には大学と専門学校をあわせて 7 校の診療放射線技師養成校がある。このうち 4 校は大阪府内にあり、大学が 2 校、専門学校が 2 校となっている。大阪市内に限ると、専門学校が 1 校あるだけで、大学は 1 校もない【資料 12】。その一方で、近畿エリアの養成校には診療放射線技師の求人が多数寄せられている。中には求人数が入学定員を大きく上回り、12 倍近い求人倍率となっているところもある。【資料 13】

よって、近畿および大阪エリアで養成校より輩出される診療放射線技師の数は需要に対してまだ十分とはいえないため、本学の診療放射線学科卒業生への需要は十分に見込めると考えられる。

④ 既設学科の求人状況

本学の既存 3 学科（看護学科、理学療法学科、鍼灸学科）の就職状況は、過去を見ても良好である。平成 27 年度から平成 29 年度の 3 年間、就職希望者全員が就職を果たしている【資料 14】。

ゆえに、本学は医療職を養成する医療系大学として医療機関等から一定の評価を得ていると言え、新設する診療放射線学科の卒業生に対しても採用ニーズが見込める。

⑤ 第三者機関による採用意向調査結果【資料 15】

1) 調査の概要

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生に対する医療機関および企業の採用意向を調査する目的で、第三者機関である一般財団法人日本開発構想研究所によるアンケート調査を行った。

- ・実 施 者：一般財団法人日本開発構想研究所
- ・アンケート題目：森ノ宮医療大学保健医療大学診療放射線学科（仮称）の卒業生に対する病院・医療系企業等の採用意向に関するアンケート調査
- ・調 査 対 象 者：卒業生の就職が見込まれる病院、医療系企業等の診療放射線技師採用担当者
- ・実 施 期 間：平成 30 年 11 月～平成 31 年 3 月
- ・有効回答率等：配布数・・・3,680 施設、有効回答数・・・611 施設、

有効回答率・・・約 16.6%

2) 調査の結果

上記のアンケート結果から、以下のことが明らかになった。

・入学定員以上の求人件数の確保が見込める

現在診療放射線技師が配置されている 566 施設等のうち、本学診療放射線学科卒業生を「採用したい」と考える施設等は 50 件であった。【資料 15-p.13】

これらの施設に対し、本学診療放射線学科の卒業生を毎年何人採用したいか尋ね、その結果を基に算出したところ、入学定員 80 名の 1.06 倍にあたる 85 人分の求人が見込めることが明らかになった。【資料 15-p.14】

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、回答を得られた 378 件の施設等の採用意向人数を合計すると 419 人となり、これは、入学定員 80 人に対して、約 5.23 倍となる。【資料 15-p.14】

したがって本学の診療放射線学科の就職先は十分に確保できるといえる。

⑥ 結論

- ・診療放射線技師の社会的需要が高水準であると言える。
- ・近隣の診療放射線技師養成校に対する求人依頼数は順調である。
- ・本学既設学科卒業生の就職状況は良好であり、医療専門職を輩出する医療系大学として一定の評価を得ている。
- ・第三者機関によるアンケート結果から、本学診療放射線学科の卒業生に対する採用が毎年見込める。

以上により、本学の診療放射線学科が養成する人材は社会的な要請に対応したものであり、卒業生に対する中長期的な人材需要が十分に確保できるものとする。

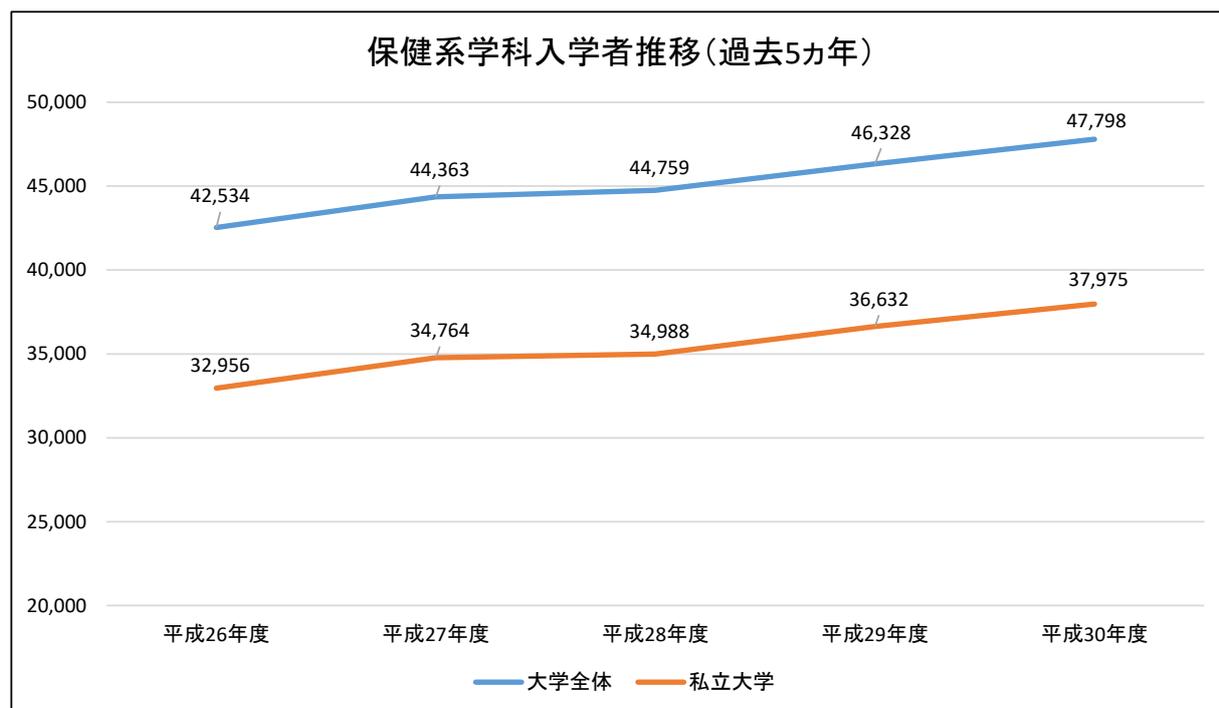
森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科 学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

- 資料 1 保健系学科入学者推移表
- 資料 2 私立大学入学志願動向【学部系統別の動向（大学／過去5ヵ年）】
- 資料 3 過去5ヵ年の本学入学試験状況
- 資料 4 近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学の入試動向
- 資料 5 近畿エリアにおける診療放射線技師養成校である私立大学位置
- 資料 6 本学出願者の居住地ヒートマップ（2018年度入試）
- 資料 7 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）への高校生の入学意向に
関するアンケート調査報告
- 資料 8 年度別資料請求数
- 資料 9 病院における診療放射線技師の従事者数（常勤換算）
- 資料 10 がん罹患者数と死亡者数の推移
- 資料 11 大阪府診療放射線技師会からの要望書・日本診療放射線技師会からの要望書
- 資料 12 近畿の診療放射線技師養成校一覧
- 資料 13 近畿の診療放射線技師養成校における求人状況（平成29年度）
- 資料 14 森ノ宮医療大学における既設学科の就職状況
- 資料 15 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の卒業生に関する病院・
医療系企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

保健系学科入学者推移表

区分	大学区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
保健系(医学・ 歯学・薬学を除く)	大学全体	人数	42,534	44,363	44,759	46,328	47,798
		前年比増加率	-	104.3%	100.9%	103.5%	103.2%
	私立大学	人数	32,956	34,764	34,988	36,632	37,975
		前年比増加率	-	105.5%	100.6%	104.7%	103.7%

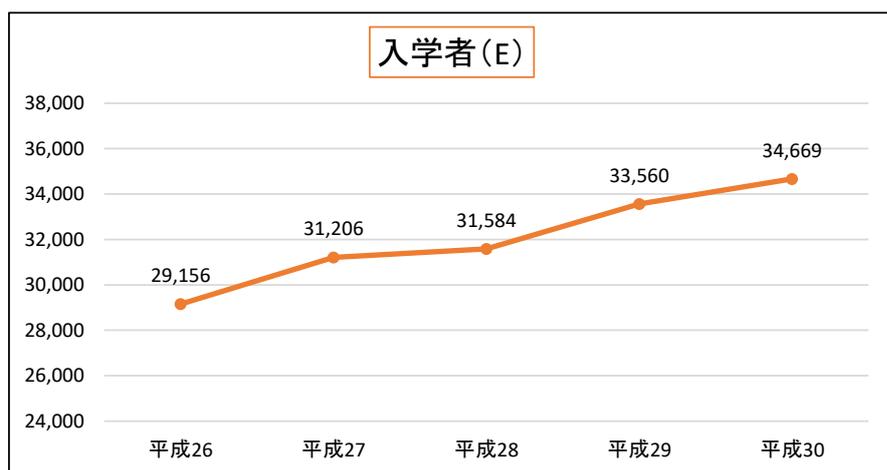
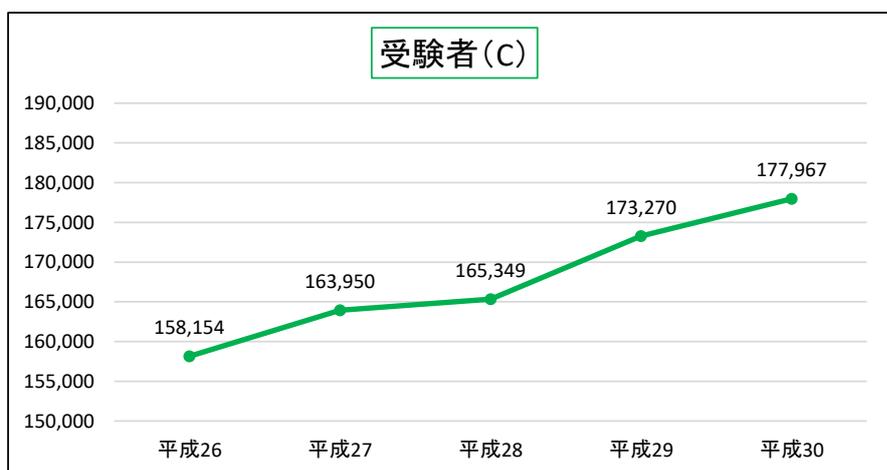
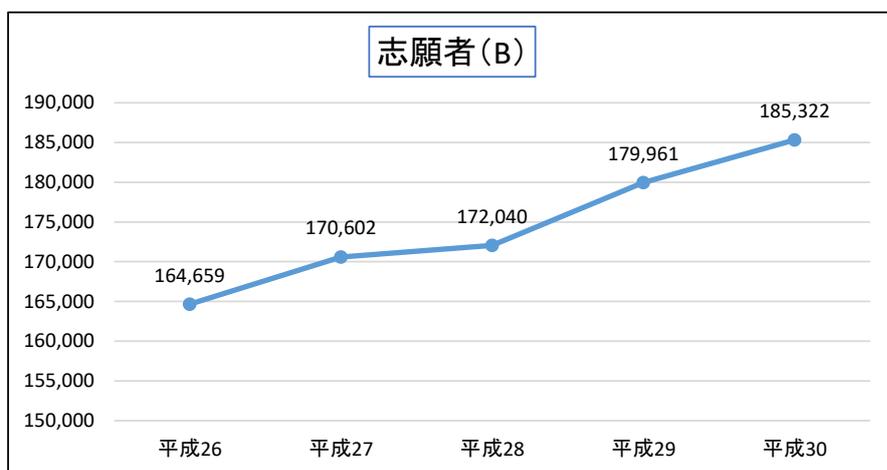
※文部科学省 学校基本調査（大学の関係学科別入学者数）保健系分野を年度ごとに抜粋【単位は人】
 ※平成30年度は速報値（2018年8月2日公表）



私立大学入学志願動向【学部系統別の動向(大学/過去5ヵ年)】

区分	年度	集計 学部数	入学定員 (A)	志願者 (B)	受験者 (C)	合格者 (D)	入学者 (E)	志願倍率 (B/A)	合格率 (D/C)	歩留率 (E/D)	定員充足 率(E/A)
保健系	平成26	175	27,033	164,659	158,154	56,334	29,156	6.09	35.62	51.76	107.85
	平成27	192	28,998	170,602	163,950	61,599	31,206	5.88	37.57	50.66	107.61
	平成28	198	30,330	172,040	165,349	63,762	31,584	5.67	38.56	49.53	104.13
	平成29	209	32,850	179,961	173,270	67,108	33,560	5.48	38.73	50.01	102.16
	平成30	220	34,307	185,322	177,967	69,269	34,669	5.4	38.92	50.05	101.06

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より抜粋



過去5カ年の本学入学試験状況

2019.3.4現在

(志願者数・受験者数・合格者数・競争率・入学者数・定員超過率)

学部	学科	入試実施年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率(受験者数/合格者数)	入学者数	定員超過率		
保健医療学部	看護学科	H29	90	1,393	1,344	157	8.56	90	1.00		
		H28	80	1,435	1,374	152	9.04	90	1.12		
		H27	80	1,315	1,278	173	7.39	90	1.12		
		H26	80	925	895	132	6.78	90	1.12		
		H25	80	1,119	1,073	116	9.25	88	1.10		
	理学療法学科	H29	70	712	696	100	6.96	70	1.00		
		H28	60	722	705	99	7.12	70	1.16		
		H27	60	792	775	103	7.52	70	1.16		
		H26	60	452	443	81	5.47	70	1.16		
		H25	60	490	473	80	5.91	68	1.13		
	鍼灸学科	H29	60	152	149	108	1.38	70	1.16		
		H28	60	183	180	113	1.59	67	1.11		
		H27	60	206	201	106	1.90	67	1.11		
		H26	60	152	149	102	1.46	64	1.06		
		H25	60	199	194	89	2.18	68	1.13		
	作業療法学科	H29	40	305	300	71	4.23	53	1.32		
		H28	40	381	367	76	4.83	50	1.25		
		H27	40	244	232	89	2.61	50	1.25		
		H26	H28年4月開設のため入試データなし								
		H25	H28年4月開設のため入試データなし								
	臨床検査学科	H29	60	490	483	129	3.74	72	1.20		
		H28	60	577	560	122	4.59	72	1.20		
		H27	60	421	407	122	3.34	72	1.20		
		H26	H28年4月開設のため入試データなし								
		H25	H28年4月開設のため入試データなし								
臨床工学科	H29	60	252	248	100	2.48	70	1.16			
	H28	H30年4月開設のため入試データなし									
	H27	H30年4月開設のため入試データなし									
	H26	H30年4月開設のため入試データなし									
	H25	H30年4月開設のため入試データなし									
全学科合計	H29	380	3,304	3,220	665	4.84	425	1.11			
	H28	300	3,298	3,186	562	5.67	349	1.16			
	H27	300	2,978	2,893	593	4.88	349	1.16			
	H26	200	1,529	1,487	315	4.72	224	1.12			
	H25	200	1,808	1,740	285	6.11	224	1.12			

近畿エリアの診療放射線技師養成校である私立大学の入試動向

大学名	学部学科名(入学定員数)	年度	入試方法	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数
大阪物療大学	保健医療学部 診療放射線技術学科 (80名)	2017	推薦入試	35	71	68	36	2.0	36
			一般入試	43	75	72	65	1.7	49
			社会人入試	2	0	0	0	0.0	0
			合計	80	146	140	101	1.8	85
		2018	推薦入試	40	99	93	46	2.5	46
			一般入試	38	68	61	59	1.8	37
			社会人入試	2	2	1	1	1.0	1
			合計	80	169	155	106	2.1	84
京都医療科学大学	医療科学部 放射線技術学科 (80名)	2017	推薦入試	35	97	96	43	2.8	-
			一般入試	42	213	205	70	5.1	-
			社会人入試	3	-	-	-	-	-
			合計	80	310	301	113	3.9	87
		2018	推薦入試	35	94	94	44	2.7	-
			一般入試	42	180	171	81	4.3	-
			社会人入試	3	0	0	0	0.0	0
			合計	80	274	265	125	3.4	96
鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部 放射線技術科学科 (100名)	2017	推薦入試	30	153	150	75	5.1	-
			一般入試	55	370	366	124	6.7	-
			センター利用方式	15	208	208	72	13.9	-
			合計	100	731	724	271	7.3	-
		2018	推薦入試	30	185	185	94	6.2	-
			一般入試	55	318	313	106	5.8	-
			センター利用方式	15	158	158	68	10.5	-
			合計	100	661	656	268	6.6	-

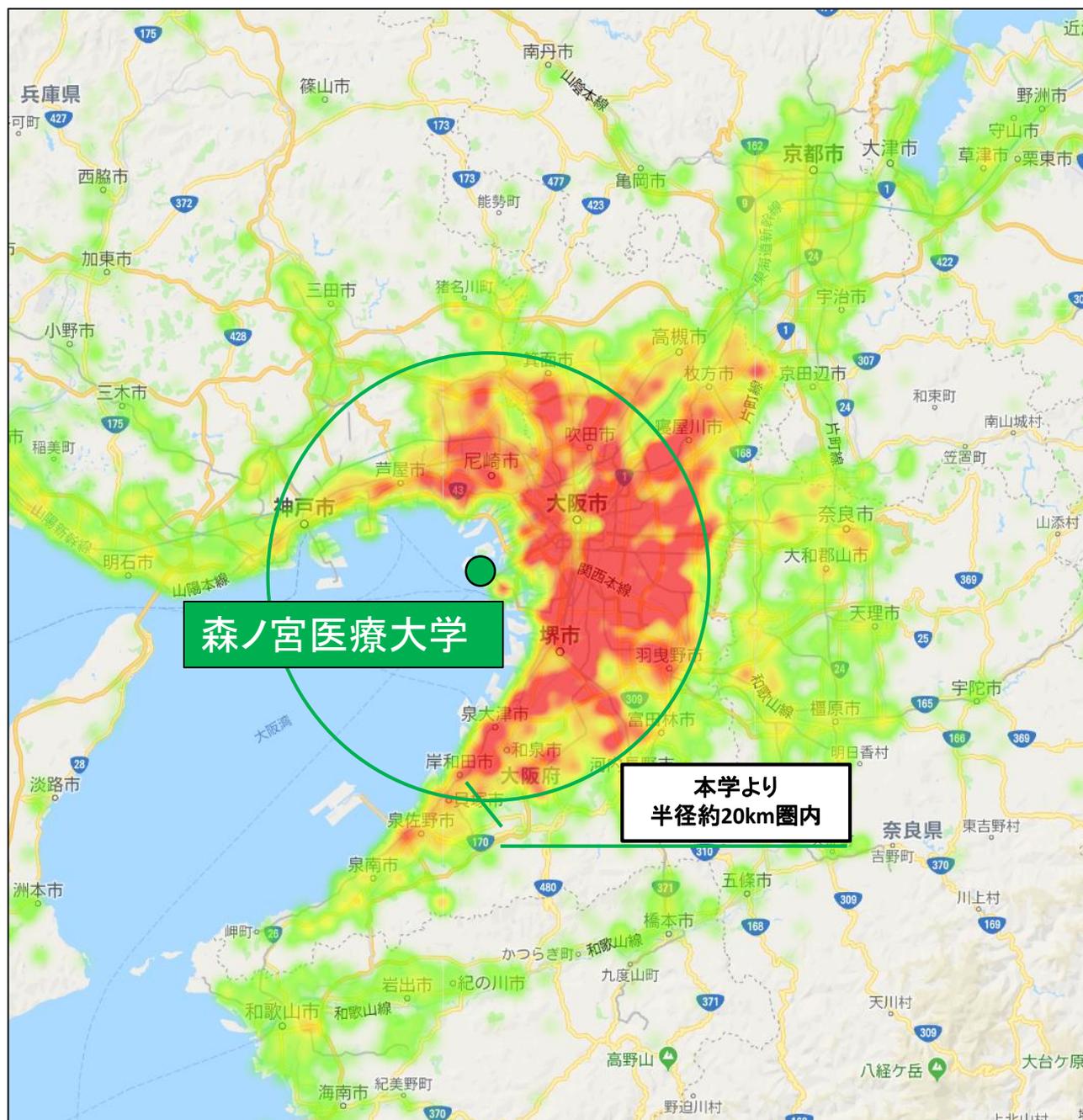
※大学情報は、各大学公式ウェブサイトより抜粋(「-」はデータなし)。志願倍率は募集人数に対する志願者数の割合です。

近畿エリアにおける診療放射線技師養成校である私立大学位置

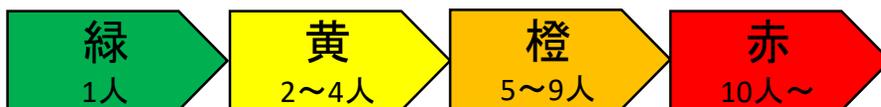


- ★: 森ノ宮医療大学 (大阪府大阪市)
- A: 大阪物療大学 (大阪府堺市)
- B: 京都医療科学大学 (京都府南丹市)
- C: 鈴鹿医療科学大学 (三重県鈴鹿市)

本学出願者の居住地ヒートマップ（2018年度入試）



※本学調べ（2018年度入試 出願者の居住地）。
赤い部分ほど出願者数が多く、緑に近づくほど出願者数が少ないことを示す。



森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）
への高校生の入学意向に関するアンケート調査報告

平成31年1月

一般財団法人 日本開発構想研究所

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）への
高校生への入学意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

2020年4月に予定している森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の開設に向けて、設置年度の進学対象層に対する森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）への入学意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象高校及び対象者

近隣に所在する高等学校、または、森ノ宮医療大学に進学実績のある高等学校を中心に、2府4県（大阪府、滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県）に所在する高等学校の在学者で2020年度大学進学対象となる高校2年生。

(3) 調査方法

近隣に所在する高等学校、または、森ノ宮医療大学に進学実績のあるものを中心とした高等学校199校に24,030人分のアンケート用紙及び森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の概要を示したリーフレットを送付し、教室等で直接アンケート用紙に記入する方法により実施。回答用紙は一般財団法人日本開発構想研究所へ高校から直接郵送。

この結果、高校2年生13,496人から有効回答（有効回収率約56.1%）があった。

集計結果より、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）への入学意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成30年10月～平成30年12月

(5) 有効回収率等

調査対象者数：高等学校199校24,030人

有効回答者数：高等学校164校13,599人の回答のうち、高校2年生13,496人

有効回収率：約56.1%（高校2年生13,496人÷調査対象者24,030人）

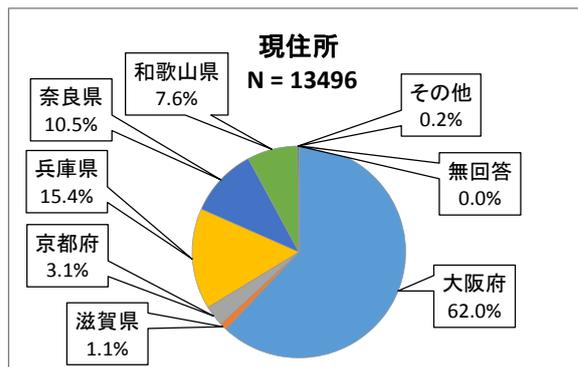
※森ノ宮医療大学にて設置を構想している保健医療学部診療放射線学科は仮称であるが、その旨の表示を本文中では省略した。

2. 調査結果

(1) 現住所について

現住所について調査した結果、高校2年生 13,496 人のうち、「大阪府」が 8,367 人（62.0%）と最も多く、次いで「兵庫県」 2,082 人（15.4%）、「奈良県」 1,418 人（10.5%）、「和歌山県」 1,029 人（7.6%）、「京都府」 425 人（3.1%）、「滋賀県」 146 人（1.1%）、「その他」 25 人（0.2%）の順になっている。 ※「無回答」 4 人（0.0%）

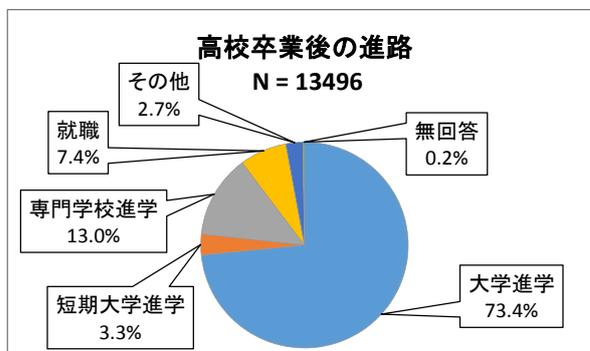
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大阪府	8,367	62.0
2	滋賀県	146	1.1
3	京都府	425	3.1
4	兵庫県	2,082	15.4
5	奈良県	1,418	10.5
6	和歌山県	1,029	7.6
7	その他	25	0.2
	無回答	4	0.0
	N (%ベース)	13,496	100



(2) 高校卒業後の進路について

高校卒業後の進路について調査した結果、高校2年生 13,496 人のうち、9,911 人（73.4%）が「大学進学」を希望しており、「短期大学進学」は 443 人（3.3%）、合わせて 10,354 人（76.7%）が国内の高等教育機関への進学を希望している。さらに、「専門学校進学」 1,759 人（13.0%）を合わせると、12,113 人（89.7%）が高等学校卒業後、進学を希望している。 ※「無回答」 33 人（0.2%）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	9,911	73.4
2	短期大学進学	443	3.3
3	専門学校進学	1,759	13.0
4	就職	992	7.4
5	その他	358	2.7
	無回答	33	0.2
	N (%ベース)	13,496	100



(3) 興味のある分野について

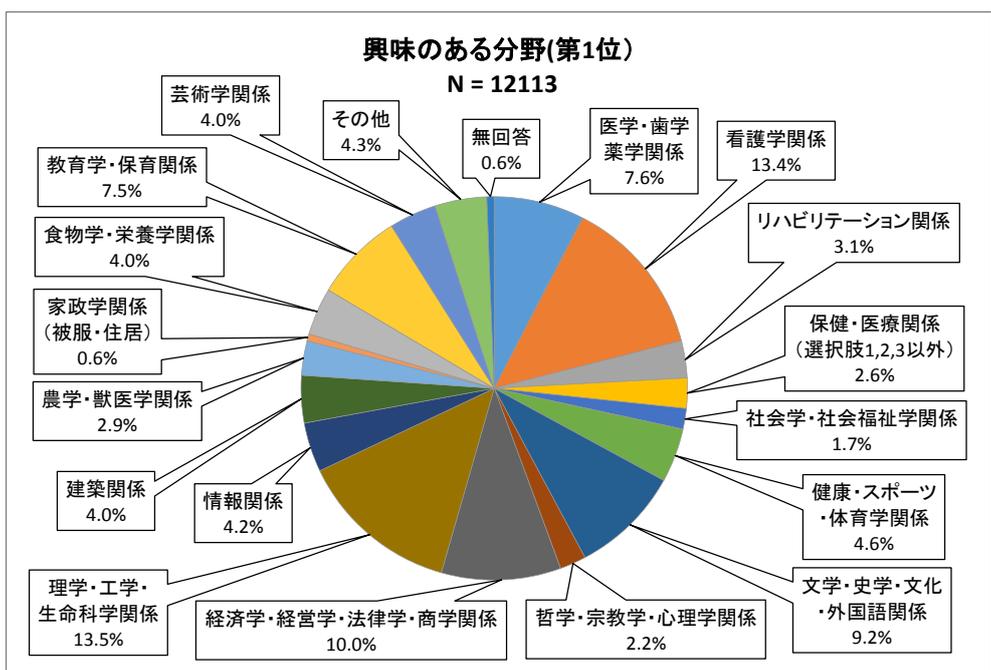
3-1 興味のある分野（第1位）について

進学を希望する 12,113 人に、興味のある分野（第1位）について調査した。

その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「理学・工学・生命科学関係」が 1,636 人（13.5%）と最も多く、次いで「看護学関係」1,628 人（13.4%）、「経済学・経営学・法律学・商学関係」1,211 人（10.0%）、「文学・史学・文化・外国語関係」1,120 人（9.2%）、「医学・歯学・薬学関係」917 人（7.6%）、「教育学・保育関係」910 人（7.5%）、の順になっている。 ※「無回答」75 人（0.6%）

興味のある分野(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医学・歯学・薬学関係	917	7.6
2	看護学関係	1,628	13.4
3	リハビリテーション関係	379	3.1
4	保健・医療関係(選択肢1,2,3以外)	309	2.6
5	社会学・社会福祉学関係	209	1.7
6	健康・スポーツ・体育学関係	552	4.6
7	文学・史学・文化・外国語関係	1,120	9.2
8	哲学・宗教学・心理学関係	267	2.2
9	経済学・経営学・法律学・商学関係	1,211	10.0
10	理学・工学・生命科学関係	1,636	13.5
11	情報関係	505	4.2
12	建築関係	484	4.0
13	農学・獣医学関係	352	2.9
14	家政学関係(被服・住居)	71	0.6
15	食物学・栄養学関係	483	4.0
16	教育学・保育関係	910	7.5
17	芸術学関係	479	4.0
18	その他	526	4.3
	無回答	75	0.6
	N (%ベース)	12,113	100



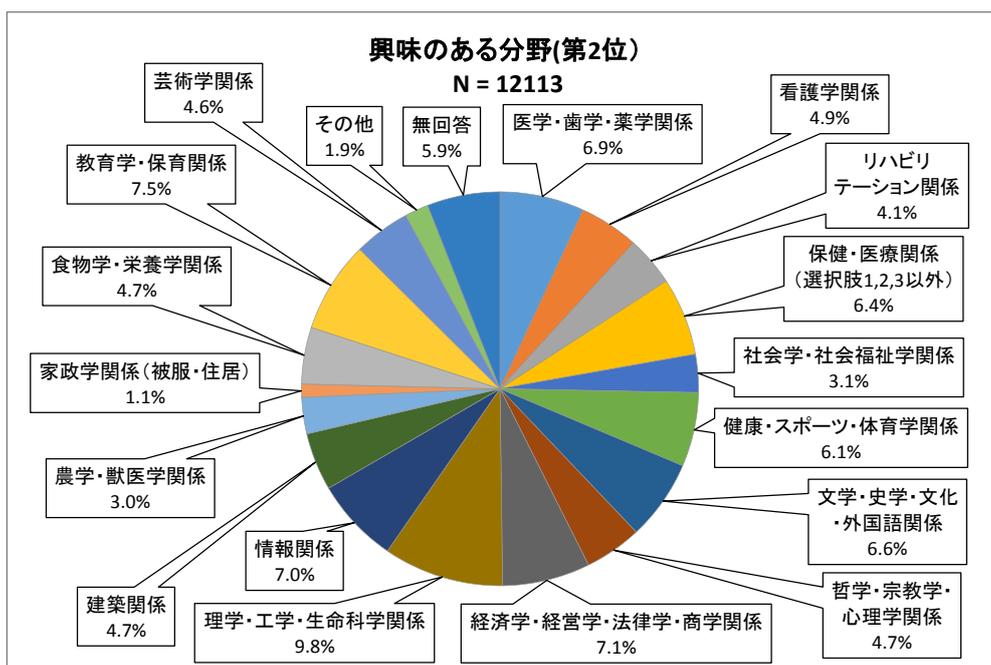
3-2 興味のある分野（第2位）について

進学を希望する 12,113 人に、興味のある分野（第2位）について調査した。

その結果は、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「理学・工学・生命科学関係」が 1,189 人（9.8%）と最も多く、次いで「教育学・保育関係」907 人（7.5%）、「経済学・経営学・法律学・商学関係」865 人（7.1%）、「情報関係」845 人（7.0%）、「医学・歯学・薬学関係」833 人（6.9%）、「文学・史学・文化・外国語関係」795 人（6.6%）、「保健・医療関係（選択肢 1,2,3 以外）」774 人（6.4%）、「健康・スポーツ・体育学関係」737 人（6.1%）の順になっている。 ※「無回答」719 人（5.9%）

興味のある分野(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医学・歯学・薬学関係	833	6.9
2	看護学関係	589	4.9
3	リハビリテーション関係	491	4.1
4	保健・医療関係(選択肢1,2,3以外)	774	6.4
5	社会学・社会福祉学関係	379	3.1
6	健康・スポーツ・体育学関係	737	6.1
7	文学・史学・文化・外国語関係	795	6.6
8	哲学・宗教学・心理学関係	568	4.7
9	経済学・経営学・法律学・商学関係	865	7.1
10	理学・工学・生命科学関係	1,189	9.8
11	情報関係	845	7.0
12	建築関係	573	4.7
13	農学・獣医学関係	362	3.0
14	家政学関係(被服・住居)	131	1.1
15	食物学・栄養学関係	564	4.7
16	教育学・保育関係	907	7.5
17	芸術学関係	558	4.6
18	その他	234	1.9
	無回答	719	5.9
	N (%ベース)	12,113	100

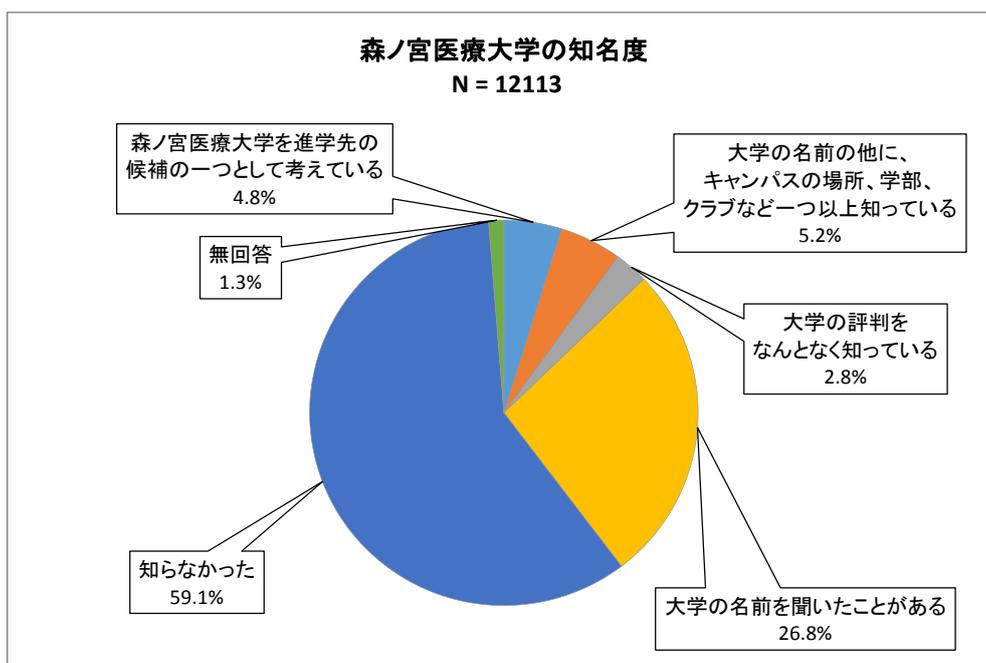


(4) 森ノ宮医療大学の知名度について

進学を希望する 12,113 人に、森ノ宮医療大学の知名度について調査した。その結果は、「知らなかった」が 7,157 人 (59.1%) と最も多く、次いで「大学の名前を聞いたことがある」が 3,252 人 (26.8%)、「大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている」626 人 (5.2%)、「大学の評判をなんとなく知っている」341 人 (2.8%)、「森ノ宮医療大学を進学先の候補の一つとして考えている」584 人 (4.8%)、「大学の評判をなんとなく知っている」341 人 (2.8%) の順になっている。
 ※「無回答」153 人 (1.3%)

森ノ宮医療大学の知名度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	森ノ宮医療大学を進学先の候補の一つとして考えている	584	4.8
2	大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている	626	5.2
3	大学の評判をなんとなく知っている	341	2.8
4	大学の名前を聞いたことがある	3,252	26.8
5	知らなかった	7,157	59.1
	無回答	153	1.3
	N (%ベース)	12,113	100

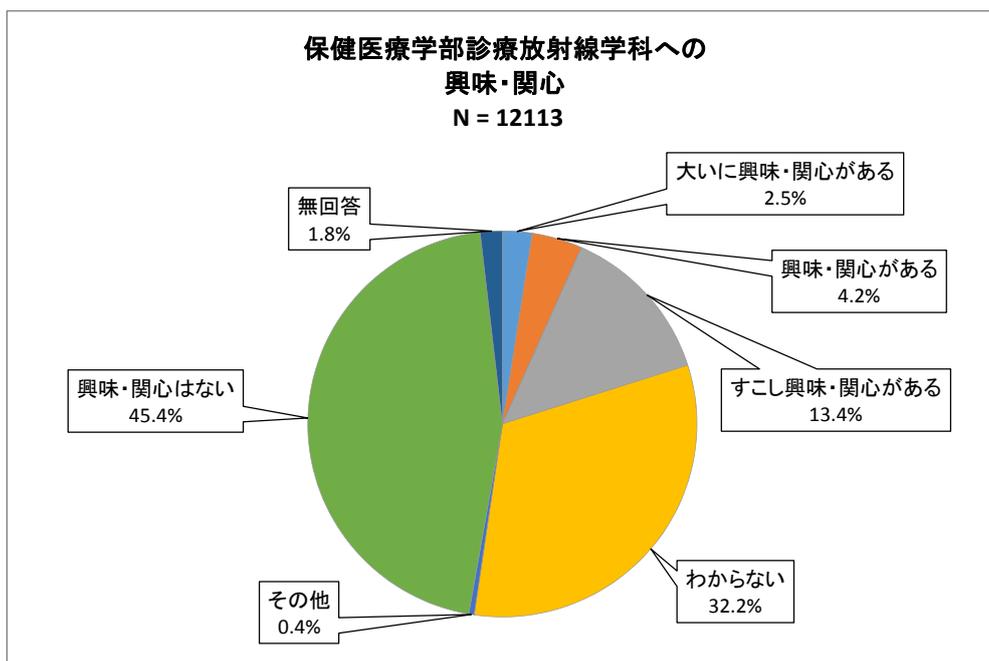


(5) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への興味・関心について

進学を希望する 12,113 人のうち、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科について「大いに興味・関心がある」と回答したのは 299 人 (2.5%) である。また、「興味・関心がある」507 人 (4.2%)、「すこし興味・関心がある」1,627 人 (13.4%) との回答があり、「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」の合計 2,433 人 (20.1%) が森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科に興味を示している。 ※「無回答」221 人 (1.8%)

保健医療学部診療放射線学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	299	2.5
2	興味・関心がある	507	4.2
3	すこし興味・関心がある	1,627	13.4
4	わからない	3,905	32.2
5	その他	54	0.4
6	興味・関心はない	5,500	45.4
	無回答	221	1.8
	N (%ベース)	12,113	100



(6) 興味・関心の理由について

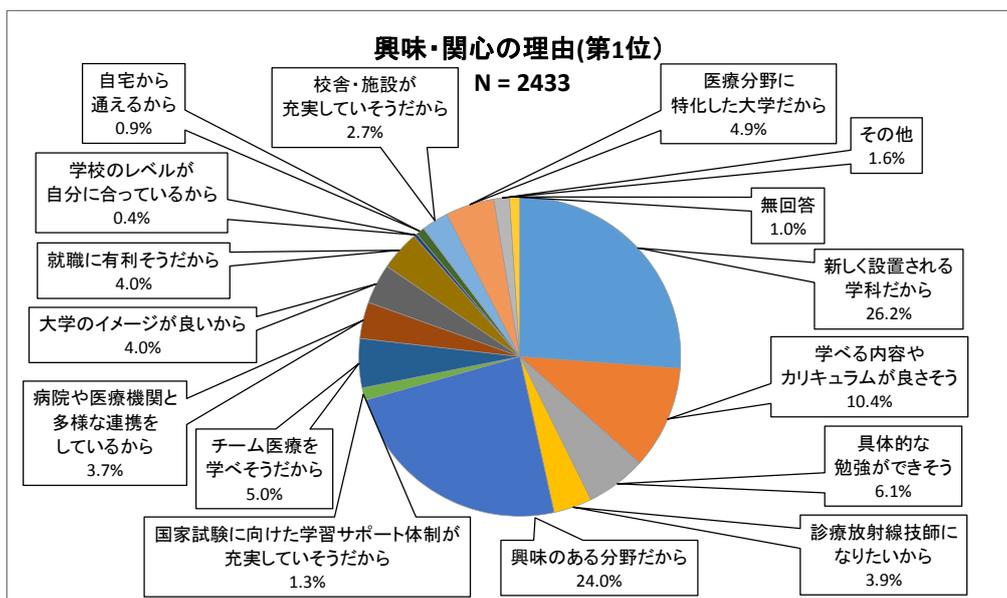
6-1 興味・関心の理由 (第1位) について

「(5) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への興味・関心について」にて森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科に興味・関心を示した 2,433 人に、興味・関心の理由 (第1位) について調査した。

その結果、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「新しく設置される学科だから」が 637人 (26.2%) と最も多く、次いで「興味のある分野だから」584人 (24.0%)、「学べる内容やカリキュラムが良さそう」254人 (10.4%)、「具体的な勉強ができそう」148人 (6.1%)、「チーム医療を学べそうだから」121人 (5.0%) の順になっている。 ※「無回答」25人 (1.0%)

興味・関心の理由(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される学科だから	637	26.2
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	254	10.4
3	具体的な勉強ができそう	148	6.1
4	診療放射線技師になりたいから	94	3.9
5	興味のある分野だから	584	24.0
6	国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから	31	1.3
7	チーム医療を学べそうだから	121	5.0
8	病院や医療機関と多様な連携をしているから	90	3.7
9	大学のイメージが良いから	98	4.0
10	就職に有利そうだから	98	4.0
11	学校のレベルが自分に合っているから	9	0.4
12	自宅から通えるから	21	0.9
13	校舎・施設が充実していそうだから	66	2.7
14	医療分野に特化した大学だから	119	4.9
15	その他	38	1.6
	無回答	25	1.0
	N (%ベース)	2,433	100



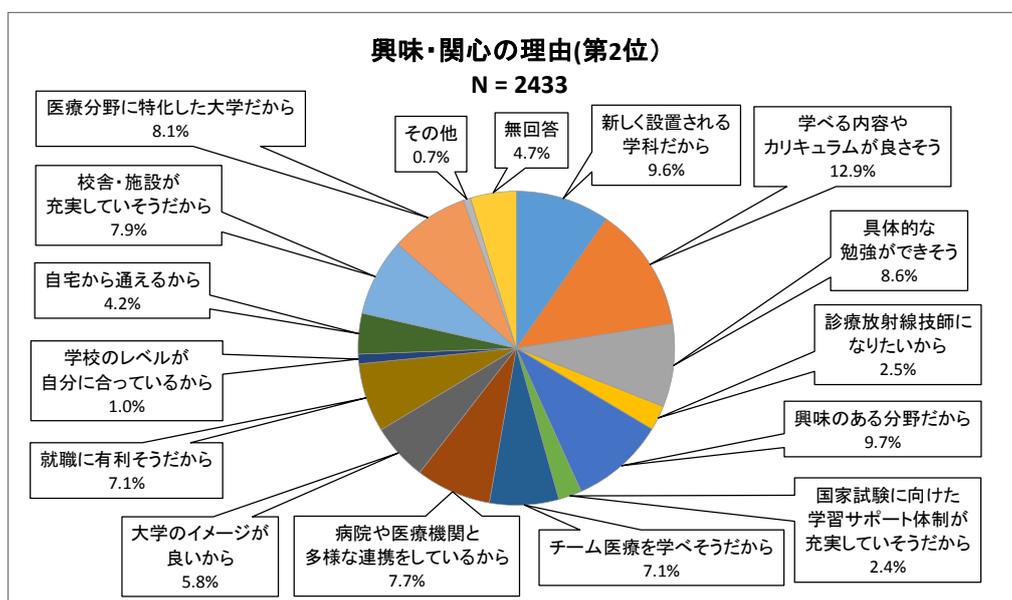
6-2 興味・関心の理由（第2位）について

「(5) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への興味・関心について」にて森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科に興味・関心を示した 2,433 人に、興味・関心の理由（第2位）について調査した。

その結果、5.0%以上の割合を占めたものを挙げると、「学べる内容やカリキュラムが良さそう」が 313 人（12.9%）と最も多く、次いで「興味のある分野だから」235 人（9.7%）、「新しく設置される学科だから」234 人（9.6%）、「具体的な勉強ができそう」209 人（8.6%）、「医療分野に特化した大学だから」196 人（8.1%）、「校舎・施設が充実していそうだから」193 人（7.9%）、「病院や医療機関と多様な連携をしているから」188 人（7.7%）、「就職に有利そうだから」173 人（7.1%）、「チーム医療を学べそうだから」172 人（7.1%）、「大学のイメージが良いから」142 人（5.8%）の順になっている。 ※「無回答」114 人（4.7%）

興味・関心の理由(第2位)

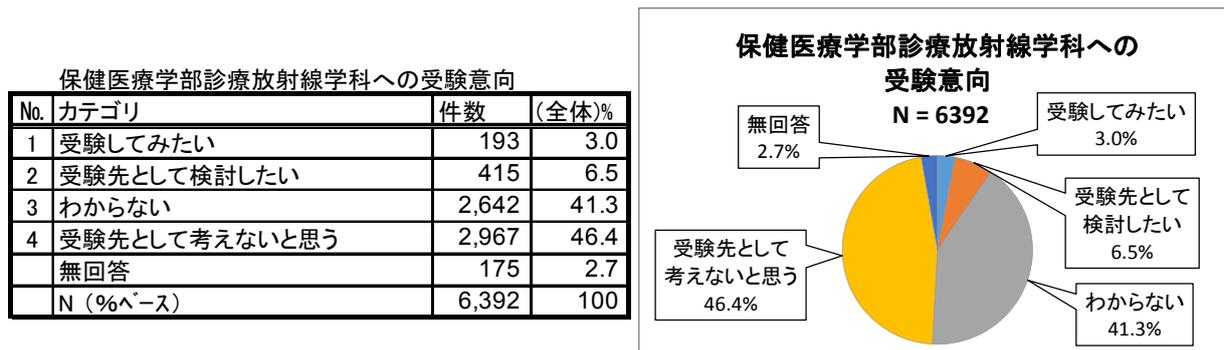
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される学科だから	234	9.6
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	313	12.9
3	具体的な勉強ができそう	209	8.6
4	診療放射線技師になりたいから	62	2.5
5	興味のある分野だから	235	9.7
6	国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから	58	2.4
7	チーム医療を学べそうだから	172	7.1
8	病院や医療機関と多様な連携をしているから	188	7.7
9	大学のイメージが良いから	142	5.8
10	就職に有利そうだから	173	7.1
11	学校のレベルが自分に合っているから	24	1.0
12	自宅から通えるから	102	4.2
13	校舎・施設が充実していそうだから	193	7.9
14	医療分野に特化した大学だから	196	8.1
15	その他	18	0.7
	無回答	114	4.7
	N (%ベース)	2,433	100



(7) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について

進学を希望する 12,113 人のうち、「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」、「すこし興味・関心がある」、「わからない」、「その他」と回答した 6,392 人に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について調査した。

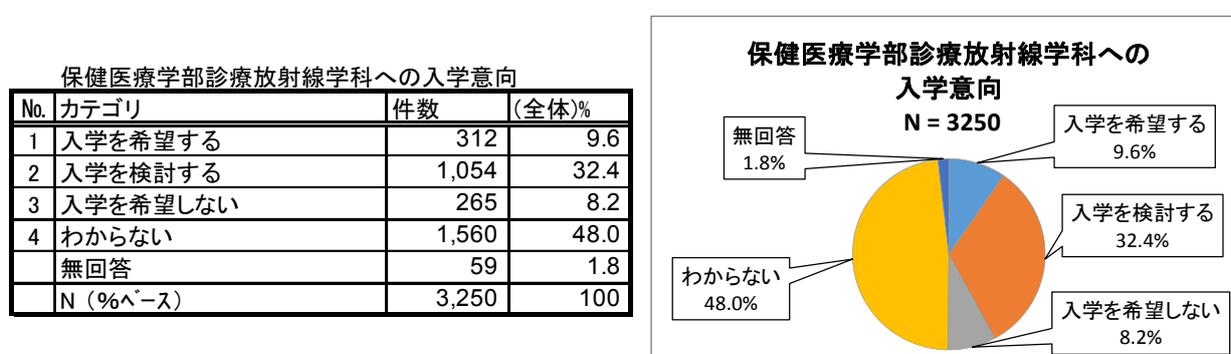
その結果は、「受験してみたい」193 人 (3.0%)、「受験先として検討したい」415 人 (6.5%) となり、合計 608 人 (9.5%) が森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向を示している。 ※「無回答」175 人 (2.7%)



(8) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への入学意向について

「(7) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について」にて、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向を示した 608 人と、「わからない」と回答した 2,642 人、合計 3,250 人に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科を受験し、合格した場合の入学意向について調査した。

その結果は、「入学を希望する」が 312 人 (9.6%)、「入学を検討する」が 1,054 人 (32.4%) となり、合計 1,366 人 (42.0%) が森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への入学意向を示している。 ※「無回答」59 人 (1.8%)



3. 調査結果のまとめ

「(7) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への受験意向について」と、「(8) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科への入学意向について」の調査結果をクロス集計した結果は下表である。

		受験意向			
		合計	受験してみたい	受験先として検討したい	わからない
上段:度数	下段:%				
入学意向	全体	3,250 100.0	193 5.9	415 12.8	2,642 81.3
	入学を希望する	312 100.0	122 39.1	66 21.2	124 39.7
	入学を検討する	1,054 100.0	45 4.3	276 26.2	733 69.5
	入学を希望しない	265 100.0	7 2.6	18 6.8	240 90.6
	わからない	1,560 100.0	17 1.1	50 3.2	1,493 95.7
	無回答	59 100.0	2 3.4	5 8.5	52 88.1

上記の表から森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科を「受験してみたい」と回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校 2 年生は 122 人となり、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の入学定員 80 人に対して約 1.52 倍の入学意向を実数にて確保したといえる。

また、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科を「受験してみたい」または「受験先として検討したい」と回答した上で、「入学を希望する」と回答した高校 2 年生は合計 188 人となり、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の入学定員 80 人に対し、2.35 倍の入学意向を示している。

以上の調査結果と、調査対象の高等学校以外からの高校生の進学も考えられることから、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の入学定員を満たす学生は十分に確保できるものとする。

調査票

森ノ宮医療大学 保健医療学部 診療放射線学科（仮称）の設置に係るアンケート調査

- 森ノ宮医療大学では、2020年4月を目処に、保健医療学部 診療放射線学科（仮称）の新規設置を計画しております。このアンケート調査は、その計画の基礎資料にするため、高校2年生のみなさんの卒業後の進路等についてお聞きするものです。ご協力をお願いいたします。
- このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
- 回答は、該当する番号を回答欄の の中へ直接記入してください。

森ノ宮医療大学において設置を計画している保健医療学部 診療放射線学科（仮称）について

■診療放射線学科（仮称）

- 入学定員（予定）：80名
- 取得可能な資格（予定）：診療放射線技師国家試験受験資格
- 卒業後の想定進路：総合病院、クリニック、医療関連企業など

*診療放射線学科(仮称)の設置は計画中であり、学科名称、入学定員、取得可能資格等については変更する場合があります。

[あなたに関することについてお答えください]

問1. あなたの学年をおたずねします。

1. 高校2年生 2. その他（ ）

【回答欄】

問2. あなたの性別についておたずねします。

1. 男子 2. 女子

問3. あなたのお住まい（現住所）についておたずねします。

1. 大阪府 3. 京都府 5. 奈良県 7. その他（ ）
2. 滋賀県 4. 兵庫県 6. 和歌山県

[卒業後の進路についてお答えください]

問4. あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から 1つだけ選んでください。

1. 大学進学
2. 短期大学進学
3. 専門学校進学
4. 就職
5. その他（ ）

1～3 を選ばれた方は 問5 へお進みください。
4、5 を選ばれた方は問11へお進みください。

問5. あなたは進学先（大学、短期大学、専門学校）で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていますか。次の中からあてはまるものを 第2位まで選んでください。回答後は問6へお進みください。

- | | | |
|------------------------|---------------------|------------------------------|
| 1. 医学・歯学・薬学関係 | 10. 理学・工学・生命科学関係 | |
| 2. 看護学関係 | 11. 情報関係 | 第1位 <input type="checkbox"/> |
| 3. リハビリテーション関係 | 12. 建築関係 | |
| 4. 保健・医療関係（選択肢1,2,3以外） | 13. 農学・獣医学関係 | 第2位 <input type="checkbox"/> |
| 5. 社会学・社会福祉学関係 | 14. 家政学関係（被服・住居） | |
| 6. 健康・スポーツ・体育学関係 | 15. 食物学・栄養学関係 | |
| 7. 文学・史学・文化・外国語関係 | 16. 教育学・保育関係 | |
| 8. 哲学・宗教学・心理学関係 | 17. 芸術学関係 | |
| 9. 経済学・経営学・法律学・商学関係 | 18. その他（具体的に ） | |

次のページへお進みください



ここからは保健医療学部 診療放射線学科（仮称）の概要（リーフレット）と、
類似する大学・学部・学科一覧をご覧いただいた上でお答えください。

問 6. あなたは森ノ宮医療大学を知っていますか。次の中から 1つだけ選んでください。

1. 森ノ宮医療大学を進学先の候補の一つとして考えている
2. 大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている
3. 大学の評判をなんとなく知っている
4. 大学の名前を聞いたことがある
5. 知らなかった

問 7. あなたは森ノ宮医療大学の保健医療学部 診療放射線学科（仮称）について、どのように考えますか。次の中から 1つだけ選んでください。

1. 大いに興味・関心がある
2. 興味・関心がある
3. すこし興味・関心がある
4. わからない
5. その他（具体的に
6. 興味・関心はない

1～3 を選ばれた方は 問 8 へお進みください。
4、5 を選ばれた方は 問 9 へお進みください。
6 を選ばれた方は 問 11 へお進みください。

問 8. 問 7 で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」「すこし興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から 第2位まで選んでください。回答後は問 9 へお進みください。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 新しく設置される学科だから 2. 学べる内容やカリキュラムが良さそう 3. 具体的な勉強ができそう 4. 診療放射線技師になりたいから 5. 興味のある分野だから 6. 国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから 7. チーム医療を学べそうだから 8. 病院や医療機関と多様な連携をしているから | <ol style="list-style-type: none"> 9. 大学のイメージが良いから 10. 就職に有利そうだから 11. 学校のレベルが自分に合っているから 12. 自宅から通えるから 13. 校舎・施設が充実していそうだから 14. 医療分野に特化した大学だから 15. その他
（具体的に： |
|---|---|

第 1 位

第 2 位

問 9. あなたは森ノ宮医療大学の保健医療学部 診療放射線学科（仮称）を受験したいと思いますか。次の中から 1つだけ選んでください。

1. 受験してみたい
2. 受験先として検討したい
3. わからない
4. 受験先として考えないと思う

1～3 を選ばれた方は 問 10 へお進みください。
4 を選ばれた方は 問 11 へお進みください。

問 10. 森ノ宮医療大学の保健医療学部 診療放射線学科（仮称）を受験し合格した場合の入学意向について、次の中から 1つだけ選んでください。

1. 入学を希望する
2. 入学を検討する
3. 入学を希望しない
4. わからない

問 11. 森ノ宮医療大学の新学科の設置計画にあたって、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

◆ご協力ありがとうございました。

類似する大学・学部・学科一覧

《森ノ宮医療大学が設置を予定している学科》
保健医療学部 診療放射線学科（仮称）

所在地	区分	大学名	学部名	学科名	入学定員	入学金	授業料	施設設備費等	諸会費	合計
大阪	私立	大阪物療大学	保健医療学部	診療放射線技術学科	80	300,000	1,580,000	0	40,000	1,920,000
京都	私立	京都医療科学大学	医療科学部	放射線技術学科	80	250,000	900,000	670,000	102,500	1,922,500
三重	私立	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部	放射線技術科学科	100	200,000	1,300,000	0	103,370	1,603,370
岡山	私立	川崎医療福祉大学	医療技術学部	診療放射線技術学科	60	300,000	1,000,000	400,000	60,000	1,760,000
岐阜	私立	岐阜医療科学大学	保健科学部	放射線技術学科	90	250,000	700,000	750,000	78,000	1,778,000
大阪	私立	森ノ宮医療大学	保健医療学部	診療放射線学科（仮称）	80 (予定)	250,000	900,000	680,000	約129,000	約1,959,000

注1) 各大学情報については、公式ウェブサイト等により調査しました。
注2) 各大学の学費については、諸会費などを含んでいない場合があるため、概算として参考にして下さい。
注3) 森ノ宮医療大学の学費等は予定であり、変更する場合があります。

計画概要

2020年4月

(仮称・構想中)

診療放射線学科

Department of Radiological Sciences

誕生予定 入学定員80名(予定)

※構想中であるため、今後、名称・内容・定員などは変更する場合があります。

関西最大級の医療系総合大学で、
チーム医療に欠かせない
放射線診療のスペシャリスト、
「診療放射線技師」へ

想いのすべてを、医療の力に。



森ノ宮医療大学

2020年4月、7番目の学科 「診療放射線学科」を開設(仮称・構想中)。

チーム医療の学びがさらに拡充します。



「関西最大級の医療系総合大学」森ノ宮医療大学だからできる「医療教育」

「チーム医療」の学び

7学科が連携する専門職間連携教育
-IPE(Interprofessional Education)-

チーム医療では、多職種が集まる場で他の専門スタッフの話が理解でき、なおかつ自らの専門分野で何ができるかを提案する力が求められます。本学では医療系総合大学ならではの環境を活かし、学科混成のグループを編成し、症例(病気やケガの例)をテーマに「ケースカンファレンス(症例検討会)」を行います。他者の意見を聞き、自らの考えを明確に伝える力を養うとともに、チーム内での自身の役割を理解しながら、患者さんへの最善のアプローチ方法について考えていきます。



豊富な実習機関

大学全体で、570施設の実習先を確保(2018年4月現在)

地域の基幹病院と強固な連携体制を築き、大阪府をはじめとした関西エリアを中心に数多くの実習先を確保。多様な分野での実習を可能とし、さまざまなフィールドで活躍できる医療人を育成します。診療放射線学科(仮称)では、2018年7月時点で大阪府・兵庫県・京都府・奈良県に計37施設を確保しています。



大阪急性期・総合医療センター(実習先の一例)

経験豊かな教員陣

「臨床力」と「研究力」に優れた医療分野のプロフェッショナル

医療現場の第一線で活躍してきた教員や最先端の研究で医療界をリードする教員が多数在籍。教科書だけでは決して身につかない実践重視の精度の高い技術指導に加えて、卒業研究やゼミでも、教員がこれまで培ってきた技術・知識を学生へ余すことなく伝えます。



「診断」から「治療」までを担う、
放射線診療のスペシャリストを養成

診療放射線学科 (仮称・構想中)

2020年4月開設予定

[入学定員] 80名(予定)
[学位] 学士(診療放射線学)
[取得可能な資格] 診療放射線技師国家試験受験資格(予定)
※構想中であるため、今後、名称・内容・定員などは変更する場合があります。

診療放射線技師とは

■ 放射線を扱う専門家

医師の指示の下に、放射線を人体に対して照射するのが診療放射線技師です。X線CT、X線TV、PET、SPECT、MRI、USなどの放射線機器で人体を撮影し、診断に必要な画像情報を医師へ提供することが主な仕事。また放射線を照射してがん治療を行う専門職でもあります。医療機器を扱う技術、放射線の取り扱いに関する法令の理解と遵守など、高度な専門性を持つスペシャリストです。

■ チーム医療に欠かせない存在

診療放射線技師が提供する放射線画像や1次読影レポートが、病気の診断や治療方針を決定するための重要な情報になるため、チーム医療において大きな役割を担います。他の医療職を理解していることや医療者間でのコミュニケーション力が求められます。

■ 「安全管理」で高度医療を支える

放射線は適切に扱うことによって患者さんの診断や治療に効果を発揮します。放射線の取扱いは法律により厳重な管理が義務づけられているため、患者さんだけでなく医療者の被ばく線量や放射線の管理も大切な業務のひとつです。

学科の特色

最新の機器を備えた充実した環境で、チーム医療を支える診療放射線技師をめざすことができます。

● 学生全員が「診療放射線技師」をめざすカリキュラム

診療放射線技師国家試験受験資格を取得するために必要なすべての科目を「必修科目」として配置し、全学生が卒業時に国家試験受験資格を得られます。単に技術者を育てるのではなく、医療現場でチーム医療の一員として高度化・複雑化した放射線機器のニーズに対応し、豊かな人間性と創造性に基づいた科学的思考力と適切な判断力を有する医療人を育てます。

● コミュニケーション能力を持ち、チームの一員として協働できる医療人をめざす

診療放射線技師から医師へ提供される画像が治療方針の決定につながるため、チーム医療において重要な役割を担います。本学では、全学科の学生が集い、ひとつの症例に対してそれぞれの分野の立場から治療やケアについて検討するグループワーク(ケースカンファレンス)を行うなど、実践的にチーム医療を身につけられるカリキュラムを導入しています。



ケースカンファレンス

多彩に広がる活躍のフィールド
一般的に病院等の医療機関への就職が多いですが、そのほかにも独立行政法人や研究機関、医療機器メーカーなどで幅広く活躍することができます。



女性技師へのニーズが拡大

近年、女性特有の病気である“乳がん”の早期発見に、診療放射線技師による「マンモグラフィー検診」が有効とされ、検診率が増加傾向にあります。女性が安心して検診を受けられるよう、女性の診療放射線技師が必要とされています。しかし、女性の診療放射線技師が少ないという背景もあり、需要が高まっています。

CAMPUS 高度な医療を学ぶために設計された、機能的なキャンパス

診療放射線学科(仮称)の学舎となる新棟を建設予定!

診療放射線学科(仮称)の設置に合わせて、本学5つ目となる棟を新たに建設予定です。
各実習室や講義室はもちろんのこと、カフェテリアやウッドデッキなど、
キャンパスライフを彩るスペースの数々も設ける予定となっていますので、ぜひご期待ください。



新棟外観

ウッドデッキ

カフェテリア

※イラストはイメージです



新棟建設予定地

グリーンスクエア

ウエストポート

イーストポート

メディカフェ

チャンネルポート

全館
「FREE
Wi-Fi」
完備

チャンネルポート/メディカル・アイ(図書館)

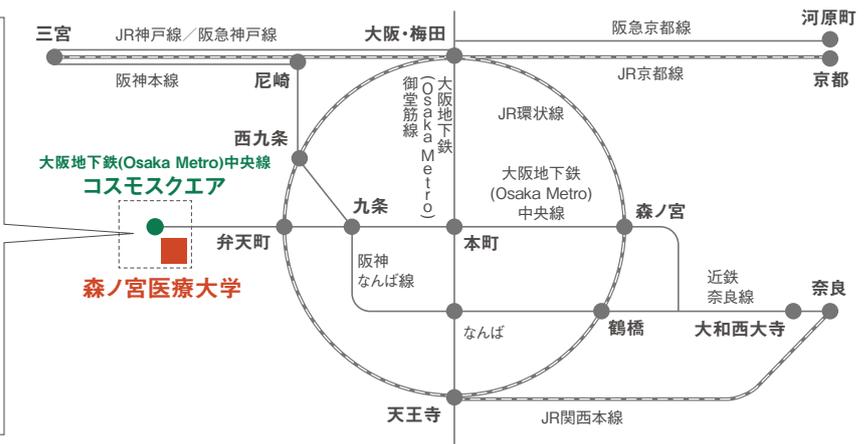
メディカフェ(学生食堂)

イーストポート/学生ホール

実験室

グリーンスクエア
(複合型スポーツ施設)

ACCESS 梅田・なんば・天王寺エリアから約30分の快適アクセス



大阪地下鉄(Osaka Metro)中央線
「コスモスクエア」駅2番出口より
徒歩1分(南へ約90m)

主要ターミナル駅
「大阪(梅田)」「なんば」「天王寺」から
30分以内

「神戸(三宮)」「京都」「奈良」
各方面から**約60分**

想いのすべてを、医療の力に。
森ノ宮医療大学

- [保健医療学部]
- 看護学科
- 理学療法学科
- 作業療法学科
- 臨床検査学科
- 臨床工学科
- 鍼灸学科

- [大学院] 保健医療学 研究科
- 保健医療学専攻 修士課程
- 医療科学専攻 博士後期課程
- [専攻科] 助産学専攻科 [1年課程]



資料請求・お問い合わせは **0120-68-8908**

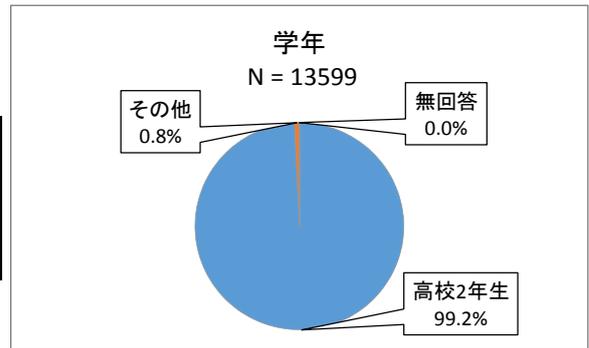
〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16
[TEL] 06-6616-6911 [E-mail] univ@morinomiya-u.ac.jp

2018年9月発行

単純集計表

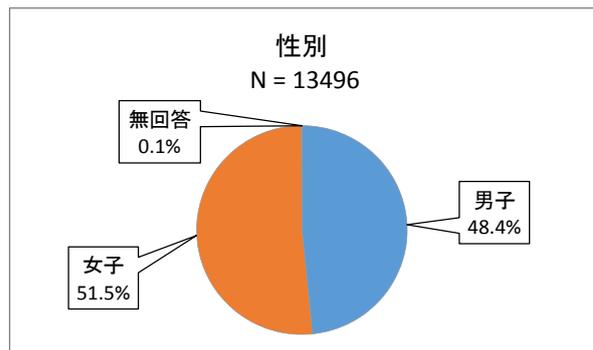
学年

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	高校2年生	13,496	99.2
2	その他	103	0.8
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	13,599	100



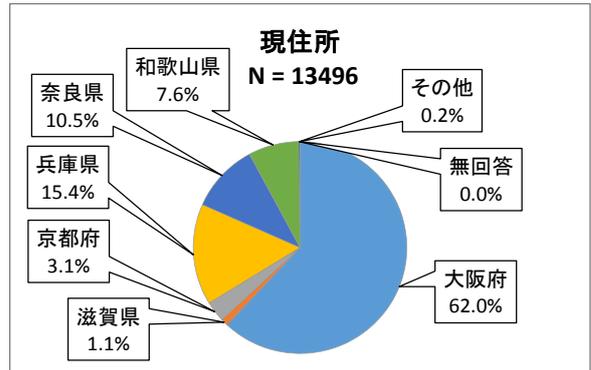
性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男子	6,532	48.4
2	女子	6,955	51.5
	無回答	9	0.1
	N (%ベース)	13,496	100



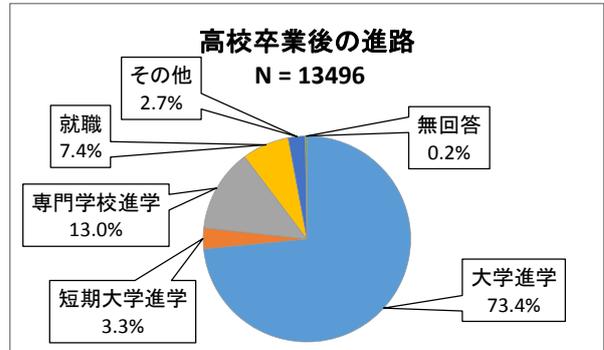
現住所

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大阪府	8,367	62.0
2	滋賀県	146	1.1
3	京都府	425	3.1
4	兵庫県	2,082	15.4
5	奈良県	1,418	10.5
6	和歌山県	1,029	7.6
7	その他	25	0.2
	無回答	4	0.0
	N (%ベース)	13,496	100



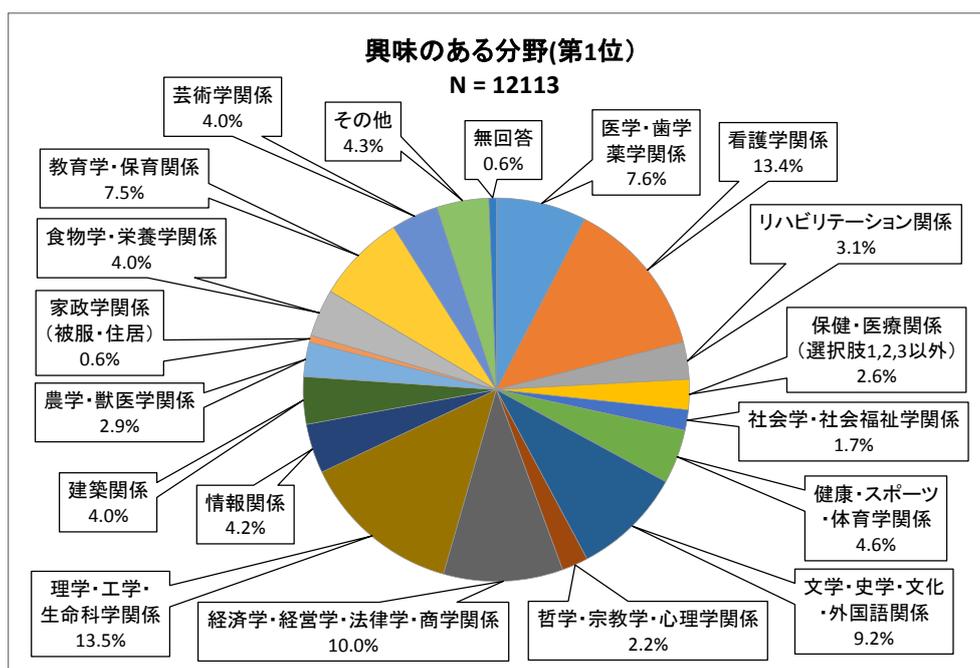
卒業後の進路

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	9,911	73.4
2	短期大学進学	443	3.3
3	専門学校進学	1,759	13.0
4	就職	992	7.4
5	その他	358	2.7
	無回答	33	0.2
	N (%ベース)	13,496	100



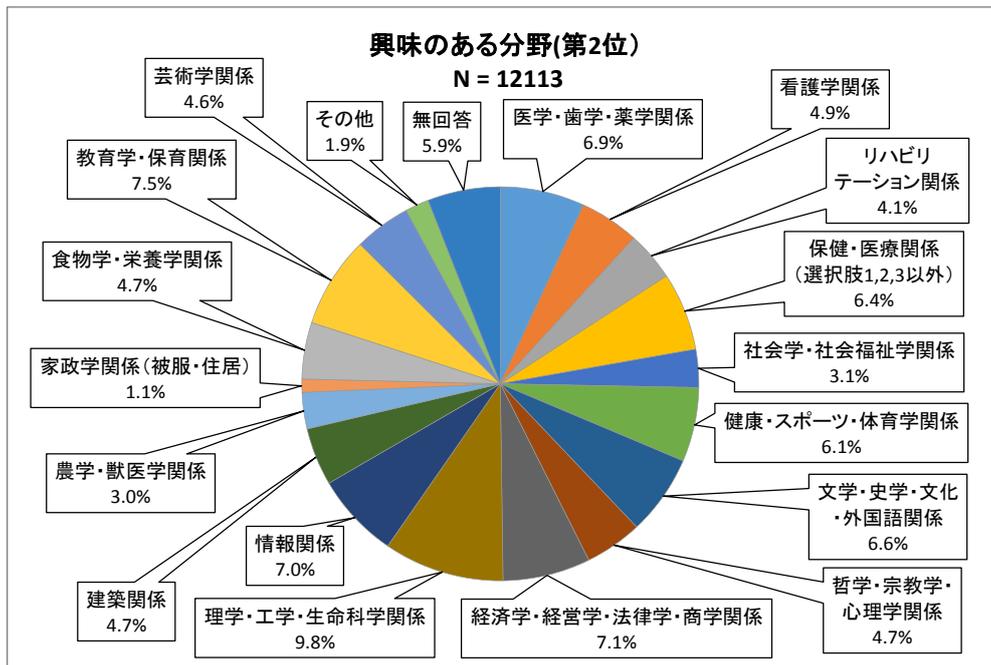
興味のある分野(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医学・歯学・薬学関係	917	7.6
2	看護学関係	1,628	13.4
3	リハビリテーション関係	379	3.1
4	保健・医療関係(選択肢1,2,3以外)	309	2.6
5	社会学・社会福祉学関係	209	1.7
6	健康・スポーツ・体育学関係	552	4.6
7	文学・史学・文化・外国語関係	1,120	9.2
8	哲学・宗教学・心理学関係	267	2.2
9	経済学・経営学・法律学・商学関係	1,211	10.0
10	理学・工学・生命科学関係	1,636	13.5
11	情報関係	505	4.2
12	建築関係	484	4.0
13	農学・獣医学関係	352	2.9
14	家政学関係(被服・住居)	71	0.6
15	食物学・栄養学関係	483	4.0
16	教育学・保育関係	910	7.5
17	芸術学関係	479	4.0
18	その他	526	4.3
	無回答	75	0.6
	N (%へ入)	12,113	100



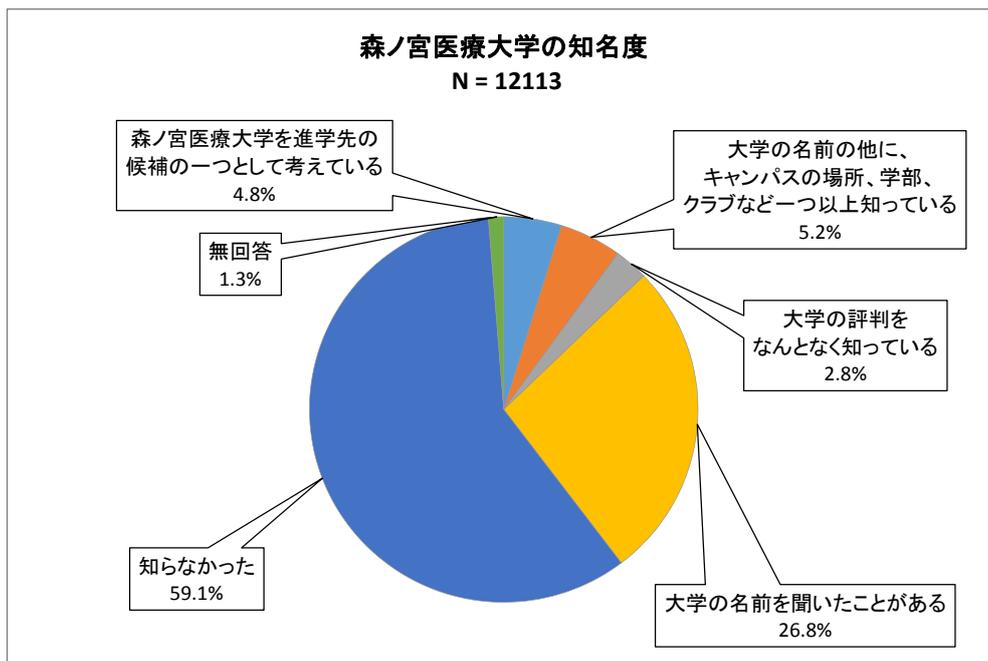
興味のある分野(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	医学・歯学・薬学関係	833	6.9
2	看護学関係	589	4.9
3	リハビリテーション関係	491	4.1
4	保健・医療関係(選択肢1,2,3以外)	774	6.4
5	社会学・社会福祉学関係	379	3.1
6	健康・スポーツ・体育学関係	737	6.1
7	文学・史学・文化・外国語関係	795	6.6
8	哲学・宗教学・心理学関係	568	4.7
9	経済学・経営学・法律学・商学関係	865	7.1
10	理学・工学・生命科学関係	1,189	9.8
11	情報関係	845	7.0
12	建築関係	573	4.7
13	農学・獣医学関係	362	3.0
14	家政学関係(被服・住居)	131	1.1
15	食物学・栄養学関係	564	4.7
16	教育学・保育関係	907	7.5
17	芸術学関係	558	4.6
18	その他	234	1.9
	無回答	719	5.9
	N (%ベース)	12,113	100



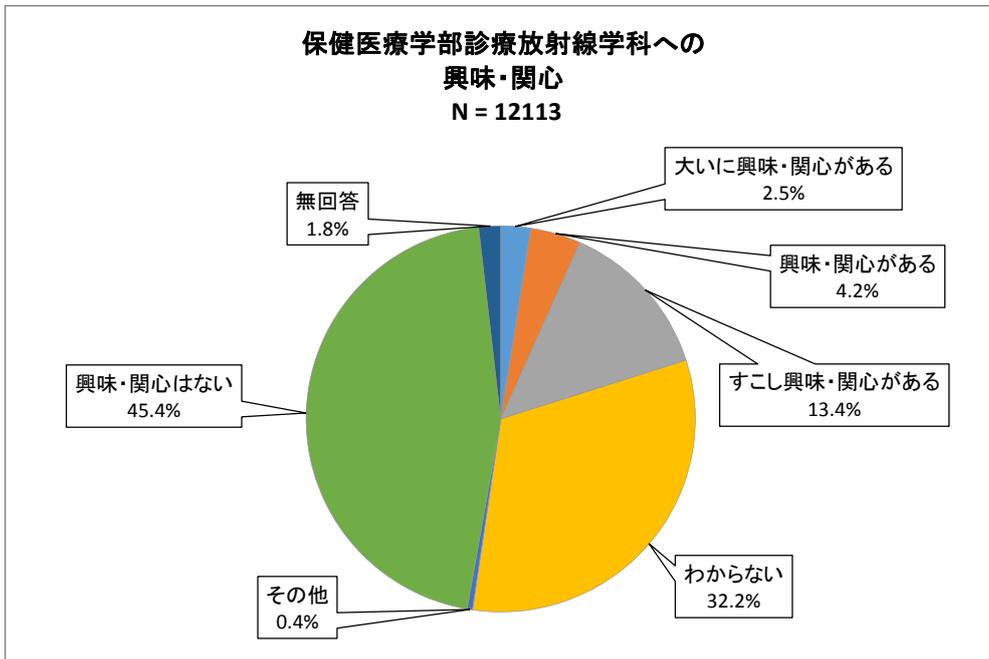
森ノ宮医療大学の知名度

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	森ノ宮医療大学を進学先の候補の一つとして考えている	584	4.8
2	大学の名前の他に、キャンパスの場所、学部、クラブなど一つ以上知っている	626	5.2
3	大学の評判をなんとなく知っている	341	2.8
4	大学の名前を聞いたことがある	3,252	26.8
5	知らなかった	7,157	59.1
	無回答	153	1.3
	N (%ベース)	12,113	100



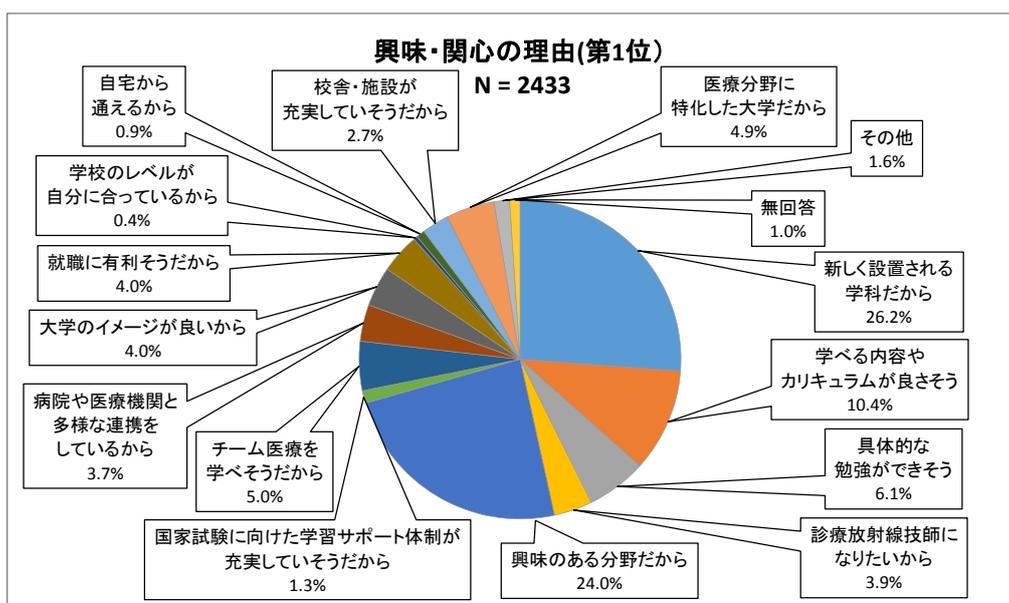
保健医療学部診療放射線学科への興味・関心

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大いに興味・関心がある	299	2.5
2	興味・関心がある	507	4.2
3	すこし興味・関心がある	1,627	13.4
4	わからない	3,905	32.2
5	その他	54	0.4
6	興味・関心はない	5,500	45.4
	無回答	221	1.8
	N (%ベース)	12,113	100



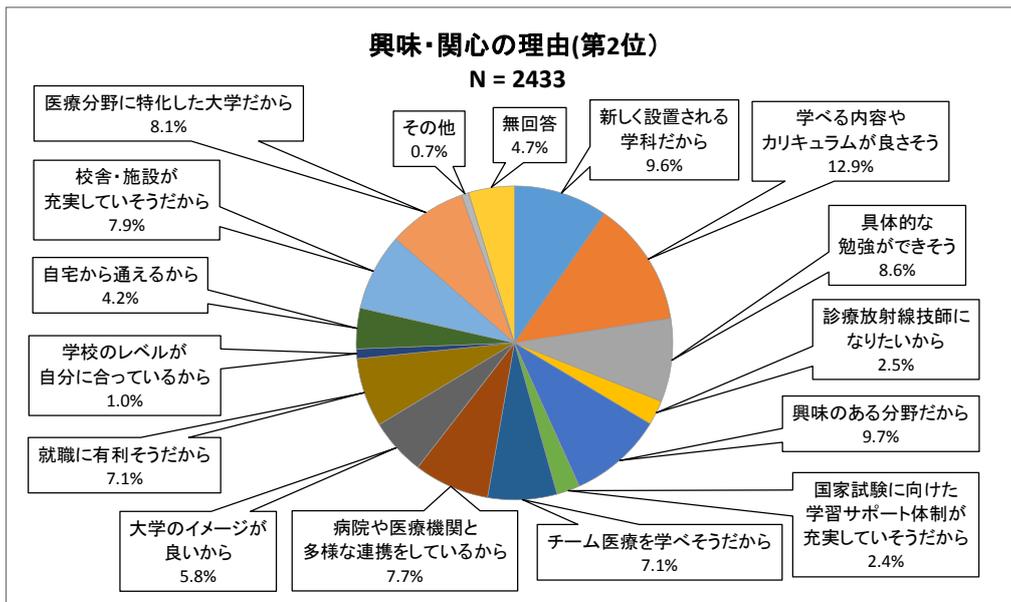
興味・関心の理由(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される学科だから	637	26.2
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	254	10.4
3	具体的な勉強ができそう	148	6.1
4	診療放射線技師になりたいから	94	3.9
5	興味のある分野だから	584	24.0
6	国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから	31	1.3
7	チーム医療を学べそうだから	121	5.0
8	病院や医療機関と多様な連携をしているから	90	3.7
9	大学のイメージが良いから	98	4.0
10	就職に有利そうだから	98	4.0
11	学校のレベルが自分に合っているから	9	0.4
12	自宅から通えるから	21	0.9
13	校舎・施設が充実していそうだから	66	2.7
14	医療分野に特化した大学だから	119	4.9
15	その他	38	1.6
	無回答	25	1.0
	N (%ベース)	2,433	100



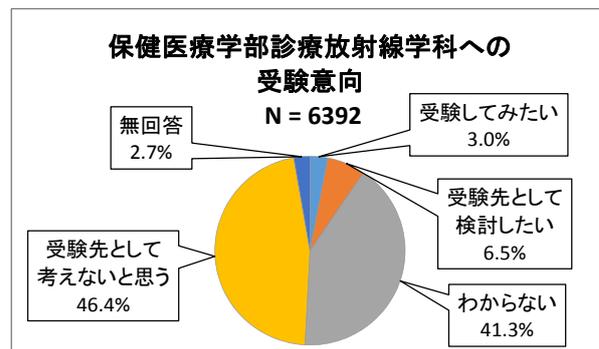
興味・関心の理由(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	新しく設置される学科だから	234	9.6
2	学べる内容やカリキュラムが良さそう	313	12.9
3	具体的な勉強ができそう	209	8.6
4	診療放射線技師になりたいから	62	2.5
5	興味のある分野だから	235	9.7
6	国家試験に向けた学習サポート体制が充実していそうだから	58	2.4
7	チーム医療を学べそうだから	172	7.1
8	病院や医療機関と多様な連携をしているから	188	7.7
9	大学のイメージが良いから	142	5.8
10	就職に有利そうだから	173	7.1
11	学校のレベルが自分に合っているから	24	1.0
12	自宅から通えるから	102	4.2
13	校舎・施設が充実していそうだから	193	7.9
14	医療分野に特化した大学だから	196	8.1
15	その他	18	0.7
	無回答	114	4.7
	N (%ベース)	2,433	100



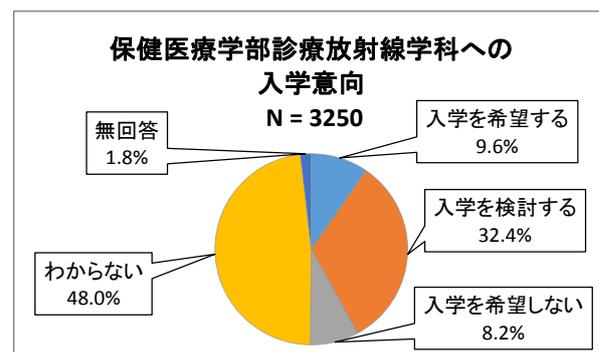
保健医療学部診療放射線学科への受験意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受験してみたい	193	3.0
2	受験先として検討したい	415	6.5
3	わからない	2,642	41.3
4	受験先として考えないと思う	2,967	46.4
	無回答	175	2.7
	N (%ベース)	6,392	100



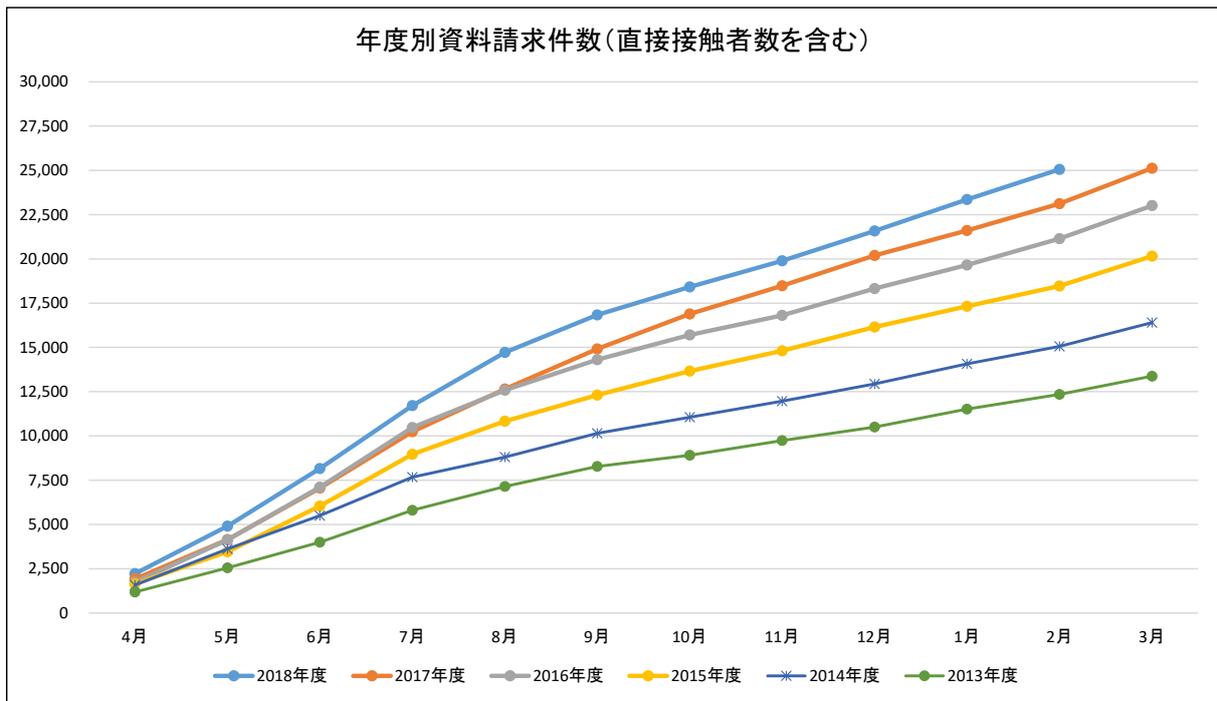
保健医療学部診療放射線学科への入学意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	入学を希望する	312	9.6
2	入学を検討する	1,054	32.4
3	入学を希望しない	265	8.2
4	わからない	1,560	48.0
	無回答	59	1.8
	N (%ベース)	3,250	100



	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月別累積請求数 (件)	2018年度	2,223	4,902	8,161	11,709	14,715	16,830	18,420	19,891	21,571	23,352	25,056		25,056
	2017年度	1,926	4,143	7,048	10,238	12,653	14,920	16,890	18,478	20,191	21,602	23,114	25,119	25,119
	2016年度	1,741	4,130	7,105	10,478	12,578	14,307	15,704	16,816	18,324	19,659	21,147	23,005	23,005
	2015年度	1,649	3,459	6,044	8,961	10,837	12,311	13,657	14,814	16,149	17,329	18,470	20,153	20,153
	2014年度	1,579	3,619	5,502	7,668	8,808	10,143	11,058	11,960	12,935	14,065	15,057	16,401	16,401
	2013年度	1,186	2,545	3,999	5,802	7,150	8,277	8,911	9,741	10,507	11,517	12,348	13,378	13,378

※2018年度の数字は、2019年2月末日現在のもの



資料9

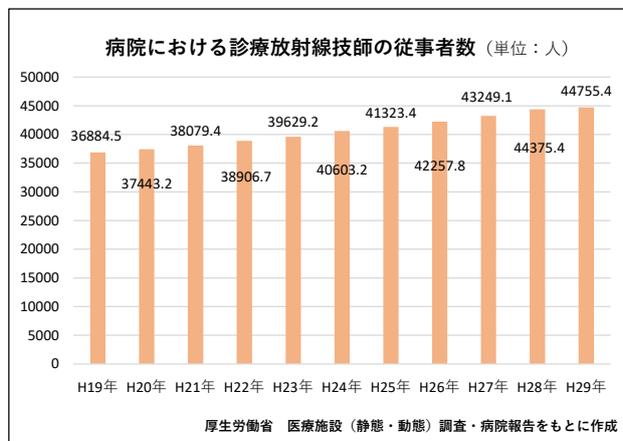
病院における診療放射線技師の従事者数（常勤換算）

平成31年3月1日現在

(単位：人)

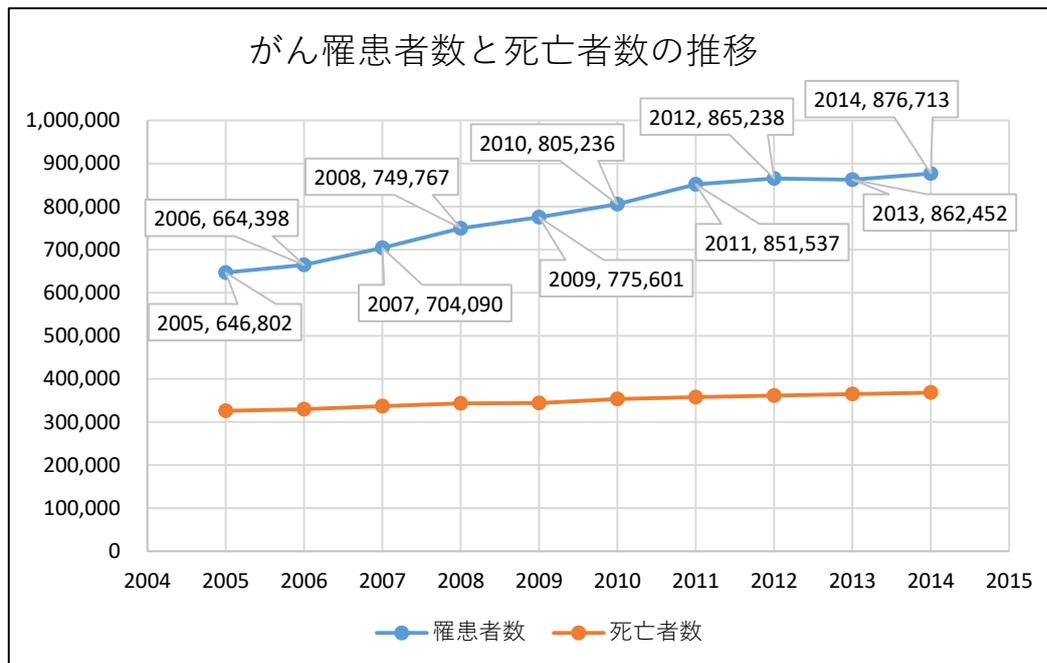
	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
診療放射線技師	36884.5	37443.2	38079.4	38906.7	39629.2	40603.2	41323.4	42257.8	43249.1	44375.4	44755.4

厚生労働省 医療施設（静態・動態）調査・病院報告をもとに作成



がん罹患患者数と死亡者数の推移

	罹患患者数	死亡者数
2005	646,802	325,941
2006	664,398	329,314
2007	704,090	336,468
2008	749,767	342,963
2009	775,601	344,105
2010	805,236	353,499
2011	851,537	357,305
2012	865,238	360,963
2013	862,452	364,872
2014	876,713	368,103



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

近畿の診療放射線技師養成校一覧

(平成30年5月29日現在)

全国診療放射線技師教育施設協議会添付資料を基に作成

番号	都道府県	設置者	種別	名称	郵便番号	住所	定員
1	三重県	私立	大学	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 放射線技術学科	510-0293	三重県鈴鹿市岸岡町1001-1	100名
2	京都府	私立	大学	京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科	622-0041	京都府南丹市園部町小山東町今北1-3	80名
3	大阪府	国立	大学	大阪大学医学部保健学科 診療放射線技術科学専攻	565-0871	大阪府吹田市山田丘1-7	40名
4	大阪府	私立	専門	大阪行岡医療専門学校長柄校 放射線科	531-0061	大阪府大阪市北区長柄西1丁目7番53号	50名
5	大阪府	私立	専門	清恵会第二医療専門学校	590-0026	大阪府堺市堺区向陵西町4丁目5番9号	60名
6	大阪府	私立	大学	大阪物療大学 保健医療学部 診療放射線技術学科	593-8328	大阪府堺市西区鳳北町3-33	80名
7	兵庫県	私立	専門	神戸総合医療専門学校 診療放射線科	654-0142	兵庫県神戸市須磨区友が丘7-1-21	80名

近畿2府4県の養成校 7校 (大学4校、専門学校3校)

うち、大阪府の養成校 4校 (大学2校、専門学校2校)

森ノ宮医療大学における既設学科の就職状況

(平成30年5月1日現在)

(臨床検査学科、作業療法学科、臨床工学科は完成年度を迎えていないため就職状況に関するデータはございません。)

学部	学科	平成27年度					平成28年度					平成29年度				
		卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者数	就職率 (%)	求人社数	卒業者数 (人)	就職 希望者数	就職者数	就職率 (%)	求人社数
保健医療 学部	鍼灸学科	52	39	39	100	277	54	38	38	100	156	46	28	28	100	246
	理学療法学科	59	46	46	100	714	52	45	45	100	808	56	47	47	100	705
	看護学科	81	72	72	100	428	89	82	82	100	369	87	83	83	100	450
保健医療学部計		192	157	157	100	1419	195	165	165	100	1533	192	158	158	100	1401
合 計		192	157	157	100	1419	195	165	165	100	1533	192	158	158	100	1401

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の
卒業生に対する病院・医療系企業等の採用意向に関する
アンケート調査報告

2019年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の卒業生に対する 病院・医療系企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

2020年4月に予定している森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の開設に向け、森ノ宮医療大学卒業生の採用実績のある、または卒業生の就職が見込まれる病院・医療系企業等の採用担当者にアンケートを実施し、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の卒業生に対する病院・医療系企業等の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

森ノ宮医療大学卒業生の採用実績のある、または卒業生の就職が見込まれる病院・医療系企業等 3,680 施設の採用担当者にアンケートを実施し、611 件の有効回答があった。

(3) 調査方法

森ノ宮医療大学卒業生の採用実績のある、または卒業生の就職が見込まれる病院・医療系企業等 3,680 施設の採用担当者にアンケート用紙及び森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の概要を示したリーフレットを送付し、アンケートを実施した。回答については、日本開発構想研究所へ病院・医療系企業等から直接郵送ならびに一部、直接訪問により回収。

集計結果より、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科（仮称）の卒業生に対する採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 30 年 11 月～平成 31 年 3 月

(5) 有効回収率等

配布数 : 3,680 施設

有効回答数 : 611 件

有効回収率 : 約 16.6%

※森ノ宮医療大学にて設置を構想している保健医療学部診療放射線学科は仮称であるが、その旨の表示を本文中では省略した。

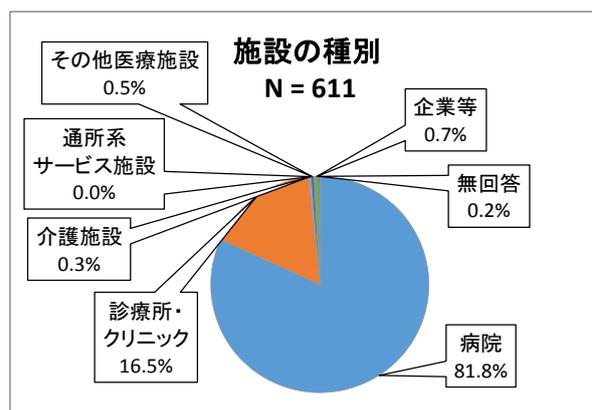
2. 調査結果

(1) 施設の種別について

施設の種別について調査した結果、回答のあった施設 611 件のうち、「病院」が 500 件 (81.8%) と最も多く、次いで「診療所・クリニック」101 件 (16.5%)、「企業等」4 件 (0.7%)、「その他医療施設」3 件 (0.5%)、「介護施設」2 件 (0.3%) の順になっている。

※「無回答」1 件 (0.2%)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	500	81.8
2	診療所・クリニック	101	16.5
3	介護施設	2	0.3
4	通所系サービス施設	0	0.0
5	その他医療施設	3	0.5
6	企業等	4	0.7
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	611	100



(2) 施設の所在地について

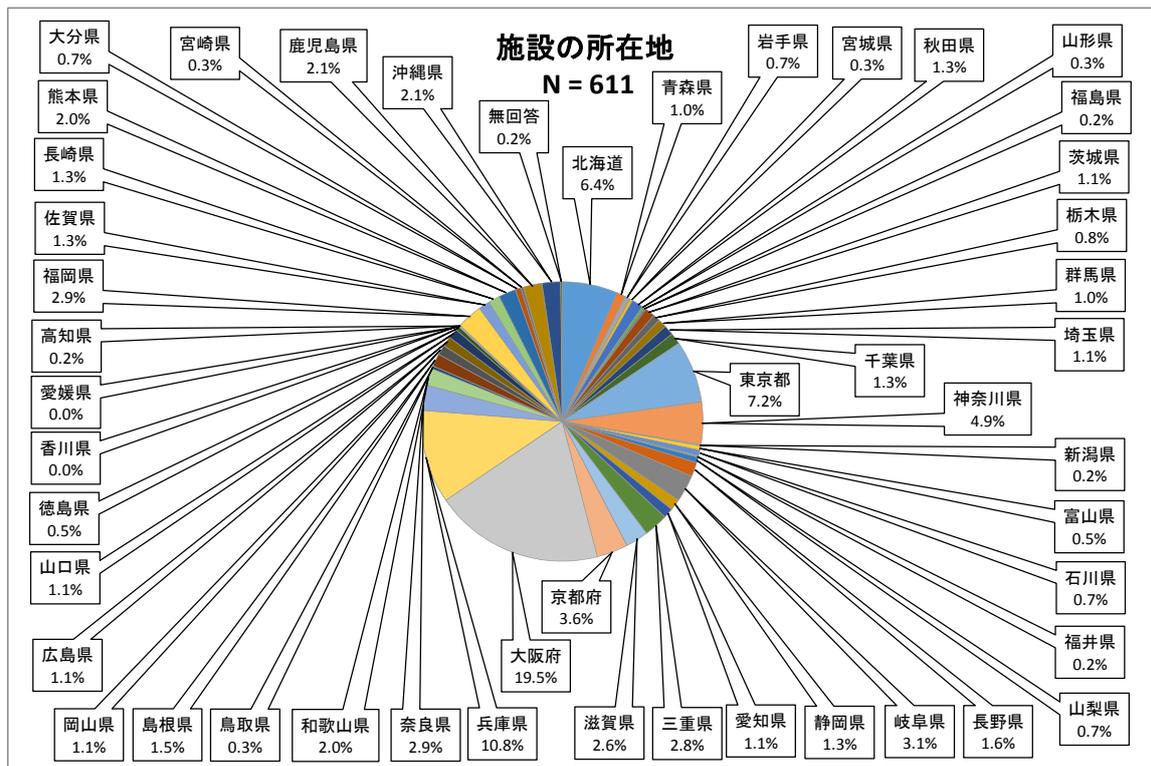
施設の所在地について調査した結果、回答のあった施設 611 件のうち、10 件以上の回答を得たものを挙げると、「大阪府」が 119 件（19.5%）と最も多く、次いで「兵庫県」66 件（10.8%）、「東京都」44 件（7.2%）、「北海道」39 件（6.4%）、「神奈川県」30 件（4.9%）、「京都府」22 件（3.6%）、「岐阜県」19 件（3.1%）、「奈良県」18 件（2.9%）、「福岡県」18 件（2.9%）、「三重県」17 件（2.8%）、「滋賀県」16 件（2.6%）、「鹿児島県」13 件（2.1%）、「沖縄県」13 件（2.1%）、「和歌山県」12 件（2.0%）、「熊本県」12 件（2.0%）、「長野県」10 件（1.6%）の順になっている。 ※「無回答」1 件（0.2%）

施設の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	北海道	39	6.4
2	青森県	6	1.0
3	岩手県	4	0.7
4	宮城県	2	0.3
5	秋田県	8	1.3
6	山形県	2	0.3
7	福島県	1	0.2
8	茨城県	7	1.1
9	栃木県	5	0.8
10	群馬県	6	1.0
11	埼玉県	7	1.1
12	千葉県	8	1.3
13	東京都	44	7.2
14	神奈川県	30	4.9
15	新潟県	1	0.2
16	富山県	3	0.5
17	石川県	4	0.7

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
18	福井県	1	0.2
19	山梨県	4	0.7
20	長野県	10	1.6
21	岐阜県	19	3.1
22	静岡県	8	1.3
23	愛知県	7	1.1
24	三重県	17	2.8
25	滋賀県	16	2.6
26	京都府	22	3.6
27	大阪府	119	19.5
28	兵庫県	66	10.8
29	奈良県	18	2.9
30	和歌山県	12	2.0
31	鳥取県	2	0.3
32	島根県	9	1.5
33	岡山県	7	1.1

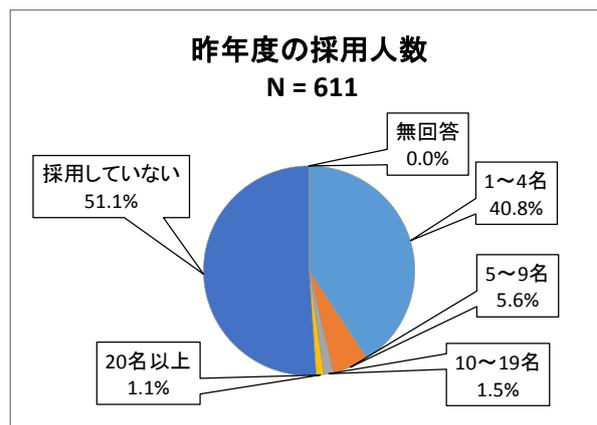
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
34	広島県	7	1.1
35	山口県	7	1.1
36	徳島県	3	0.5
37	香川県	0	0.0
38	愛媛県	0	0.0
39	高知県	1	0.2
40	福岡県	18	2.9
41	佐賀県	8	1.3
42	長崎県	8	1.3
43	熊本県	12	2.0
44	大分県	4	0.7
45	宮崎県	2	0.3
46	鹿児島県	13	2.1
47	沖縄県	13	2.1
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	611	100.0



(3) 昨年度の採用人数（診療放射線技師）について

昨年度の採用人数（診療放射線技師）について調査した結果、回答のあった施設 611 件のうち、「採用していない」が 312 件（51.1%）と最も多く、次いで「1~4 名」249 件（40.8%）、「5~9 名」34 件（5.6%）、「10~19 名」9 件（1.5%）、「20 名以上」7 件（1.1%）の順になっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1~4名	249	40.8
2	5~9名	34	5.6
3	10~19名	9	1.5
4	20名以上	7	1.1
5	採用していない	312	51.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	611	100



(4) 診療放射線技師の配置状況について

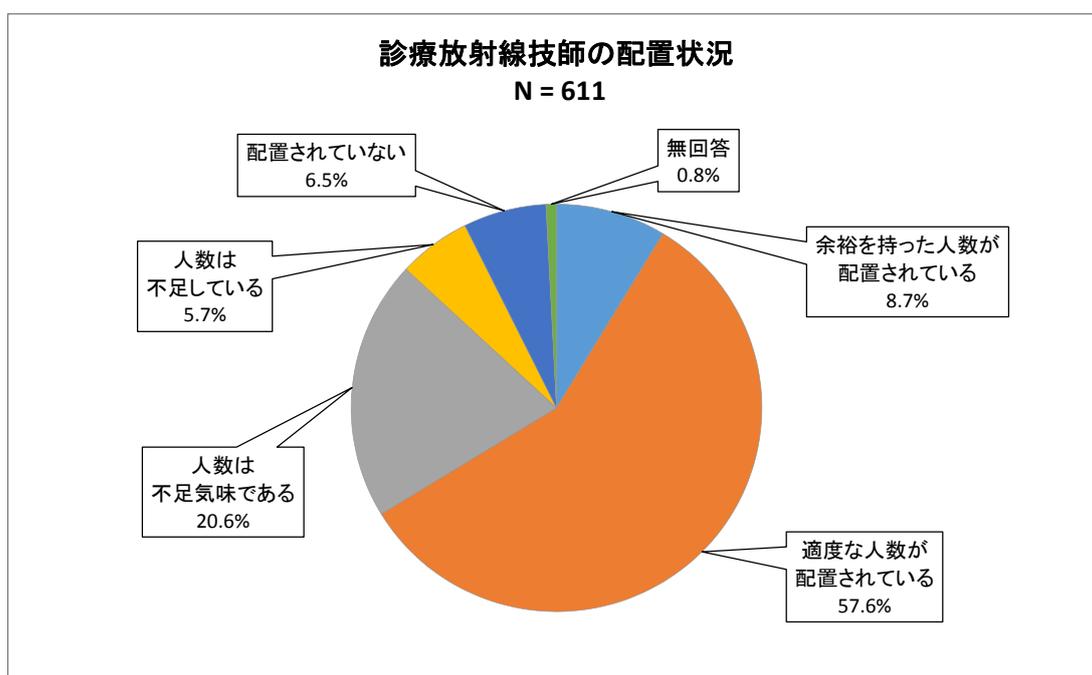
現在の診療放射線技師の配置状況について調査した結果、回答のあった施設 611 件のうち、「適度な人数が配置されている」が 352 件 (57.6%) と最も多く、次いで「人数は不足気味である」126 件 (20.6%)、「余裕をもった人数が配置されている」53 件 (8.7%)、「配置されていない」40 件 (6.5%)、「人数は不足している」35 件 (5.7%) の順になっている。

※「無回答」5 件 (0.8%)

「余裕をもった人数が配置されている」、「適度な人数が配置されている」、「人数は不足気味である」、「人数は不足している」と回答した施設数を合算すると 566 施設となり、この 566 施設には診療放射線技師が配置されていることがわかる。

診療放射線技師の配置状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	余裕を持った人数が配置されている	53	8.7
2	適度な人数が配置されている	352	57.6
3	人数は不足気味である	126	20.6
4	人数は不足している	35	5.7
5	配置されていない	40	6.5
	無回答	5	0.8
	N (%ベース)	611	100



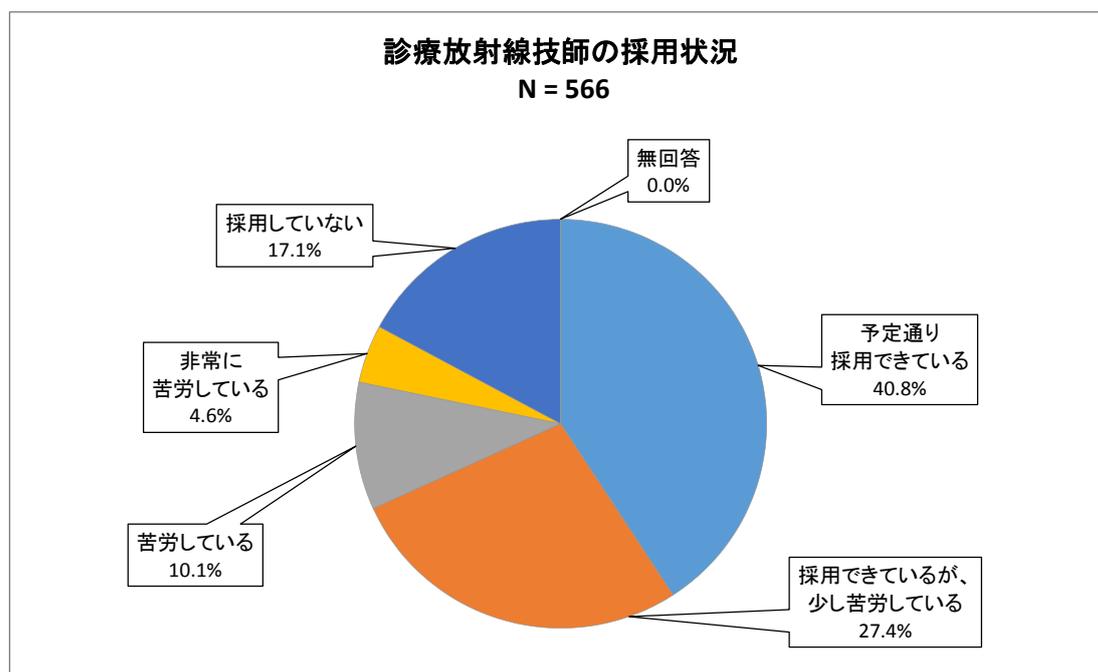
(5) 診療放射線技師の採用状況について

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、現在の採用状況（診療放射線技師）について調査した。

その結果、「予定通り採用できている」が 231 件（40.8%）と最も多く、次いで「採用できているが、少し苦勞している」155 件（27.4%）、「採用していない」97 件（17.1%）、「苦勞している」57 件（10.1%）、「非常に苦勞している」26 件（4.6%）の順になっている。

診療放射線技師の採用状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	予定通り採用できている	231	40.8
2	採用できているが、少し苦勞している	155	27.4
3	苦勞している	57	10.1
4	非常に苦勞している	26	4.6
5	採用していない	97	17.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	566	100



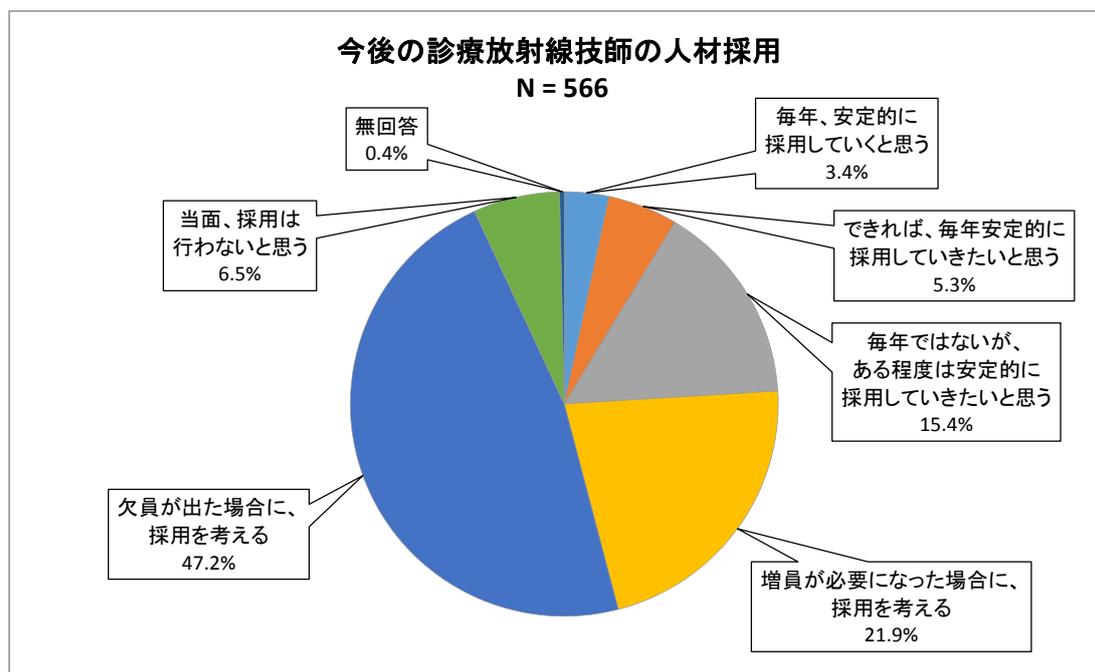
(6) 今後の診療放射線技師の人材採用について

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、今後の採用方針について調査した。

その結果、「欠員が出た場合に、採用を考える」が 267 件 (47.2%) と最も多く、次いで「増員が必要になった場合に、採用を考える」124 件 (21.9%)、「毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う」87 件 (15.4%)、「当面、採用は行わないと思う」37 件 (6.5%)、「できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う」30 件 (5.3%)、「毎年、安定的に採用していくと思う」19 件 (3.4%) の順になっている。 ※「無回答」2 件 (0.4%)

今後の診療放射線技師の人材採用

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	19	3.4
2	できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う	30	5.3
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う	87	15.4
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	124	21.9
5	欠員が出た場合に、採用を考える	267	47.2
6	当面、採用は行わないと思う	37	6.5
	無回答	2	0.4
	N (%ベース)	566	100



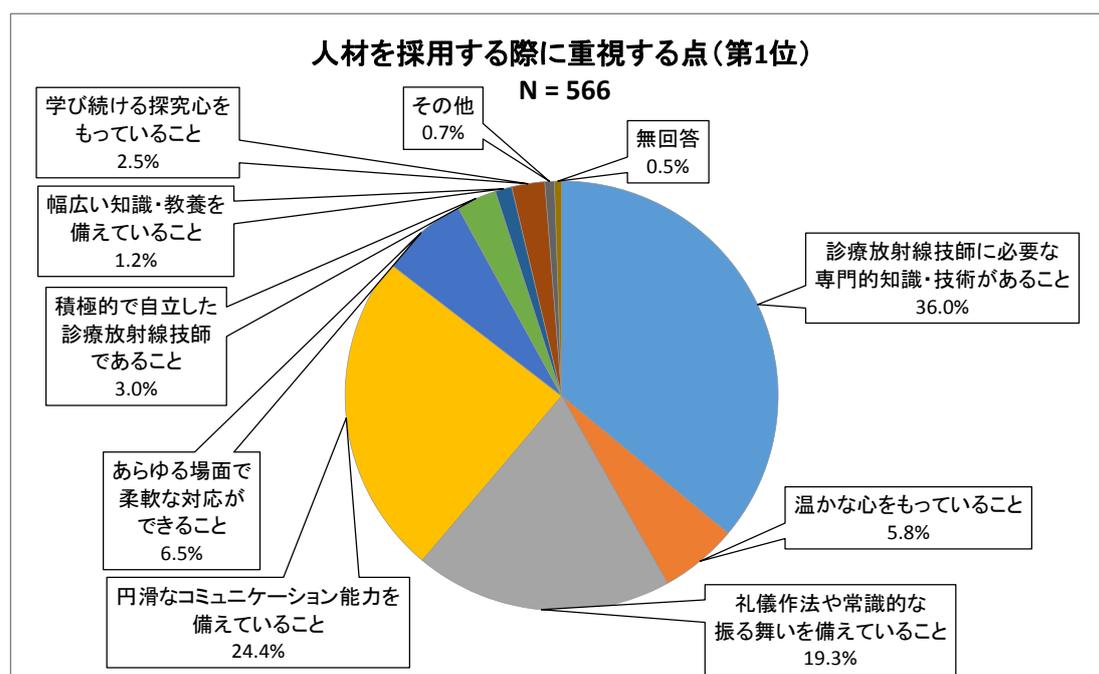
(7) 人材を採用する際に重視する点について

7-1 人材を採用する際に重視する点（第1位）

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、人材を採用する際に重視する点（第1位）について調査した。

その結果は、「診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること」が 204 件（36.0%）と最も多く、次いで「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」138 件（24.4%）、「礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること」109 件（19.3%）、「あらゆる場面で柔軟な対応ができること」37 件（6.5%）、「温かな心をもっていること」33 件（5.8%）、「積極的で自立した診療放射線技師であること」17 件（3.0%）、「学び続ける探究心をもっていること」14 件（2.5%）、「幅広い知識・教養を備えていること」7 件（1.2%）、「その他」4 件（0.7%）の順になっている。 ※「無回答」3 件（0.5%）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること	204	36.0
2	温かな心をもっていること	33	5.8
3	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	109	19.3
4	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	138	24.4
5	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	37	6.5
6	積極的で自立した診療放射線技師であること	17	3.0
7	幅広い知識・教養を備えていること	7	1.2
8	学び続ける探究心をもっていること	14	2.5
9	その他	4	0.7
	無回答	3	0.5
	N (%ベース)	566	100



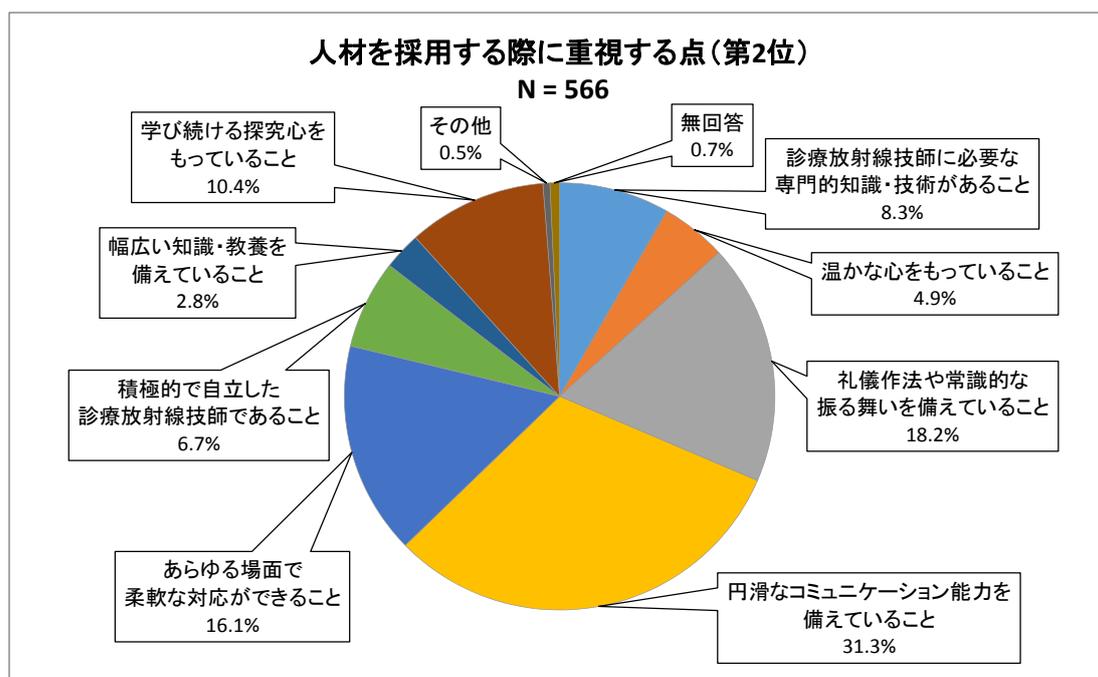
7-2 人材を採用する際に重視する点（第2位）

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、人材を採用する際に重視する点（第2位）について調査した。

その結果は、「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」が 177 件（31.3%）と最も多く、次いで「礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること」103 件（18.2%）、「あらゆる場面で柔軟な対応ができること」91 件（16.1%）、「学び続ける探究心をもって」59 件（10.4%）、「診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること」47 件（8.3%）、「積極的で自立した診療放射線技師であること」38 件（6.7%）、「温かな心をもって」28 件（4.9%）、「幅広い知識・教養を備えていること」16 件（2.8%）、「その他」3 件（0.5%）の順になっている。 ※「無回答」4 件（0.7%）

人材を採用する際に重視する点(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること	47	8.3
2	温かな心をもって	28	4.9
3	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	103	18.2
4	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	177	31.3
5	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	91	16.1
6	積極的で自立した診療放射線技師であること	38	6.7
7	幅広い知識・教養を備えていること	16	2.8
8	学び続ける探究心をもって	59	10.4
9	その他	3	0.5
	無回答	4	0.7
	N (%ベース)	566	100



(8) 森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の社会的必要性について

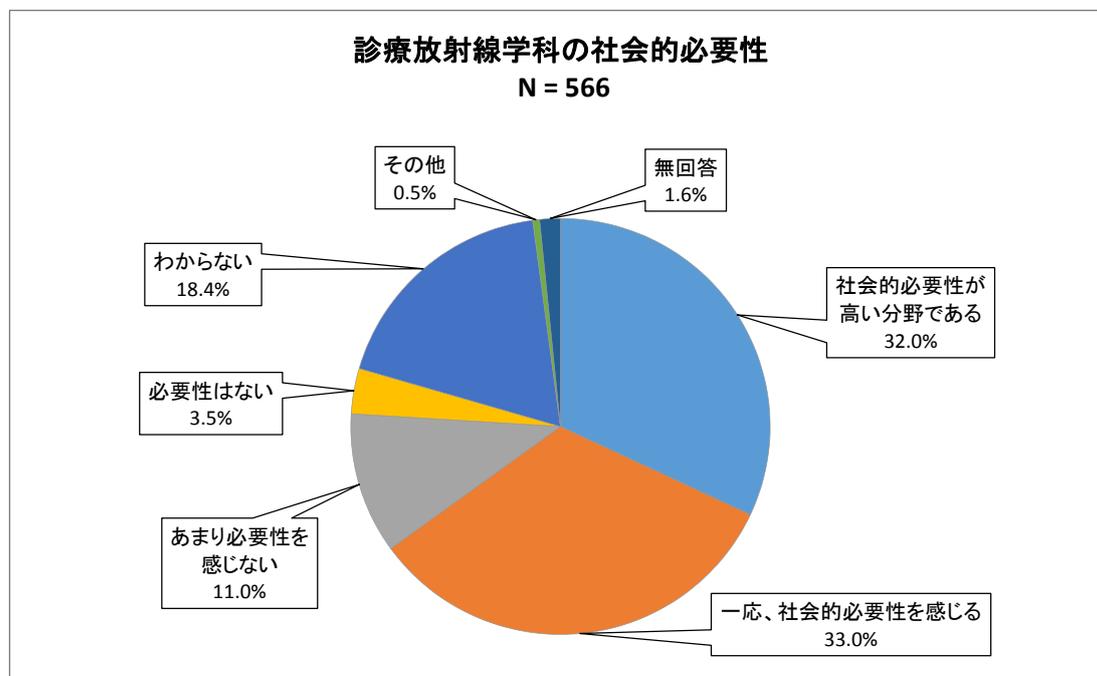
「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の社会的必要性について調査した。

その結果は、「一応、社会的必要性を感じる」が 187 件 (33.0%) と最も多く、次いで「社会的必要性が高い分野である」181 件 (32.0%)、「わからない」104 件 (18.4%)、「あまり必要性を感じない」62 件 (11.0%)、「必要性はない」20 件 (3.5%)、「その他」3 件 (0.5%) の順になっている。 ※「無回答」9 件 (1.6%)

なお、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、368 件 (65.0%) となっている。

診療放射線学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	181	32.0
2	一応、社会的必要性を感じる	187	33.0
3	あまり必要性を感じない	62	11.0
4	必要性はない	20	3.5
5	わからない	104	18.4
6	その他	3	0.5
	無回答	9	1.6
	N (%ベース)	566	100



(9) 興味のある特徴について

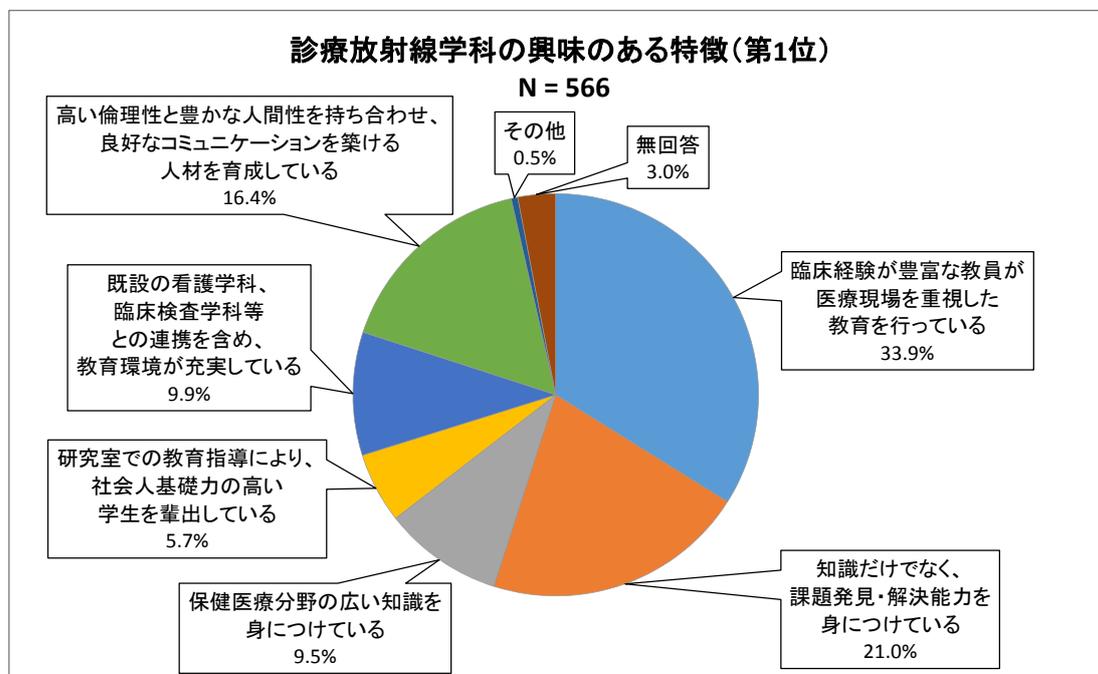
9-1 診療放射線学科の興味のある特徴（第1位）

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の興味のある特徴（第1位）について調査した。

その結果、「臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている」が 192 件（33.9%）と最も多く、次いで「知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている」119 件（21.0%）、「高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している」93 件（16.4%）、「既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している」56 件（9.9%）、「保健医療分野の広い知識を身につけている」54 件（9.5%）、「研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している」32 件（5.7%）、「その他」3 件（0.5%）の順になっている。 ※「無回答」17 件（3.0%）

診療放射線学科の興味のある特徴(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている	192	33.9
2	知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている	119	21.0
3	保健医療分野の広い知識を身につけている	54	9.5
4	研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している	32	5.7
5	既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している	56	9.9
6	高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している	93	16.4
7	その他	3	0.5
	無回答	17	3.0
	N (%ベース)	566	100



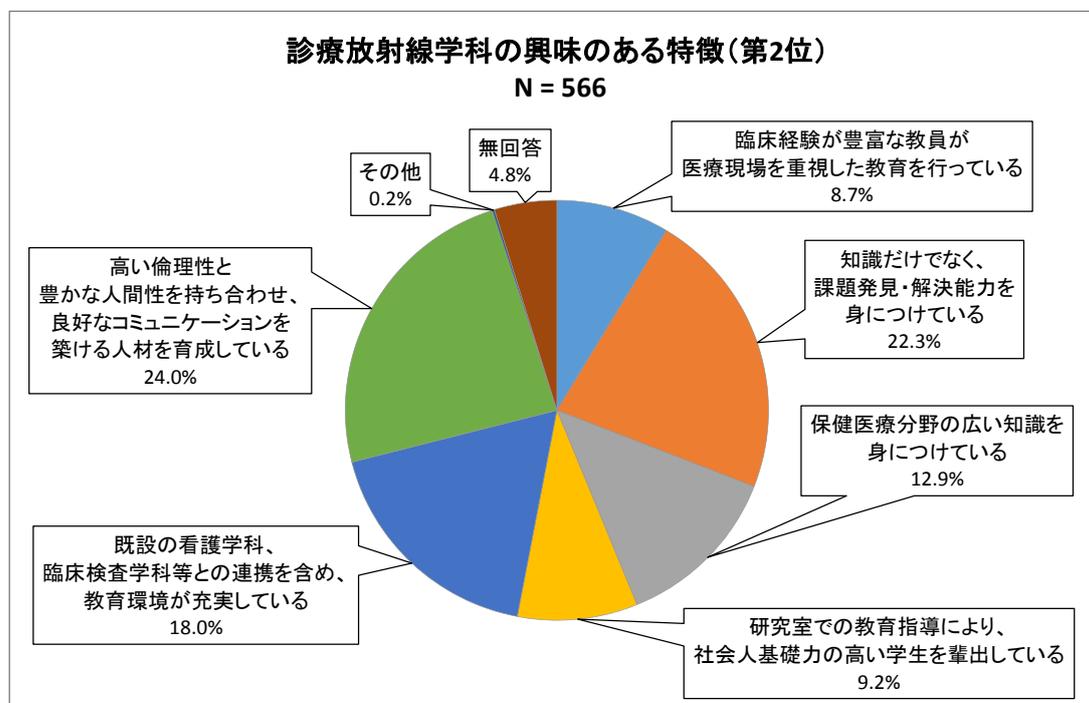
9-2 診療放射線学科の興味のある特徴（第2位）

「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の興味のある特徴（第2位）について調査した。

その結果、「高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している」が 136 件（24.0%）と最も多く、次いで「知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている」126 件（22.3%）、「既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している。」102 件（18.0%）、「保健医療分野の広い知識を身につけている」73 件（12.9%）、「研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している」52 件（9.2%）、「臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている」49 件（8.7%）、「その他」1 件（0.2%）の順になっている。 ※「無回答」27 件（4.8%）

診療放射線学科の興味のある特徴(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている	49	8.7
2	知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている	126	22.3
3	保健医療分野の広い知識を身につけている	73	12.9
4	研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している	52	9.2
5	既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している	102	18.0
6	高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している	136	24.0
7	その他	1	0.2
	無回答	27	4.8
	N (%ベース)	566	100



(10) 診療放射線学科卒業生の採用意向について

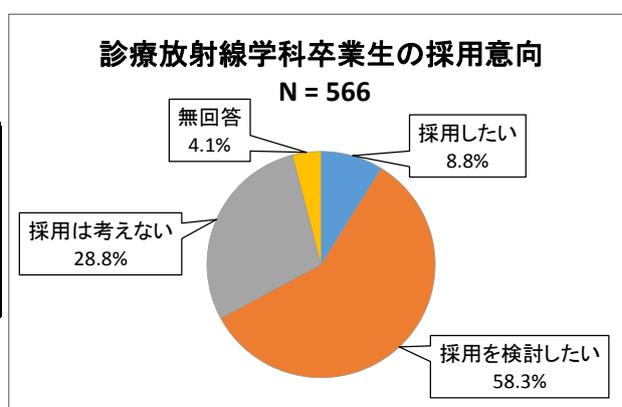
「(4) 診療放射線技師の配置状況について」の結果から、現在診療放射線技師が配置されていることがわかった 566 施設に、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生の採用意向について調査した。

その結果は、「採用を検討したい」が 330 件 (58.3%) と最も多く、次いで「採用は考えない」163 件 (28.8%)、「採用したい」50 件 (8.8%) の順になっている。 ※「無回答」23 件 (4.1%)

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、380 件 (67.1%) となっている。

診療放射線学科卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	50	8.8
2	採用を検討したい	330	58.3
3	採用は考えない	163	28.8
	無回答	23	4.1
	N (%ベース)	566	100

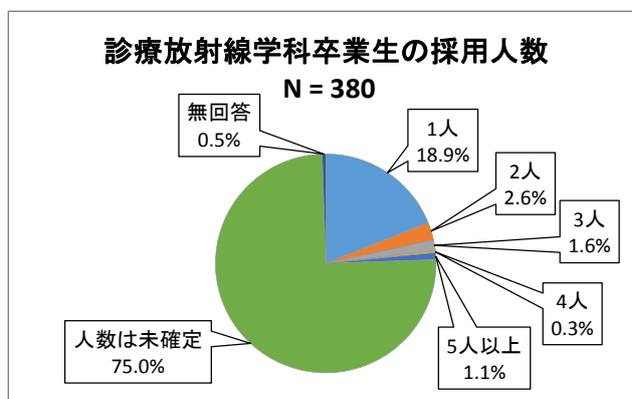


(11) 診療放射線学科卒業生の採用人数について

「(10) 診療放射線学科卒業生の採用意向について」において肯定的な採用意向を示した 380 施設に対して、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 285 件 (75.0%) と最も多く、次いで「1人」72 件 (18.9%)、「2人」10 件 (2.6%)、「3人」6 件 (1.6%)、「5人以上」4 件 (1.1%)、「4人」1 件 (0.3%) の順になっている。「無回答」2 件 (0.5%)

診療放射線学科卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	72	18.9
2	2人	10	2.6
3	3人	6	1.6
4	4人	1	0.3
5	5人以上	4	1.1
6	人数は未確定	285	75.0
	無回答	2	0.5
	N (%ベース)	380	100



3. 調査結果のまとめ

森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「(10) 診療放射線学科卒業生の採用意向について」の肯定的な回答数と、「(11) 診療放射線学科卒業生の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定（※）」）を乗じ、これを合計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「(10) 診療放射線学科卒業生の採用意向について」にて、「採用したい」「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

下記の表より、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、85人となる。入学定員は80人であるため、約1.06倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は419人となり、これは、入学定員80人に対して、約5.23倍となる。

回答数(件)	「採用したい」のみ		合計
人数(人)			
1人(A)	21	(a)	(A) × (a) 21
2人(B)	4	(b)	(B) × (b) 8
3人(C)	6	(c)	(C) × (c) 18
4人(D)	1	(d)	(D) × (d) 4
5人以上(E)	4	(e)	(E) × (e) 20
人数は未確定(F)	14	(f)	(F) × (f) 14
無回答	-		

合計採用意向 85人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

回答数(件)	「採用したい」「採用を検討したい」の合計		合計
人数(人)			
1人(A)	72	(a)	(A) × (a) 72
2人(B)	10	(b)	(B) × (b) 20
3人(C)	6	(c)	(C) × (c) 18
4人(D)	1	(d)	(D) × (d) 4
5人以上(E)	4	(e)	(E) × (e) 20
人数は未確定(F)	285	(f)	(F) × (f) 285
無回答	2		

合計採用意向 419人

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、森ノ宮医療大学保健医療学部診療放射線学科の卒業生の進路は十分に確保できるものとする。

調査票

森ノ宮医療大学 保健医療学部 診療放射線学科（仮称）の設置に係るアンケート調査

• このアンケート調査は、2020年4月に予定している森ノ宮医療大学 保健医療学部 診療放射線学科（仮称）の設置計画の基礎資料とするため、貴医療関係機関の採用状況・意向についてお聞きするものです。
 • このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
 • 回答は、該当する番号を回答欄の口の中へ直接記入してください。

★調査回答締め切りのお願い★

平成30年12月21日（金）までに、同封の返信用封筒にてご投函いただけますようお願いいたします。

【 貴医療関係機関についてお聞きします 】

Q1. 貴医療関係機関の種類についてお聞きします。次の中から最も近い番号を1つお選びください。 【回答欄】

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1. 病院 | 3. 介護施設 | 5. その他医療施設 |
| 2. 診療所・クリニック | 4. 通所系サービス施設 | 6. 企業等 |

Q2. 所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 北海道 | 11. 埼玉県 | 21. 岐阜県 | 31. 鳥取県 | 41. 佐賀県 |
| 2. 青森県 | 12. 千葉県 | 22. 静岡県 | 32. 島根県 | 42. 長崎県 |
| 3. 岩手県 | 13. 東京都 | 23. 愛知県 | 33. 岡山県 | 43. 熊本県 |
| 4. 宮城県 | 14. 神奈川県 | 24. 三重県 | 34. 広島県 | 44. 大分県 |
| 5. 秋田県 | 15. 新潟県 | 25. 滋賀県 | 35. 山口県 | 45. 宮崎県 |
| 6. 山形県 | 16. 富山県 | 26. 京都府 | 36. 徳島県 | 46. 鹿児島県 |
| 7. 福島県 | 17. 石川県 | 27. 大阪府 | 37. 香川県 | 47. 沖縄県 |
| 8. 茨城県 | 18. 福井県 | 28. 兵庫県 | 38. 愛媛県 | |
| 9. 栃木県 | 19. 山梨県 | 29. 奈良県 | 39. 高知県 | |
| 10. 群馬県 | 20. 長野県 | 30. 和歌山県 | 40. 福岡県 | |

Q3. 昨年度に採用された「診療放射線技師」の人数は、何名程度ですか。該当する番号を1つお選びください。

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1. 1～4名 | 3. 10～19名 | 5. 採用していない |
| 2. 5～9名 | 4. 20名以上 | |

※番号で
ご回答ください。

Q4. 現在の「診療放射線技師」の配置状況について、該当する番号を1つお選びください。

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 余裕をもった人数が配置されている | } |
| 2. 適度な人数が配置されている | |
| 3. 人数は不足気味である | |
| 4. 人数は不足している | |
| 5. 配置されていない | |

1～4 を選ばれた方は Q5 へお進みください。
 5 を選ばれた方は Q12 へお進みください。

Q5. 現在の「診療放射線技師」の採用状況について、該当する番号を1つお選びください。

- | |
|----------------------|
| 1. 予定通り採用できている |
| 2. 採用できているが、少し苦勞している |
| 3. 苦勞している |
| 4. 非常に苦勞している |
| 5. 採用していない |

Q6. 今後の「診療放射線技師」の人材採用について、お考えに近い番号を1つお選びください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 毎年、安定的に採用していくと思う |
| 2. できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う |
| 3. 毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う |
| 4. 増員が必要になった場合に、採用を考える |
| 5. 欠員が出た場合に、採用を考える |
| 6. 当面、採用は行わないと思う |

Q7. 人材を採用する際に、貴医療関係機関ではどのようなことを重視していますか。
該当する番号を第2位までお選びください。

1. 診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること
2. 温かな心をもっていること
3. 礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること
4. 円滑なコミュニケーション能力を備えていること
5. あらゆる場面で柔軟な対応ができること
6. 積極的で自立した診療放射線技師であること
7. 幅広い知識・教養を備えていること
8. 学び続ける探究心をもっていること
9. その他（具体的に:

第1位

第2位

)

（ここからは、同封の「保健医療学部 診療放射線学科（仮称）の概要（リーフレット）」
をご覧ください）

Q8. 森ノ宮医療大学が設置を計画している診療放射線学科（仮称）の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか。次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 社会的必要性が高い分野である | 4. 必要性はない |
| 2. 一応、社会的必要性を感じる | 5. わからない |
| 3. あまり必要性を感じない | 6. その他（具体的に: |

--

)

Q9. 森ノ宮医療大学が設置を計画している診療放射線学科（仮称）の特徴や目指している事柄の中で、興味のあるものはどれですか。次の中から該当する番号を第2位までお選びください。

- | | | |
|---|-----|--|
| 1. 臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている | 第1位 | |
| 2. 知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている | | |
| 3. 保健医療分野の広い知識を身につけている | 第2位 | |
| 4. 研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している | | |
| 5. 既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している | | |
| 6. 高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している | | |
| 7. その他（具体的に: | | |

Q10. 森ノ宮医療大学が設置を計画している診療放射線学科（仮称）の卒業生の採用意向についておたずねします。次の中から該当する番号を1つお選びください。

1. 採用したい
2. 採用を検討したい
3. 採用は考えない

1、2 を選択された方は Q11 へお進み下さい。
3 を選択された方は Q12 へお進みください。

--

Q11. 将来的に、本学設置予定の診療放射線学科（仮称）の卒業生を毎年何人程度採用したいと考えますか。次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 1人 | 3. 3人 | 5. 5人以上 |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. 人数は未確定 |

--

Q12. 森ノ宮医療大学が構想している、診療放射線学科（仮称）の設置計画にあたり、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

その他、大学の教育内容・活動等について、ご意見等ございましたら、あわせてご記入ください。

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

計画概要

2020年4月

(仮称・構想中)

診療放射線学科

Department of Radiological Sciences

誕生予定 入学定員80名(予定)

※構想中であるため、今後、名称・内容・定員などは変更する場合があります。

関西最大級の医療系総合大学で、
チーム医療に欠かせない
放射線診療のスペシャリスト、
「診療放射線技師」へ

想いのすべてを、医療の力に。



森ノ宮医療大学

2020年4月、7番目の学科 「診療放射線学科」を開設(仮称・構想中)。

チーム医療の学びがさらに拡充します。



「関西最大級の医療系総合大学」森ノ宮医療大学だからできる「医療教育」

「チーム医療」の学び

7学科が連携する専門職間連携教育
-IPE(Interprofessional Education)-

チーム医療では、多職種が集まる場で他の専門スタッフの話が理解でき、なおかつ自らの専門分野で何ができるかを提案する力が求められます。本学では医療系総合大学ならではの環境を活かし、学科混成のグループを編成し、症例(病気やケガの例)をテーマに「ケースカンファレンス(症例検討会)」を行います。他者の意見を聞き、自らの考えを明確に伝える力を養うとともに、チーム内での自身の役割を理解しながら、患者さんへの最善のアプローチ方法について考えていきます。



豊富な実習機関

大学全体で、570施設の実習先を確保(2018年4月現在)

地域の基幹病院と強固な連携体制を築き、大阪府をはじめとした関西エリアを中心に数多くの実習先を確保。多様な分野での実習を可能とし、さまざまなフィールドで活躍できる医療人を育成します。診療放射線学科(仮称)では、2018年7月時点で大阪府・兵庫県・京都府・奈良県に計37施設を確保しています。



大阪急性期・総合医療センター(実習先の一例)

経験豊かな教員陣

「臨床力」と「研究力」に優れた医療分野のプロフェッショナル

医療現場の第一線で活躍してきた教員や最先端の研究で医療界をリードする教員が多数在籍。教科書だけでは決して身につかない実践重視の精度の高い技術指導に加えて、卒業研究やゼミでも、教員がこれまで培ってきた技術・知識を学生へ余すことなく伝えます。



「診断」から「治療」までを担う、
放射線診療のスペシャリストを養成

診療放射線学科 (仮称・構想中)

2020年4月開設予定

[入学定員] 80名(予定)
[学位] 学士(診療放射線学)
[取得可能な資格] 診療放射線技師国家試験受験資格(予定)
※構想中であるため、今後、名称・内容・定員などは変更する場合があります。

診療放射線技師とは

■ 放射線を扱う専門家

医師の指示の下に、放射線を人体に対して照射するのが診療放射線技師です。X線CT、X線TV、PET、SPECT、MRI、USなどの放射線機器で人体を撮影し、診断に必要な画像情報を医師へ提供することが主な仕事。また放射線を照射してがん治療を行う専門職でもあります。医療機器を扱う技術、放射線の取り扱いに関する法令の理解と遵守など、高度な専門性を持つスペシャリストです。

■ チーム医療に欠かせない存在

診療放射線技師が提供する放射線画像や1次読影レポートが、病気の診断や治療方針を決定するための重要な情報になるため、チーム医療において大きな役割を担います。他の医療職を理解していることや医療者間でのコミュニケーション力が求められます。

■ 「安全管理」で高度医療を支える

放射線は適切に扱うことによって患者さんの診断や治療に効果を発揮します。放射線の取扱いは法律により厳重な管理が義務づけられているため、患者さんだけでなく医療者の被ばく線量や放射線の管理も大切な業務のひとつです。

学科の特色

最新の機器を備えた充実した環境で、チーム医療を支える診療放射線技師をめざすことができます。

● 学生全員が「診療放射線技師」をめざすカリキュラム

診療放射線技師国家試験受験資格を取得するために必要なすべての科目を「必修科目」として配置し、全学生が卒業時に国家試験受験資格を得られます。単に技術者を育てるのではなく、医療現場でチーム医療の一員として高度化・複雑化した放射線機器のニーズに対応し、豊かな人間性と創造性に基づいた科学的思考力と適切な判断力を有する医療人を育てます。

● コミュニケーション能力を持ち、チームの一員として協働できる医療人をめざす

診療放射線技師から医師へ提供される画像が治療方針の決定につながるため、チーム医療において重要な役割を担います。本学では、全学科の学生が集い、ひとつの症例に対してそれぞれの分野の立場から治療やケアについて検討するグループワーク(ケースカンファレンス)を行うなど、実践的にチーム医療を身につけられるカリキュラムを導入しています。



ケースカンファレンス

多彩に広がる活躍のフィールド
一般的に病院等の医療機関への就職が多いですが、そのほかにも独立行政法人や研究機関、医療機器メーカーなどで幅広く活躍することができます。



女性技師へのニーズが拡大

近年、女性特有の病気である「乳がん」の早期発見に、診療放射線技師による「マンモグラフィー検診」が有効とされ、検診率が増加傾向にあります。女性が安心して検診を受けられるよう、女性の診療放射線技師が必要とされています。しかし、女性の診療放射線技師が少ないという背景もあり、需要が高まっています。

CAMPUS 高度な医療を学ぶために設計された、機能的なキャンパス

診療放射線学科(仮称)の学舎となる新棟を建設予定!

診療放射線学科(仮称)の設置に合わせて、本学5つ目となる棟を新たに建設予定です。
各実習室や講義室はもちろんのこと、カフェテリアやウッドデッキなど、
キャンパスライフを彩るスペースの数々も設ける予定となっていますので、ぜひご期待ください。



新棟外観

ウッドデッキ

カフェテリア

※イラストはイメージです



新棟建設予定地

グリーンスクエア

ウエストポート

イーストポート

メディカフェ

チャンネルポート

全館
「FREE
Wi-Fi」
完備

チャンネルポート/メディカル・アイ(図書館)

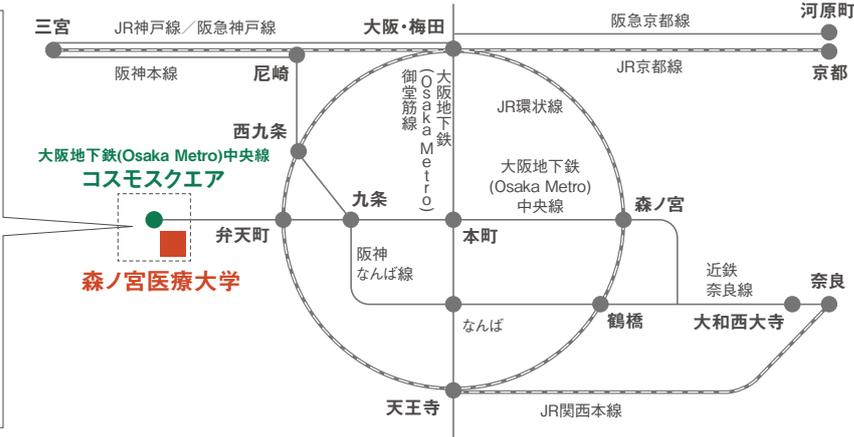
メディカフェ(学生食堂)

イーストポート/学生ホール

実験室

グリーンスクエア
(複合型スポーツ施設)

ACCESS 梅田・なんば・天王寺エリアから約30分の快適アクセス



大阪地下鉄(Osaka Metro)中央線
「コスモスクエア」駅2番出口より
徒歩1分(南へ約90m)

主要ターミナル駅
「大阪(梅田)」「なんば」「天王寺」から
30分以内

「神戸(三宮)」「京都」「奈良」
各方面から**約60分**

想いのすべてを、医療の力に。
森ノ宮医療大学

- [保健医療学部]
 - 看護学科
 - 理学療法学科
 - 作業療法学科
 - 臨床検査学科
 - 臨床工学科
 - 鍼灸学科
- [大学院]
 - 保健医療学専攻 修士課程
 - 医療科学専攻 博士後期課程
- [専攻科]
 - 助産学専攻科 [1年課程]



資料請求・お問い合わせは 0120-68-8908

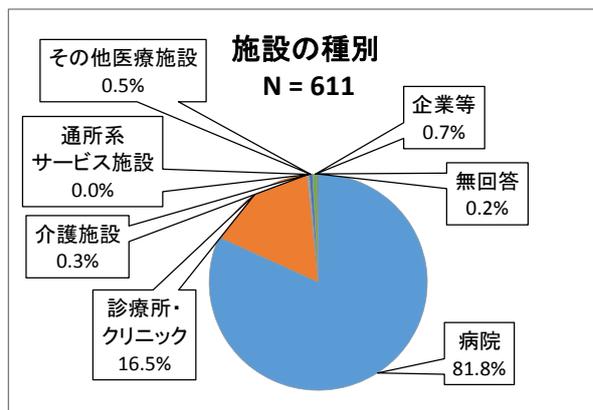
〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16
[TEL] 06-6616-6911 [E-mail] univ@morinomiya-u.ac.jp

2018年9月発行

単純集計表

施設の種別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院	500	81.8
2	診療所・クリニック	101	16.5
3	介護施設	2	0.3
4	通所系サービス施設	0	0.0
5	その他医療施設	3	0.5
6	企業等	4	0.7
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	611	100

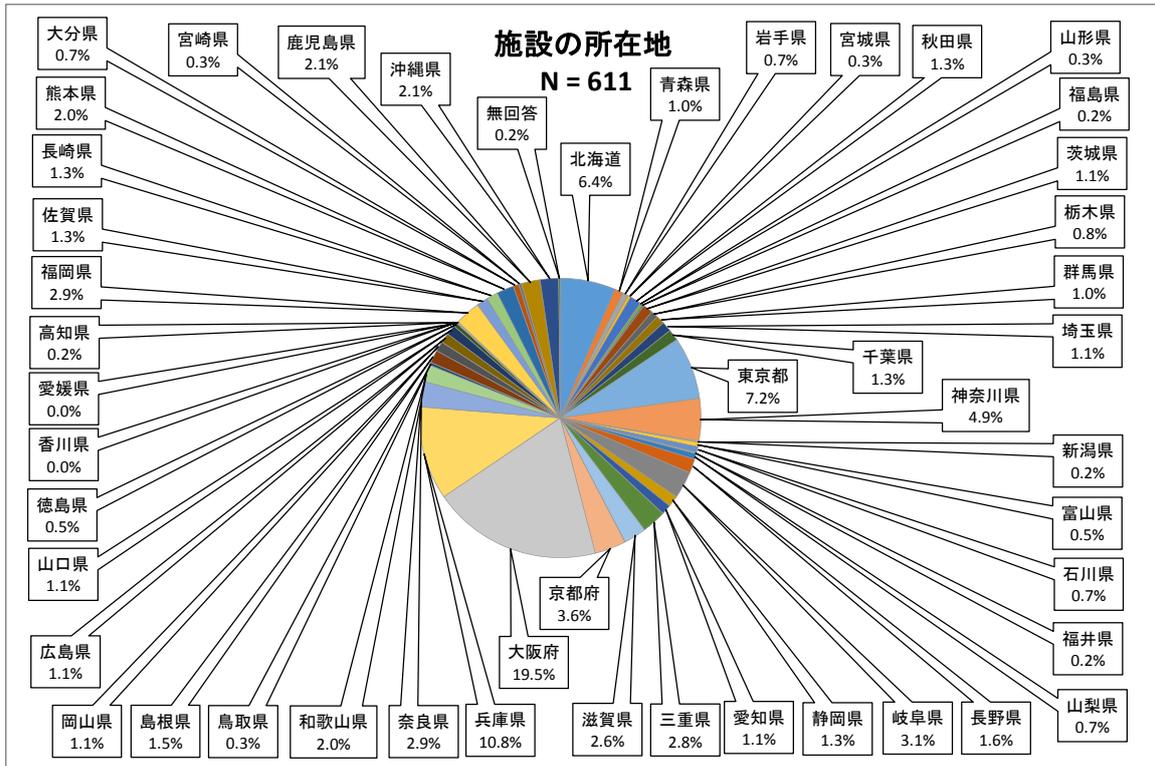


施設の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	北海道	39	6.4
2	青森県	6	1.0
3	岩手県	4	0.7
4	宮城県	2	0.3
5	秋田県	8	1.3
6	山形県	2	0.3
7	福島県	1	0.2
8	茨城県	7	1.1
9	栃木県	5	0.8
10	群馬県	6	1.0
11	埼玉県	7	1.1
12	千葉県	8	1.3
13	東京都	44	7.2
14	神奈川県	30	4.9
15	新潟県	1	0.2
16	富山県	3	0.5
17	石川県	4	0.7

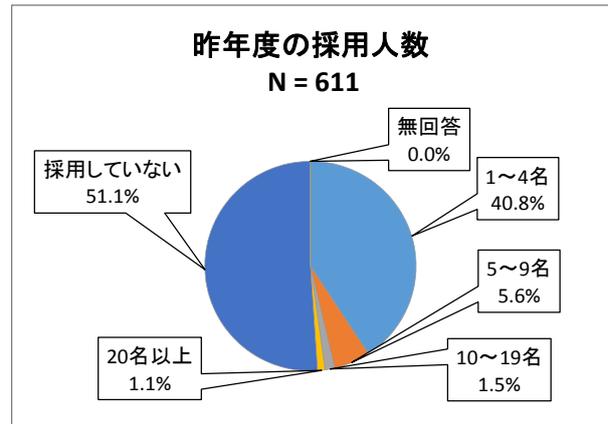
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
18	福井県	1	0.2
19	山梨県	4	0.7
20	長野県	10	1.6
21	岐阜県	19	3.1
22	静岡県	8	1.3
23	愛知県	7	1.1
24	三重県	17	2.8
25	滋賀県	16	2.6
26	京都府	22	3.6
27	大阪府	119	19.5
28	兵庫県	66	10.8
29	奈良県	18	2.9
30	和歌山県	12	2.0
31	鳥取県	2	0.3
32	島根県	9	1.5
33	岡山県	7	1.1

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
34	広島県	7	1.1
35	山口県	7	1.1
36	徳島県	3	0.5
37	香川県	0	0.0
38	愛媛県	0	0.0
39	高知県	1	0.2
40	福岡県	18	2.9
41	佐賀県	8	1.3
42	長崎県	8	1.3
43	熊本県	12	2.0
44	大分県	4	0.7
45	宮崎県	2	0.3
46	鹿児島県	13	2.1
47	沖縄県	13	2.1
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	611	100.0



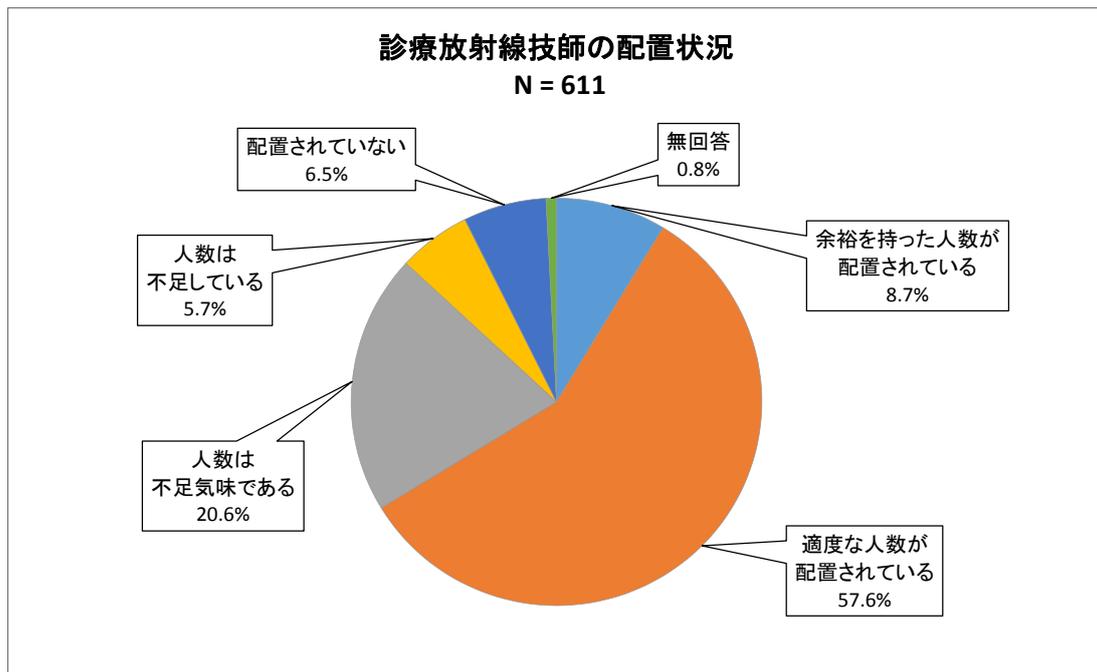
昨年度の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1～4名	249	40.8
2	5～9名	34	5.6
3	10～19名	9	1.5
4	20名以上	7	1.1
5	採用していない	312	51.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	611	100



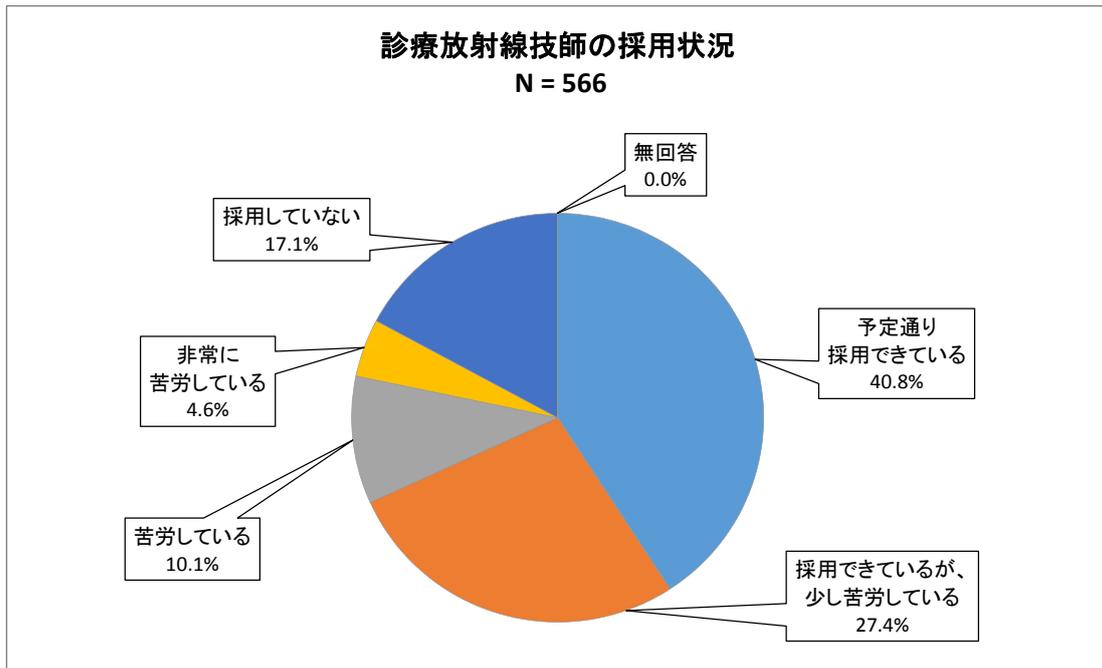
診療放射線技師の配置状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	余裕を持った人数が配置されている	53	8.7
2	適度な人数が配置されている	352	57.6
3	人数は不足気味である	126	20.6
4	人数は不足している	35	5.7
5	配置されていない	40	6.5
	無回答	5	0.8
	N (%ベース)	611	100



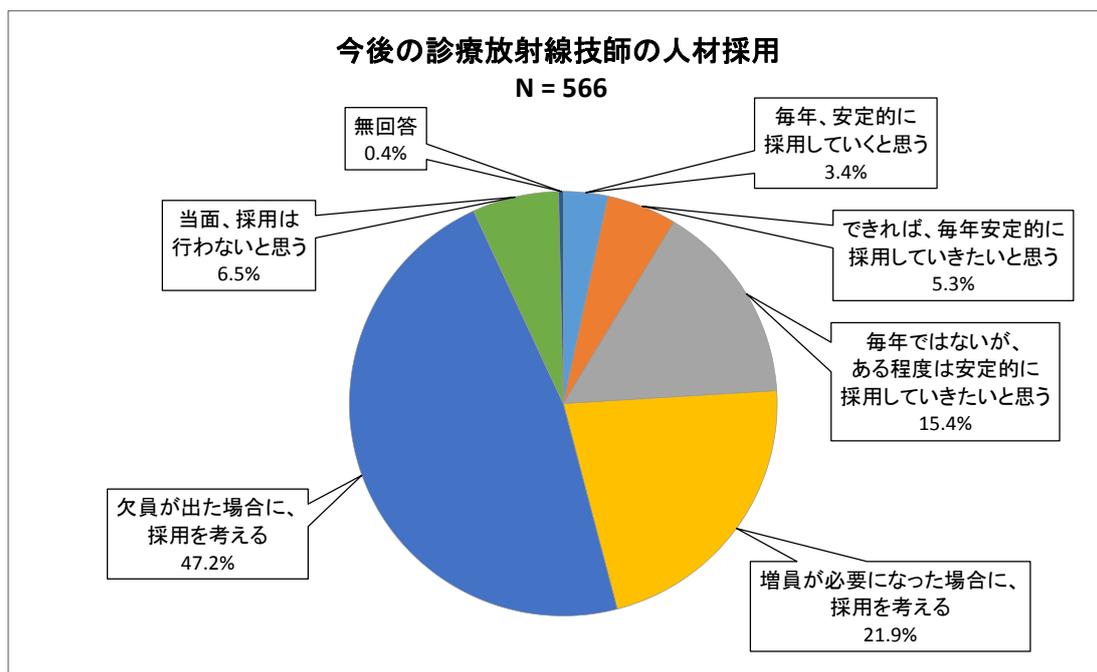
診療放射線技師の採用状況

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	予定通り採用できている	231	40.8
2	採用できているが、少し苦労している	155	27.4
3	苦労している	57	10.1
4	非常に苦労している	26	4.6
5	採用していない	97	17.1
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	566	100



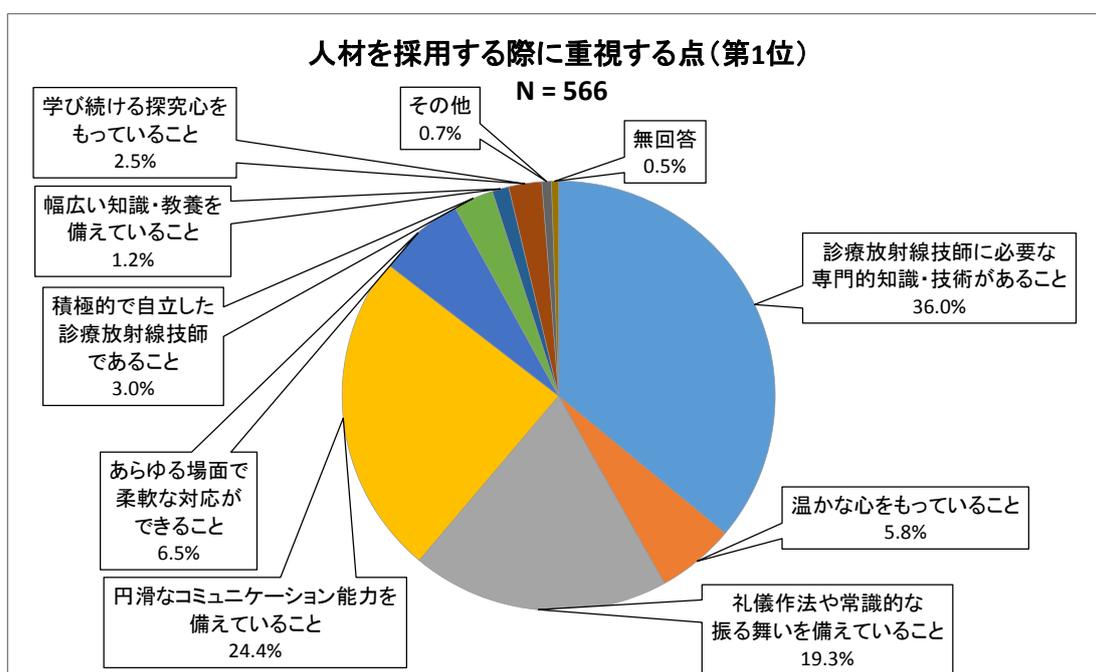
今後の診療放射線技師の人材採用

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	19	3.4
2	できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う	30	5.3
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う	87	15.4
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	124	21.9
5	欠員が出た場合に、採用を考える	267	47.2
6	当面、採用は行わないと思う	37	6.5
	無回答	2	0.4
	N (%ベース)	566	100



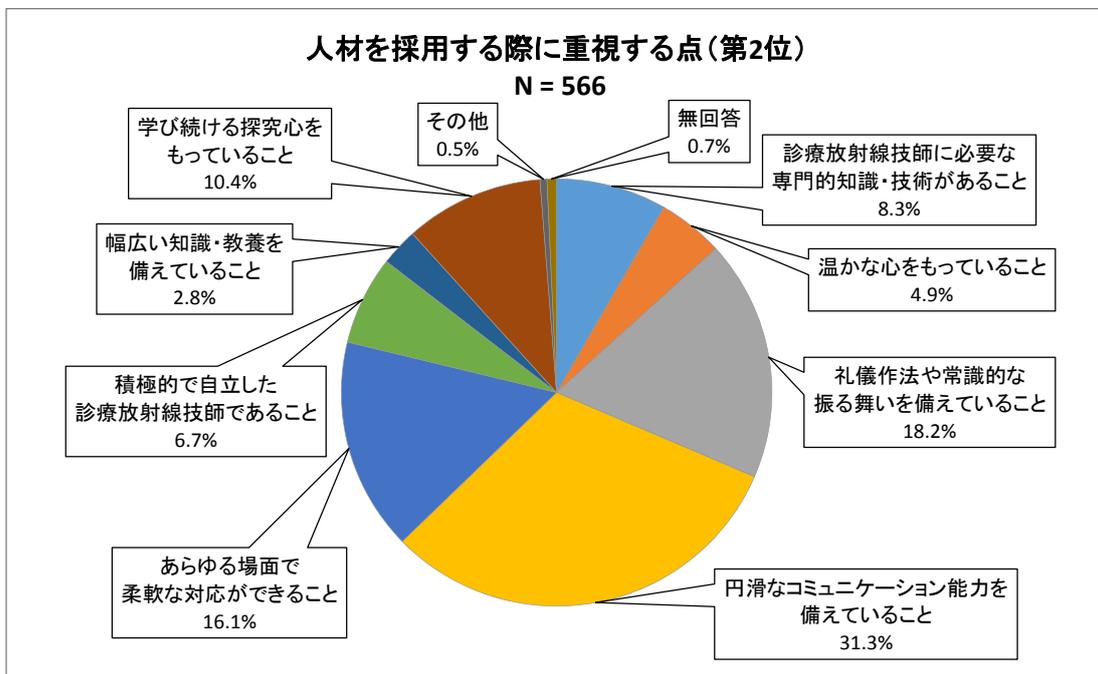
人材を採用する際に重視する点(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること	204	36.0
2	温かな心をもっていること	33	5.8
3	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	109	19.3
4	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	138	24.4
5	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	37	6.5
6	積極的で自立した診療放射線技師であること	17	3.0
7	幅広い知識・教養を備えていること	7	1.2
8	学び続ける探究心をもっていること	14	2.5
9	その他	4	0.7
	無回答	3	0.5
	N (%ベース)	566	100



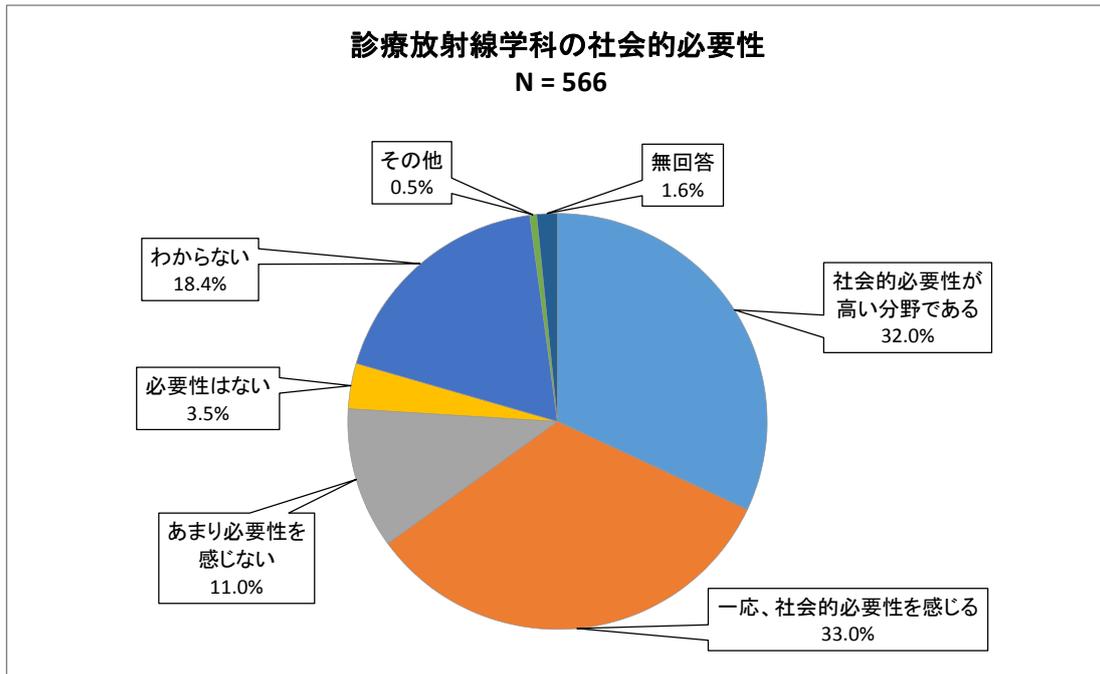
人材を採用する際に重視する点(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	診療放射線技師に必要な専門的知識・技術があること	47	8.3
2	温かな心をもっていること	28	4.9
3	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	103	18.2
4	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	177	31.3
5	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	91	16.1
6	積極的で自立した診療放射線技師であること	38	6.7
7	幅広い知識・教養を備えていること	16	2.8
8	学び続ける探究心をもっていること	59	10.4
9	その他	3	0.5
	無回答	4	0.7
	N (%ベース)	566	100



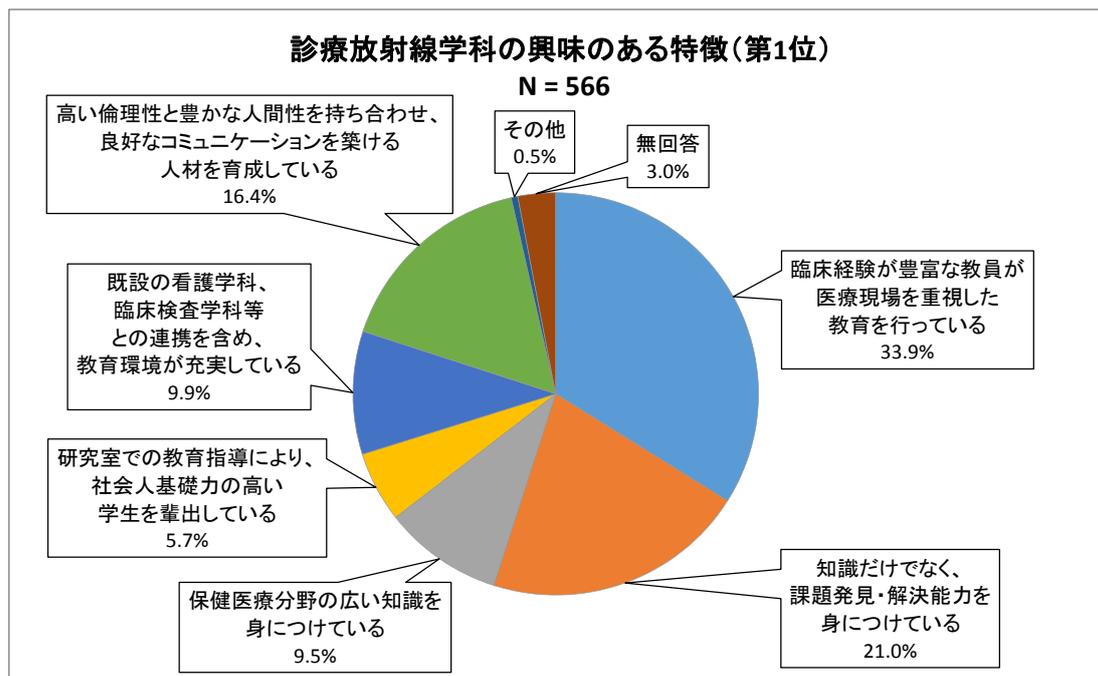
診療放射線学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	181	32.0
2	一応、社会的必要性を感じる	187	33.0
3	あまり必要性を感じない	62	11.0
4	必要性はない	20	3.5
5	わからない	104	18.4
6	その他	3	0.5
	無回答	9	1.6
	N (%ベース)	566	100



診療放射線学科の興味のある特徴(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている	192	33.9
2	知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている	119	21.0
3	保健医療分野の広い知識を身につけている	54	9.5
4	研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している	32	5.7
5	既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している	56	9.9
6	高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している	93	16.4
7	その他	3	0.5
	無回答	17	3.0
	N (%ベース)	566	100

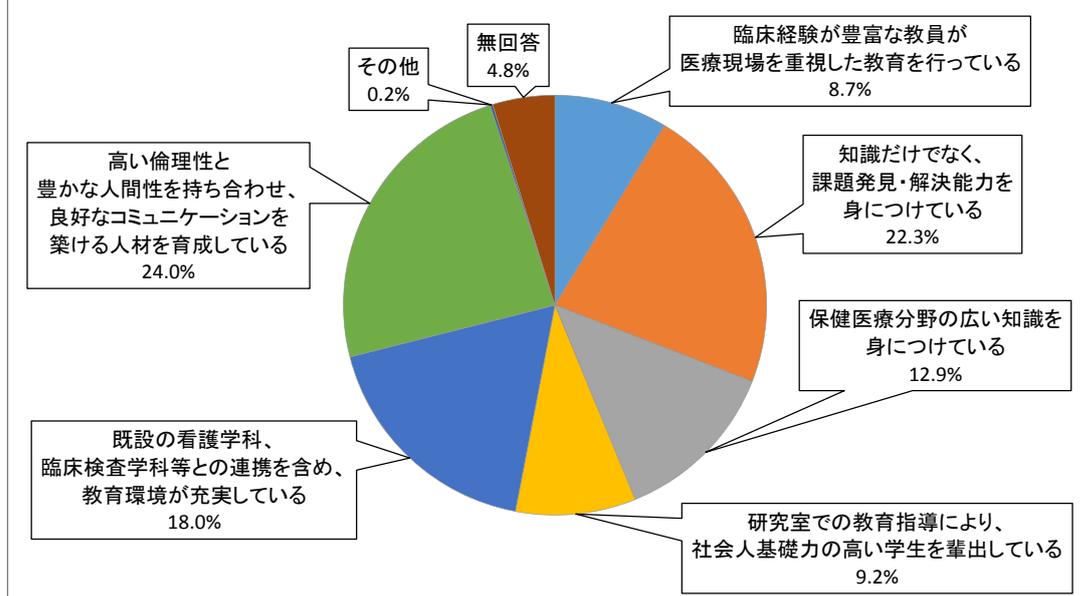


診療放射線学科の興味のある特徴(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	臨床経験が豊富な教員が医療現場を重視した教育を行っている	49	8.7
2	知識だけでなく、課題発見・解決能力を身につけている	126	22.3
3	保健医療分野の広い知識を身につけている	73	12.9
4	研究室での教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している	52	9.2
5	既設の看護学科、臨床検査学科等との連携を含め、教育環境が充実している	102	18.0
6	高い倫理性と豊かな人間性を持ち合わせ、良好なコミュニケーションを築ける人材を育成している	136	24.0
7	その他	1	0.2
	無回答	27	4.8
	N (%ベース)	566	100

診療放射線学科の興味のある特徴(第2位)

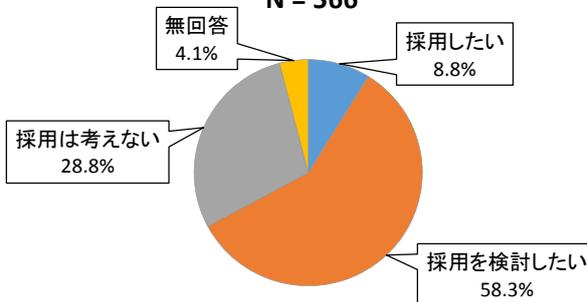
N = 566



診療放射線学科卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	50	8.8
2	採用を検討したい	330	58.3
3	採用は考えない	163	28.8
	無回答	23	4.1
	N (%ベース)	566	100

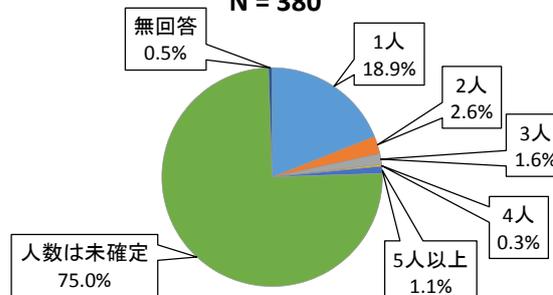
診療放射線学科卒業生の採用意向
N = 566



診療放射線学科卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	72	18.9
2	2人	10	2.6
3	3人	6	1.6
4	4人	1	0.3
5	5人以上	4	1.1
6	人数は未確定	285	75.0
	無回答	2	0.5
	N (%ベース)	380	100

診療放射線学科卒業生の採用人数
N = 380



教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	サハラ トシ 萩原 俊男 <平成23年4月>		医学博士		森ノ宮医療大学学長 (平成23.4～平成33.3)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。